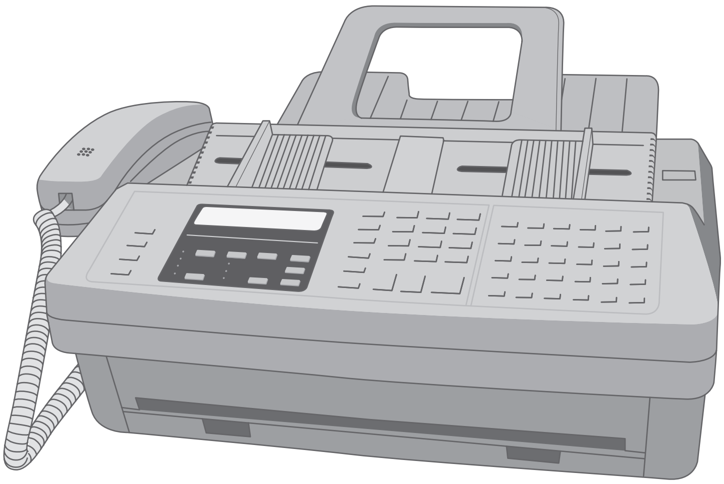
技術基準適合認定品

取扱説明書

NTTFAX T-350



このたびは、NTTFAX T-350をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
●ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
●お読みになったあとも、本商品のそばなどいつもお手元においてお使いください。

NTT

〜したいこと目次

1
2
3
4
5
6
7

- この取扱説明書を紛失された場合、購入することができますので、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。
- この取扱説明書に記載されている以外のことは行わないでください。思わぬ事故や故障を起こす原因となることがあります。
- この取扱説明書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

本商品をご使用になる前に、本書の「安全にお使いいただくために」をよくお読みください。また、本書中に⚠と表記されている事項は、安全に関する注意事項です。操作を行う前に必ずよくお読みください。

目次

本書のみかた

紙面について

分類
章の内容の分類名です。

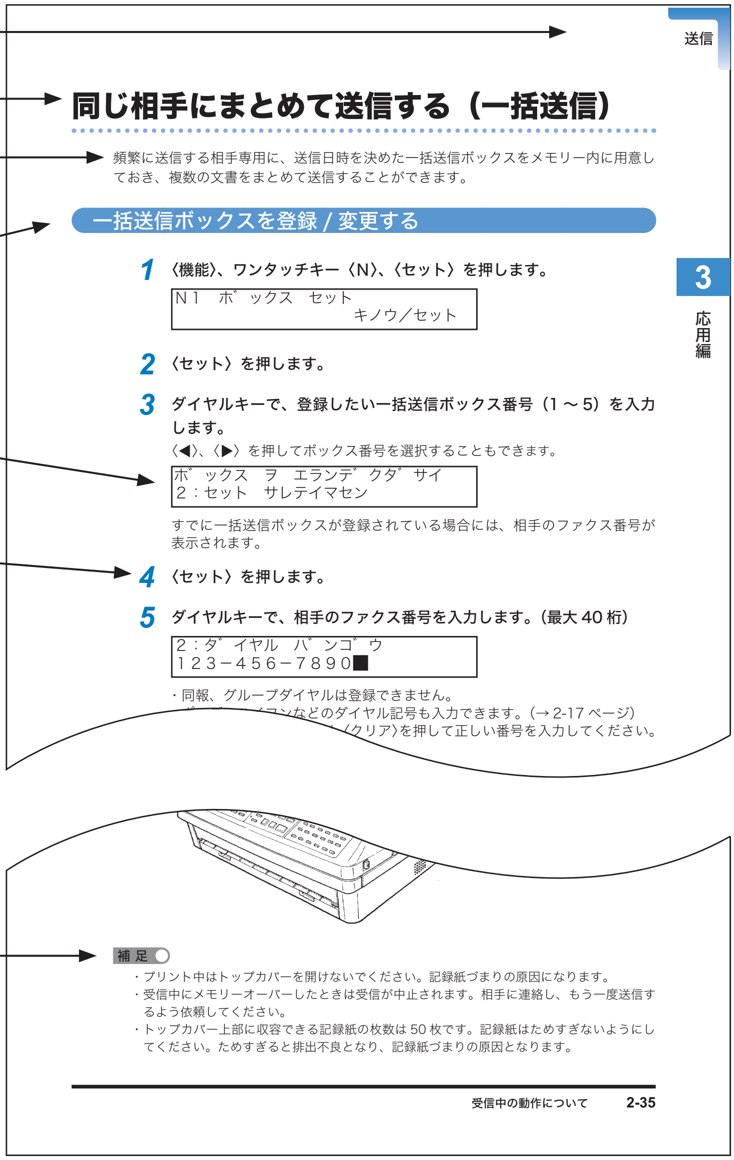
大見出し

概要説明
機能の説明や、制限事項などを説明しています。

項目名
操作する上で、知っておいた方が便利な内容や注意点について説明しています。

液晶ディスプレイの表示

操作手順
番号順に操作します。



送信

同じ相手にまとめて送信する（一括送信）

頻繁に送信する相手専用に、送信日時を決めた一括送信ボックスをメモリー内に用意しておき、複数の文書をまとめて送信することができます。

一括送信ボックスを登録／変更する

3 応用編

1 〈機能〉、ワンタッチキー〈N〉、〈セット〉を押します。

```
N1  ボ゛ックス  セット
            キノウ／セット
```

2 〈セット〉を押します。

3 ダイヤルキーで、登録したい一括送信ボックス番号（1～5）を入力します。

〈◀〉、〈▶〉を押してボックス番号を選択することもできます。

```
ボ゛ックス  ヲ  エランデ゛クダ゛サイ
2：セット  サレテイマセン
```

すでに一括送信ボックスが登録されている場合には、相手のファクス番号が表示されます。

4 〈セット〉を押します。

5 ダイヤルキーで、相手のファクス番号を入力します。（最大 40 桁）

```
2：ダ゛イヤル  バ゛ンゴ゛ウ
123−456−7890■
```

・同報、グループダイヤルは登録できません。
…ンなどのダイヤル記号も入力できます。（→ 2-17 ページ）
…〈クリア〉を押して正しい番号を入力してください。

補足
操作する上で、知っておいた方が便利な内容や注意点について説明しています。

補 足
・プリント中はトップカバーを開けないでください。記録紙づまりの原因になります。
・受信中にメモリーオーバーしたときは受信が中止されます。相手に連絡し、もう一度送信するよう依頼してください。
・トップカバー上部に収容できる記録紙の枚数は 50 枚です。記録紙はためすぎないようにしてください。ためすぎると排出不良となり、記録紙づまりの原因となります。

受信中の動作について　2-35

マークについて

本書では、安全にお使いいただくために守っていただきたい事項や操作する上での重要情報に以下のマークをつけています。

安全にご使用いただくために、本書の「安全にお使いいただくために」をよくお読みください。

⚠警告　取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う可能性がある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

⚠注意　取り扱いを誤った場合に、傷害を負う可能性または物的損害が発生する恐れがある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

お願い　誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。

補足　操作の参考情報や補足説明が書かれています。

キー表示について

本書では、操作する上でのキーの説明を以下のように表しています。

■ 操作パネル上のキー



→〈ファクス中止 / 確認〉のように〈 〉で囲んでいます。

安全にお使いいただくために

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら当社のサービス取扱所へお申しつけください。

- 当社の支店・営業所から遠距離の場合には、お使いになれないことがありますので当社のサービス取扱所へご相談ください。
- 本商品の PHONE2 端子は、電話網の仕様と完全には一致していないため、接続される通信機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- 電話網と本商品のあいだに、アダプター（ナンバー・ディスプレイアダプター、ターミナルアダプターなど）が接続された場合、アダプターなどが電話網の仕様と完全には一致していないため、本商品が正常に動作しないことがあります。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、ファクスの送受信、通話、録音などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任をおいかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本商品の設置および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対おやめください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。

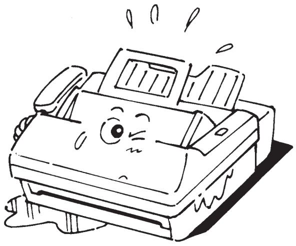
  This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 簡易取扱説明書を使用の際は､必ず取扱説明書をよく読み理解した上でお使いください。
- 本書を紛失または損傷したときは当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。
- 本書に記載されている商品名は、各社の商標または登録商標です。
- 外部環境を検出して自動的に冷却ファンが回ることがあります。
- ファクシミリの誤送信による迷惑電話を防止するため、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤル等には、加入者番号（相手の電話番号）を正しく登録してください。
- キャッチホンサービスをご契約になる場合は、次の点にご注意ください。
  - ・ファクスの送信や受信中に、他のかたから電話がかかってくると、画像に線が入ったり、通信が中断してしまったりすることがあります。
  - ・また、上記の場合、電話がかかってきたことはこちらではわかりません。キャッチホンサービスの異常ではありませんので、ご了承願います。
  - ・なお、キャッチホンⅡサービスをご利用になり、割り込み音の回数を「０回」に設定していただくと、ファクス通信中にキャッチホンが入っても異常なく通信できます。
- 本商品は、お買い求めの時には国内の相手と通信することを前提とした設定になっています。海外との通信を主に行われるかたは、重要な通信を行う前に相手と正常に通信できるか確認してください。正常に通信できないときは、本商品の設定を変更することにより通信できるようになる場合もありますので、当社のサービス取扱所へご相談ください。
- 設置する場所が交換センターから遠い場合、ご使用になれないことがありますので、設置や移動にあたっては当社のサービス取扱所にご相談ください。
- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合は使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本商品をご使用になるときは、必ず次の内容をお守りください。

⚠警告

■ 水が本商品の内部に入った場合の対処のしかた

万一、内部に水などが入った場合は、まず本商品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



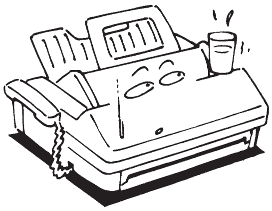
■ 分解や改造をしないでください

本商品を分解したり、改造したりしないでください。火災・感電や故障の原因となります。指定以外の内部の点検・調整・清掃修理は、当社のサービス取扱所にご依頼ください。



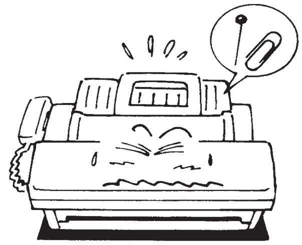
■ 本商品の上に水、薬品を置かないでください

本商品の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



■ 異物が本商品の内部に入った場合の対処のしかた

本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、まず本商品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



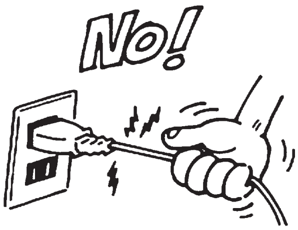
■ ぬれた手で操作しないでください

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

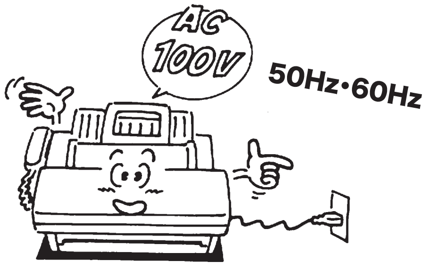


■ プラグの取り扱いに注意してください

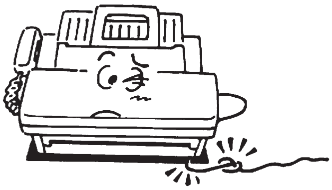
電源プラグは接触不良がないように確実に差し込んでください。また、電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。



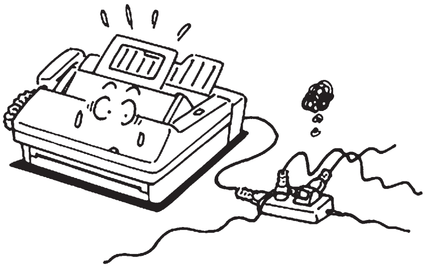
■ 商用電源以外の使用をしないでください
交流100V、50Hzまたは60Hzの家庭用電源コンセントにつないでご使用ください。本商品は国内用ですので海外ではご使用になれません。



■ 電源コードの取り扱いに注意してください
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものを乗せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

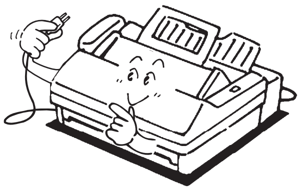


■ タコ足配線をしないでください
テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。



■ 電源プラグを定期的に点検してください

電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から 1 年に 1 回は、電源プラグを点検してください。ほこりにより､火災･感電の原因となることがあります。なお､点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。

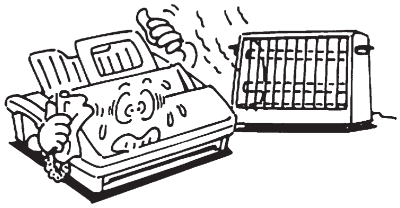


■ 清掃時に注意してください

・本商品の清掃にはぬれた布などは使用しないでください。火災・感電の原因となります。
・感電防止のため、記録部の清掃を行う場合は、通信予約やメモリーに原稿が蓄積されていないことを確認して必ず電源スイッチを OFF にしてください。
・本商品の精密部品を破損しないようにご注意ください。また、本商品内部に紙片や糸クズを残さないようにしてください｡火災･感電および故障の原因となります。

■ 火気のそばへ設置しないでください

本商品や電源コードを熱器具に近づけないでください。本商品や電源コードの被膜が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



■ サーマルヘッド（印字部）には触れないでください

動作直後は高温になっており、やけどの原因になります。また、画質低下の原因になります。

■ 本商品を構内交換機（PBX）等に接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所に確認してください

確認できない場合には、絶対に接続してお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 延長コードが必要な場合は、本商品の消費電力以上の容量を持っている延長コードを使用してください

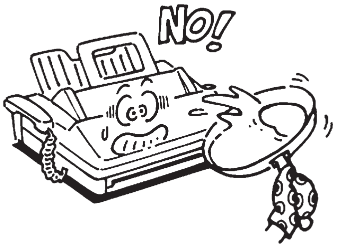
容量が不足すると、過熱して火災の恐れがあります。（本商品の最大消費電力は 7-19ページをご参照ください。）

■ 幼児や児童の手の届くところには設置しないでください

動作が停止したり、トラブルの原因となることがあります。また、お子様にとって指をはさむなどの危険があります。

■ 油飛びや湯気の当たる場所へ設置しないでください

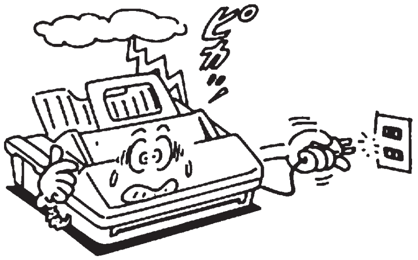
調理台のそばなど、油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



⚠注意

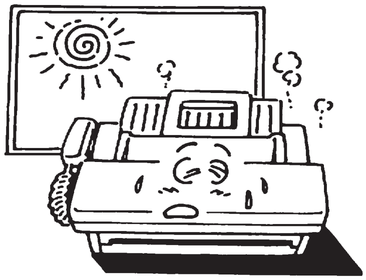
■ 雷が激しいときはコンセントおよび電話機ヒモを抜いてください

近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから、電話機ヒモを回線端子から抜いてご使用をお控えください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。



■ 温度の高い場所へ設置しないでください

直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒーターなどの発熱器具のそばなど温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



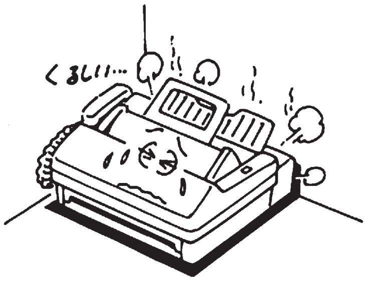
■ 不安定な場所へ設置しないでください

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。



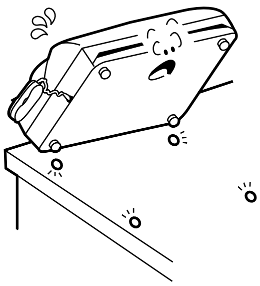
■ 通風孔をふさがないでください

本商品の後部上面および背面には通風孔がありますので、必ず壁から 20cm 以上離してください。通風孔をふさぐと本商品の内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



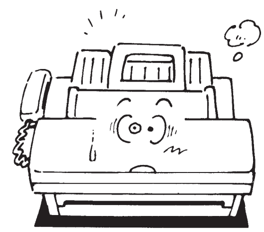
■ 設置面を確認してください

本商品の底面には、ゴム製とプラスチック製のすべり止めを使用していますので、すべり止めとの接触面がまれに変色する恐れがあります。



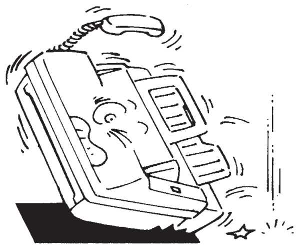
■ 発煙への対処のしかた

万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、その後、必ず電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



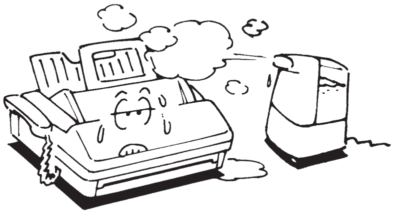
■ 破損時の対処のしかた

万一、本商品を落としたり、破損したりした場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



■ 湿度の高い場所へ設置しないでください

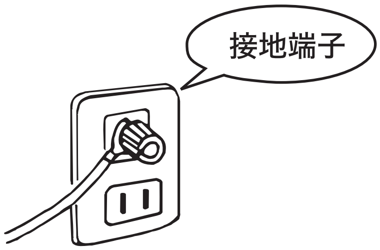
ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となります。



■ アース線を取り付けてください

万一漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。

・アース線が取り付けられるところは次の部分です。
  ・電源コンセントのアース端子
  ・銅片などを 65cm 以上、地中に埋めたもの
  ・接地工事（第 3 種）が行われている接地端子
・次のようなところには絶対にアース線を取り付けないでください。
  ・ガス管
  ・電話専用アース線
  ・避雷針
  ・水道管や蛇口



■ **取扱説明書に記載されている以外のことは行わないでください**

思わぬ事故や故障を起こす原因となることがあります。

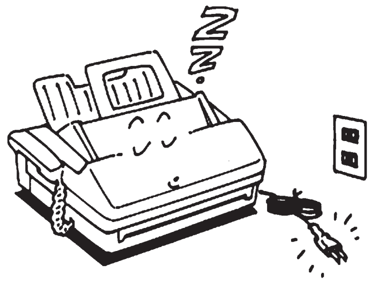
■ **カバーなど開閉部を開けたり閉めたりするときは、突起物に引っかけたり、開閉部で手を挟んだりしないように注意してください**

けがの原因となることがあります。

お願い

■ 長期不在はコンセントから抜いてください

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



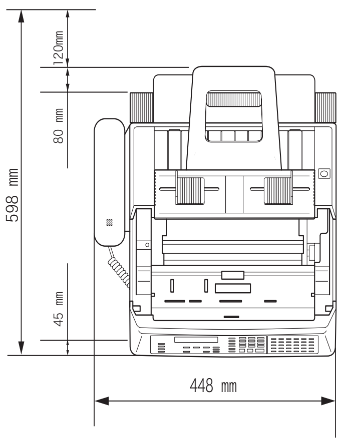
■ 高温・多湿・低温の場所へ設置しないでください

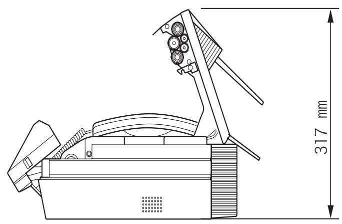


良い条件でお使いいただける環境は下記のとおりです。

温度　5 ～ 35℃　　　湿度　10 ～ 80%

■ 設置スペースを確保してください





■ 酸性ガス、アルカリ性ガス、水蒸気などが発生する場所には設置しないでください

腐食により、故障の原因となることがあります。

■ 動作中は電源断したり、開閉部を開けたりしないでください

通信やコピー等の動作中に電源コードを抜いたり、原稿カバーを開けたりしないでください。動作が中断されたり、故障の原因となります。

■ 落下させたり、衝撃をあたえないでください

落としたり、強い衝撃をあたえないでください。故障の原因となります。

■ テレビやラジオ、こたつの上など磁気が発生する場所には設置しないでください

本商品が正常に動作しないことがあります。

■ 低温環境へ設置しないでください

製氷倉庫など特に温度が下がるところでは本商品が正常に動作しないことがあります。

■ 室内温度を急激に上げないでください

装置内部に水滴ができ、故障の原因になります。

■ 機械のスムーズな動作と良質な画質を得るために、日常のお手入れをお願いします

■ 電波障害時の対処

本商品の設置場所等によっては、近くに置いたラジオへの雑音やテレビ画面のチラツキなどが発生する場合があります。このような現象が本商品の影響によると思われましたら、本商品の電源コードを抜いてください。電源を切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試みてください。

・本商品をテレビ等から遠ざける
・本商品またはテレビ等の向きを変える

コピー禁止事項

お願い
● **次のようなものをコピーすることは法律で禁止されています。** ・紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方債証券 ・外国で流通する紙幣、貨幣、証券類 ・未使用の郵便切手や官製ハガキ ・政府発行の印紙および酒税法や物品税法で規定されている証券類 ● **次のようなものをコピーすることは、注意が呼びかけらています。** ・民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券 ・政府発行のパスポート、公共機関や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類 ● **著作権の対象となっている著作物は、個人的に限られた範囲内で使用するため以外はコピーを禁止されています。**

済スタンプについて

お願い
● **済スタンプの付属のピンは先がとがっています。刺さらないようにご注意ください。** ● **スタンプ印面には、直接手を触れないでください。また、インクが手などに付着したときは、すぐに水で洗ってください。**

感熱記録紙について

お願い
● **当社指定のものをお勧めします。** 記録紙は当社推奨品をご使用ください。推奨品以外の記録紙をお使いになった場合のトラブルにつきましては、当社では保証いたしかねますのでご了承ください。 ● **保管するには……** 記録紙は高温多湿の場所、直射日光の当たるところを避けて（机の中など）気温 60℃以下、湿度 85％以下の冷暗所に保管してください。また、開封せずに保管してください。 ● **消しゴムやボンドは避けてください。** 感熱記録紙に粘着テープ、消しゴム、ジアゾコピー紙などを密着させたり、硬い金属で押さえたりすると、発色することがあります。また、ゴム系のり、ボンド、スティックのりなども発色の原因となります。 ● **受信後の変色にもご注意を** 感熱記録紙は受信やコピー後に、火のついたタバコやライターなど高温のものを近づけると変色します。また、消しゴム、薬品、マーカーペンなどで退色または変色する場合がありますので、取り扱いに注意してください。

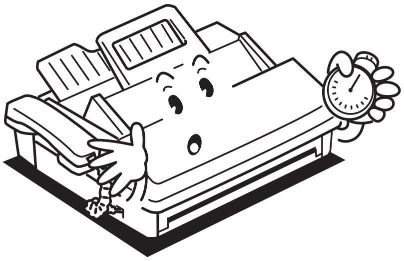
第 1 章

ご使用になる前に

主な特長

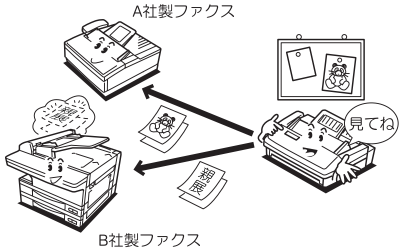
■ スーパー G3 & JBIG

ITU-T（国際電気通信連合）の新規格 V.34 準拠の 33 600 bit/s ファクスモデムの搭載により、一般電話回線で超高速 2 秒台電送のスーパー G3 通信が可能です。また新標準圧縮方式 JBIG を採用。写真原稿も超高速で送信できます。



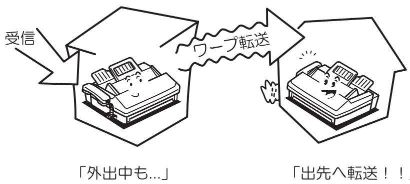
■ F コード通信対応（→ 3-38 ページ）

ITU-T（国際電気通信連合）の規格に準拠した F コード通信に対応しているので、他メーカーでも対応機種間であれば、親展、掲示板機能、中継指示通信が利用できます。



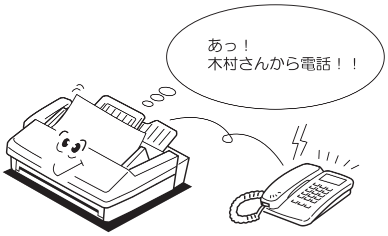
■ FAX ワープ機能（→ 3-28 ページ）

指定時間内に受信した原稿をあらかじめ設定した宛先に転送することができます。例えば、外出中にオフィスに送信された原稿を出先や自宅で受信できます。
また、ナンバー・ディスプレイワープ機能（→ 3-62 ページ）を利用すると、あらかじめ登録した相手からのファクスを転送することもできます。



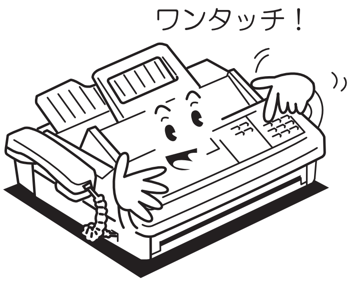
■ ナンバー・ディスプレイ対応（→ 3-56 ページ）

当社のナンバー・ディスプレイサービスを利用すると、相手の番号がディスプレイに表示されます。またよくかかってくる相手の名前を登録しておくと、番号の代わりに名前が表示されますので、一目で確認できます。
またナンバー・ディスプレイ対応の電話機を接続すれば、FAX と電話機の両方で同サービスを利用することもできます。



■ プログラムワンタッチ（→ 5-17 ページ）

応用機能の通信メニューを登録した後、ワンタッチで自動通信することができます。通信以外にもリストのプリントや原稿蓄積などの操作もワンタッチで実行できます。



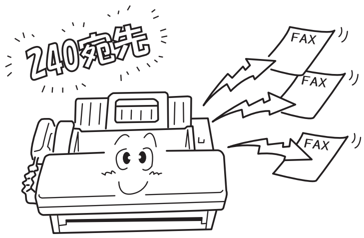
■ TEL/FAX 切替＆ダイヤルイン切替（→ 3-24 ページ）

一本の電話回線をファクスと電話に自動切替で利用できます。相手が電話のときは呼び出しベルが鳴り、ファクスのときは自動受信します。また、当社のダイヤルインサービスをご利用になると、一本の電話回線に、ハンドセット用、増設電話用、ファクス用と 3 つの別々の電話番号がつけられ、それぞれ自動切替で利用できます。
※ダイヤルインをご利用になるには、当社との利用契約が必要です。



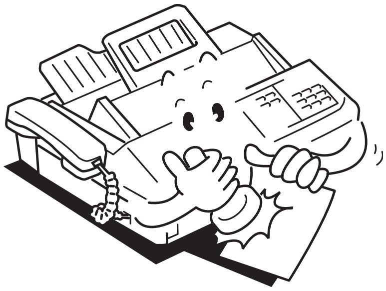
■ 同報送信（→ 3-4 ページ）

ワンタッチ、短縮ダイヤル、グループ番号などを利用すると、最大 240 宛先まで 1 度の操作で送信することができます。



■ 済スタンプ（→ 2-18 ページ）

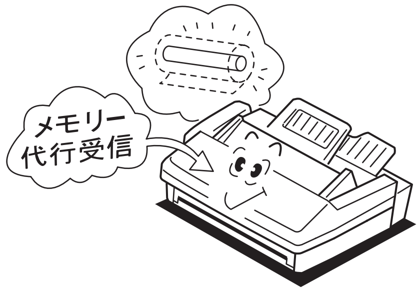
リアルタイム送信の際は、送信済みの原稿に○印をスタンプし、送信モレや二重送信を防ぎます。メモリー送信の際には、メモリーに読み込まれたことを示す読み込み済スタンプとなります。



■ **代行受信**（→ 2-36 ページ）

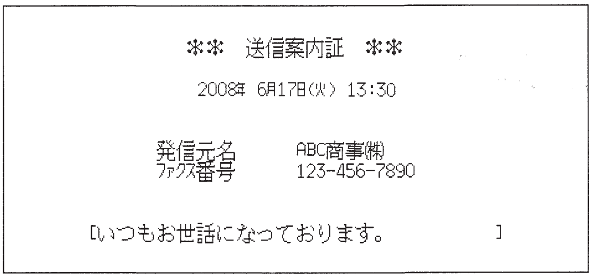
記録紙が無くなっても補給までの間、メモリーが代わってファクスを受信します。最大 100 通信、A4 サイズ 700 文字程度の原稿で約 255 枚分蓄積できます。新しい記録紙を補給した時点でプリントアウトします。

記録紙が無くなっても・・・



■ **漢字入力**（→ 5-3 ページ）

発信元名や送信案内証のメッセージに漢字を入力できますので、見やすくなり便利です。
（第二水準一部対応）


＊＊　送信案内証　＊＊

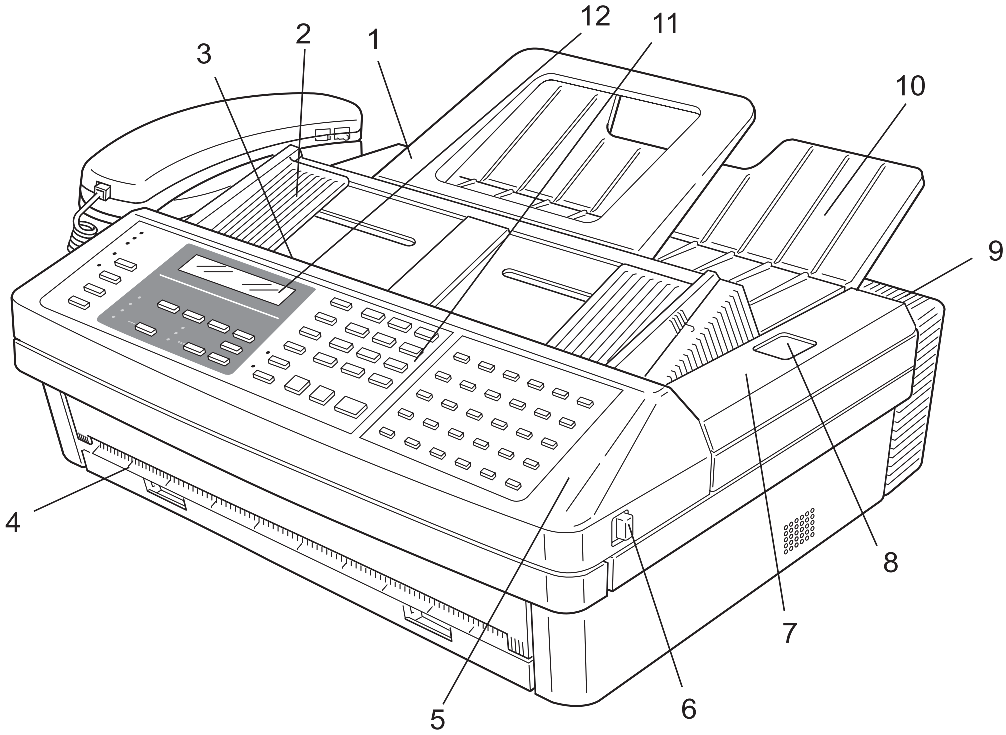
2008年　6月17日(火)　13:30

発信元名　　ABC商事(株)
ファクス番号　123-456-7890

[いつもお世話になっております。　　　　　]

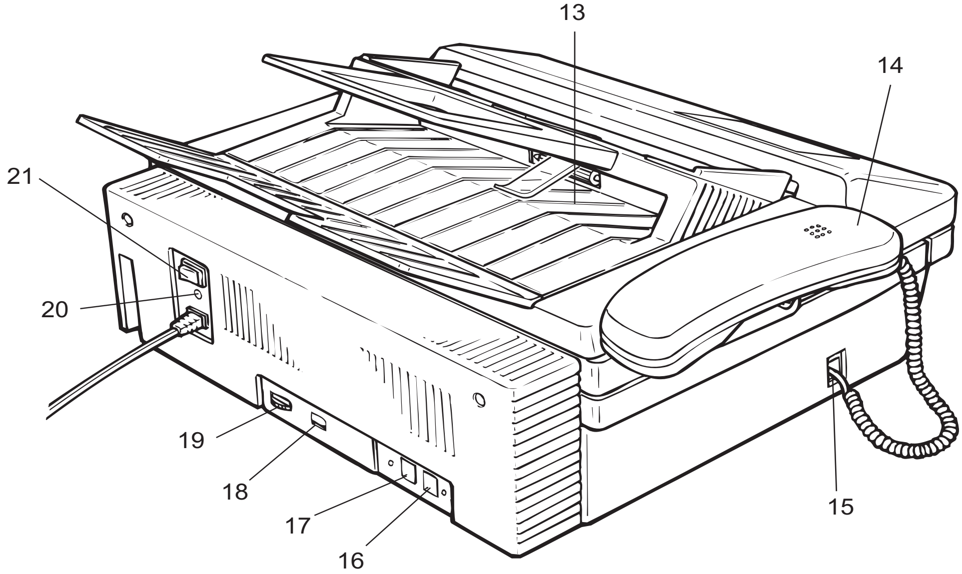
各部の名称とはたらき

本体各部の名称とはたらき



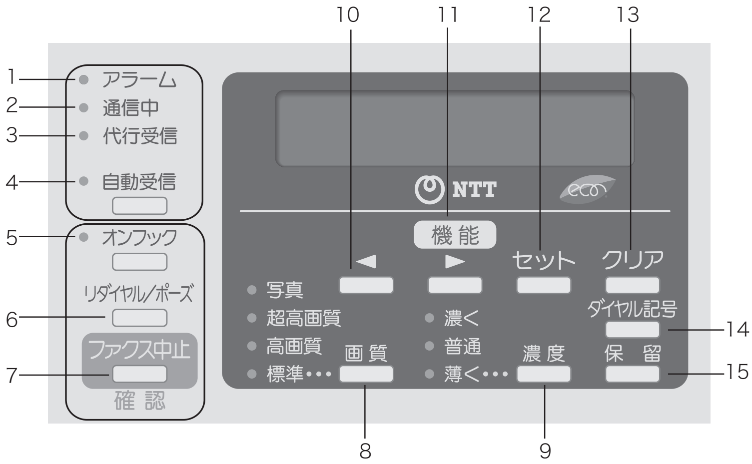
番号	名称	説明
1	原稿台	原稿をセットします。
2	原稿ガイド	原稿を挿入するときに、原稿に添わせてください。
3	原稿挿入口	原稿の送りたい面を下にして挿入します。 ※原稿は自動的にスタート位置に引き込まれます。
4	原稿排出口	送信・コピーが終わった原稿が排出されます。
5	原稿カバー	原稿づまり、済スタンプの交換のときに開けます。
6	原稿カバー開放レバー	原稿カバーを開けるときにこのレバーを手前に引きます。
7	トップカバー	記録紙交換、記録紙づまりのときに開けます。
8	トップカバー開放ボタン	トップカバーを開けるときにこのボタンを押します。
9	通風孔	機器本体からの熱が放出されますので、ふさがないでください。
10	記録紙受け	受信された記録紙、コピーやメッセージ・リストがストックされます。
11	操作パネル	送受信操作、ダイヤルの他、機能設定を行います。
12	液晶ディスプレイ	機器の状態を表示します。

本体内部



番号	名称	説明
13	記録紙排出口	受信文書やコピーが排出されます。
14	ハンドセット	電話機として使用します。また相手へダイヤルもできます。
15	PHONE1 端子	ハンドセットを接続します。
16	LINE 端子	電話機ヒモを接続します。
17	PHONE2 端子	増設電話を接続します。
18	ダイヤルインスイッチ	ダイヤルインサービスをご使用になるときは ON にします。(→ 3-24 ページ) ご使用でないときは必ず OFF にしておきます。
19	スピーカー音量ボリューム	スピーカーの音量を調節します。
20	接地端子	アース線を接続します。
21	電源スイッチ	機械の電源を ON/OFF するスイッチです。通常は電源を ON にしてください。長期間使用しないときや、機械の移動をするときは OFF にします。

操作パネルの名称とはたらき



1. アラームランプ
エラーがおきると点灯します。

2. 通信中ランプ
通信中に点灯します。

3. 代行受信ランプ
メモリーにデータが入ると点灯します。

4.〈自動受信〉/ ランプ
自動受信と手動受信を切り替えるときに押します。
自動受信に設定されているときに、ランプが点灯します。

5.〈オンフック〉/ ランプ
ハンドセットを置いたままダイヤルするときに押します。このときランプが点灯します。
(→ 2-12 ページ)

6.〈リダイヤル / ポーズ〉
最後にかけた相手に再ダイヤルするときや、ダイヤルに間隔を開けたいときに押します。
(→ 2-14、2-17 ページ)

7.〈ファクス中止 / 確認〉
通信を中止または確認することができます。
(→ 2-19 ページ)

8.〈画質〉/ ランプ
画質を選択するときに押します。選択された画質のランプが点灯します。(→ 2-6 ページ)

9.〈濃度〉/ ランプ
読み取り濃度を選択するときに押します。選択された濃度のランプが点灯します。(→ 2-6 ページ)

10.〈◄〉
カーソルを左に移動したいときに押します。

11.〈機能 /►〉
各種の設定や登録するときに押します。
また、カーソルを右に移動したいときに押します。

12.〈セット〉
選択した内容を確定するときに押します。

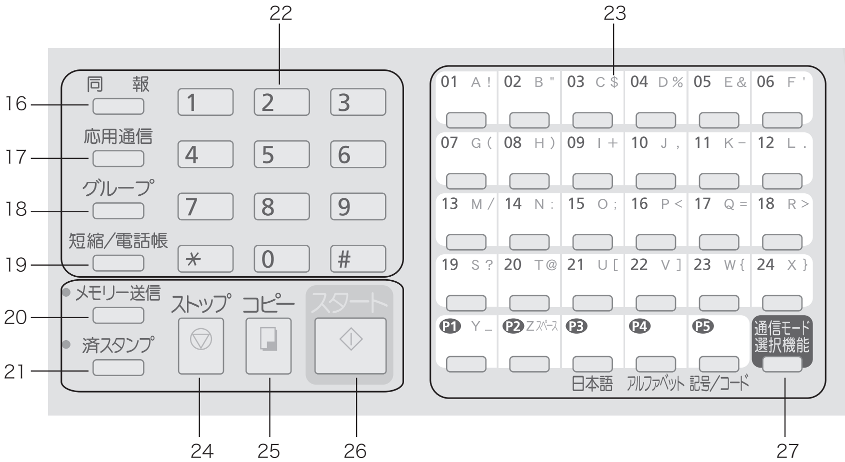
13.〈クリア〉
文字入力や電話番号入力で間違ったとき、1 桁戻りながら文字や数字を消します。

14.〈ダイヤル記号〉
ハイフン（–）や外線検出（！）などのダイヤル記号を入力するとき押します。(→ 2-17 ページ)

15.〈保留〉
相手との通話を一時保留するときに使います。
(→ 2-40 ページ)

補 足

表示を英語 / 日本語にするには、〈機能〉＋ダイヤルキー〈＃〉で切り替えます。



16.〈同報〉
同報で複数の宛先を指定するときに押します。(→ 3-4 ページ)

17.〈応用通信〉
時刻指定、親展送信、中継同報指示、ポーリング、一括送信、F コード送信、F コードポーリングをするときに押します。

18.〈グループ〉
グループ送信をするときに押します。(→ 3-6 ページ)

19.〈短縮 / 電話帳〉
短縮ダイヤルを使うときに押します。また、電話帳機能を使うときに押します。(→ 2-8、2-10 ページ)

20.〈メモリー送信〉/ ランプ
原稿をメモリーに蓄積して送信するときに押します。メモリー送信にセットしたときにランプが点灯します。(→ 2-16 ページ)

21.〈済スタンプ〉/ ランプ
原稿に読み取りマークをつけるときに押します。済スタンプをセットしたときにランプが点灯します。(→ 2-18 ページ)

22. ダイヤルキー
ダイヤルしたり、コピー部数を指示するときなどに押します。
〈⁎〉、〈#〉は通常のダイヤル発信以外の新しいサービスに使用する機能キーです。

23. ワンタッチキー
ワンタッチダイヤル、プログラムワンタッチを使うときに押します。(→ 2-8、5-17 ページ)
また、日本語、アルファベット、記号など文字を入力するときに押します。(→ 5-3 ページ)

24.〈ストップ〉
動作や操作を途中で中止するときや、原稿を排出するときに押します。

25.〈コピー〉
原稿をコピーするときに押します。(→ 2-41 ページ)

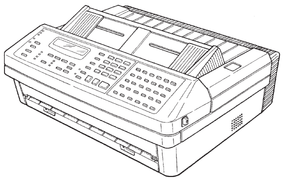
26.〈スタート〉
送信や手動受信のときに押します。

27.〈通信モード選択機能〉
通信モードを選択して送信するときに押します。(→ 3-23 ページ)

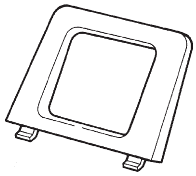
同梱品を確認する

本商品がお手元に届きましたら、以下の内容がそろっているかご確認ください。万一、足りないものやご不明な点がありましたら、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

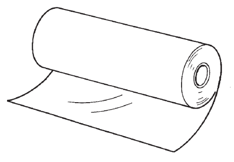
1 ファクス本体



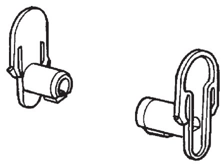
2 原稿台



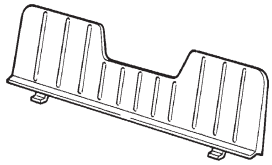
3* 記録紙



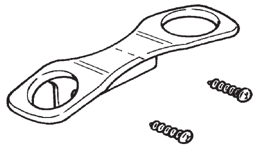
4 記録紙ホルダーセット



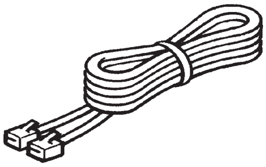
5 記録紙受け



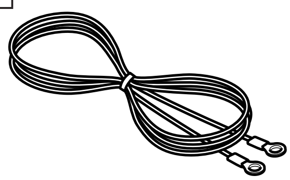
6 電話台
ネジ２本



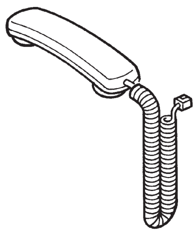
7 電話機ヒモ



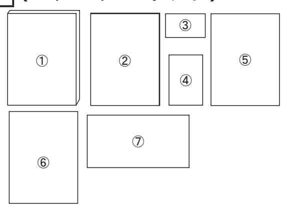
8 アース線



9 ハンドセットおよびカールコード



10 取説キット
（スターターキット）



①取扱説明書........................1 冊
②簡易取扱説明書 ....1 枚
③セキュリティラベル.......1 枚
④ NTT 通信機器お取扱相談
　センタシール...................1 枚
⑤保守サービスのご案内.......1 枚
⑥工事説明書........................1 冊
⑦保証書（梱包箱に貼付）1 枚

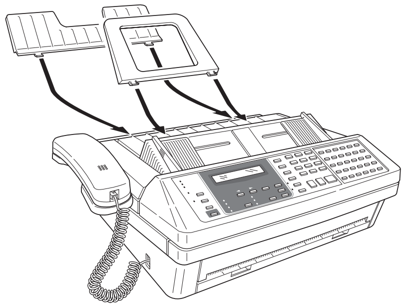
補 足

・＊は消耗品です。消耗品や別売品については「消耗品と別売品について」（→ 7-23 ページ）を参照の上、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。
・使用頻度が多いときや長時間使用いただいた場合は、ローラーなどの機械部品は耐用限度を超える場合があります。その際、部品交換は消耗品として取り扱いさせていただきます。

機器の接続のしかた

原稿台・記録紙受けの取り付け

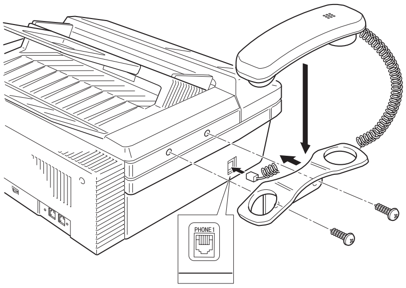
1 原稿台と記録紙受けにある両端のフックを穴に挿入します。



ハンドセットの取り付け

1 電話台をネジ２本で取り付けてます。

2 ハンドセットのカールコードを本体の PHONE1 端子に接続します。

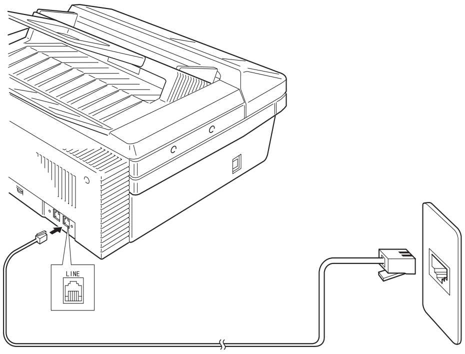


電話機ヒモの接続

1 電話機ヒモをファクス本体の LINE に接続します。

2 もう一方を室内の電話コンセントに接続します。

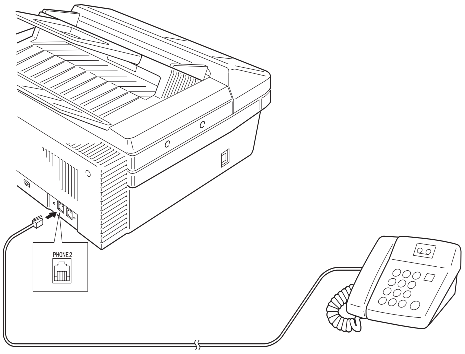
電話機ヒモは、電話コンセントにカチッと音がするまで差し込み、抜くときは、レバーを押しながら抜いてください。



増設電話（留守番電話）の接続

1 必要に応じて一般の電話または留守番電話の電話機ヒモをファクス本体の PHONE 2 端子に接続します。

増設電話（留守番電話）の種類によっては、ご利用になれない場合や、一部機能が利用できない場合があります。

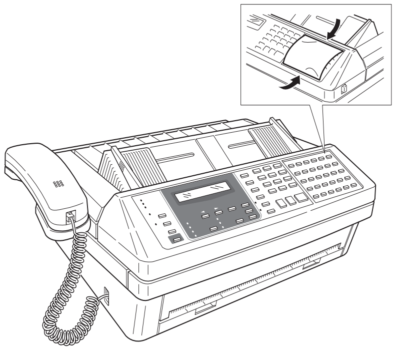


補 足

本商品と増設電話（留守番電話）のダイヤルタイプ設定を一致させてください。

ワンタッチシートの取り付け

1 シートカバーを外し、ワンタッチシートを外します。



2 ワンタッチシートに登録した宛先を記入してください。

ワンタッチシートは、ボールペン、鉛筆または油性ペンで直接名前を記入してください。鉛筆で記入した場合は消しゴムで消すことができます。

3 記入後、ワンタッチシート、シートカバーを元に戻します。

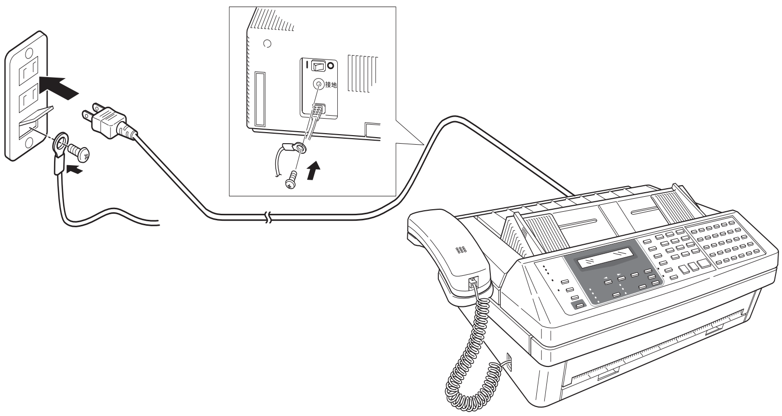
電源コードの接続

⚠警告

・ 万一漏電した場合の感電防止のため、必ずアース線を接続してください。
・ 電源プラグはほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また半年から 1 年に 1 回は、電源プラグをコンセントから抜いて点検、清掃してください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。

1 電源スイッチ OFF（○）になっていることを確認して、電源プラグをコンセントに接続します。

2 アース線は電源スイッチの下にある接地端子に取り付け、もう一方をコンセントの接地端子に接続します。



記録紙をセットする

- 記録品質への悪影響および故障の原因となることがありますので、当社指定の記録紙をおすすめします。
- 記録紙に赤い帯が出ると「まもなく記録紙がなくなります」というお知らせです。新しい記録紙と交換してください。

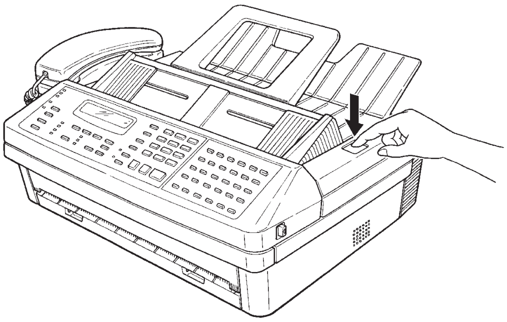
⚠注意

・サーマルヘッド（印字部）付近には触れないでください。動作直後は高温になっており、やけどの原因となります。
・トップカバーはいきおいよく開きますので注意してください。

お願い

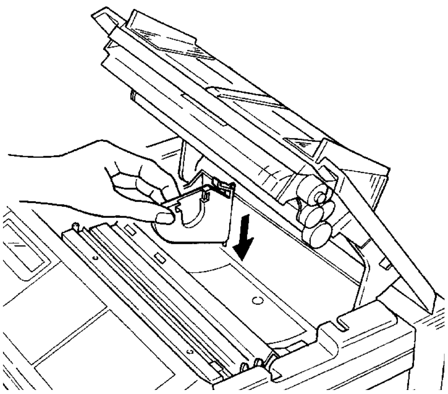
記録紙を交換するときは、電源を切らずに交換してください。電源を切ると蓄積原稿が消えることがあります。

1 **トップカバー開放ボタンを押し、トップカバーを開けます。**



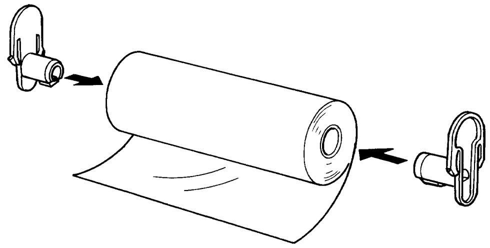
トップカバーを完全に開きます。

2 **仕切板を記録紙サイズに合わせます。**

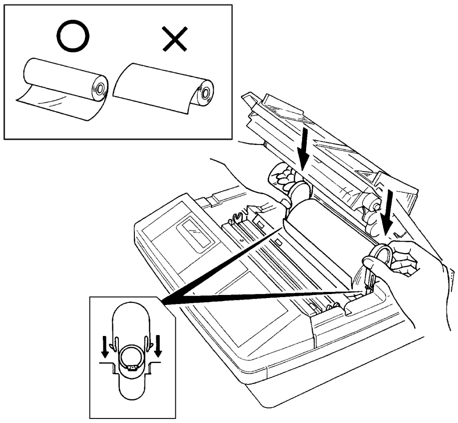


A4 の記録紙を使用するときは、仕切板を内側に移動させます。

3 記録紙に記録紙ホルダーを取り付けます。

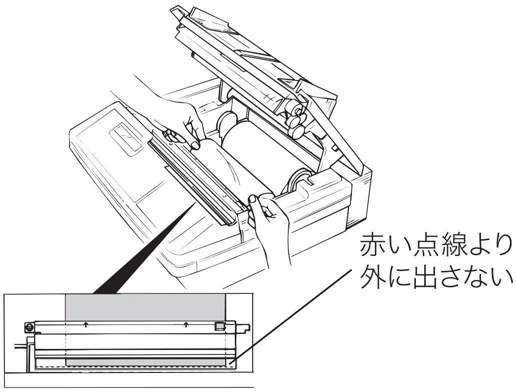


4 記録紙ホルダーを溝に差し込み、記録紙を本体にセットします。



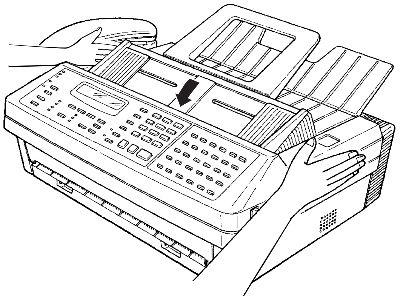
・記録紙ホルダーを図のように差し込んでください。
・記録紙を入れる向きに注意してください。

5 記録紙の先端をペーパーガイドの下（黒い矢印の下）に挿入します。



ペーパーガイドのフィルムから記録紙が見えるまで挿入します。記録紙がフィルムの赤い点線より外に出ないようにします。

6 トップカバーの両端を押さえて閉じます。



トップカバーを閉じると、記録紙の先端をテストカットします。これが行われないときは、もう一度記録紙をセットし直してください。

使用する前に登録する（設置モード）

本商品をご使用いただくために必要な登録を行います。

登録内容は以下の通りです。

- **時刻**
  ディスプレイの時刻を正しく設定します。時刻指定送信や通信管理などファクスの基準になります。
  西暦の下 2 桁、月日、時分を入力します。時刻は 24 時間制で入力します。
  時間表示は、あくまでも目安としてご利用ください。なお、誤差が生じた場合は設定をやり直してください。（時間精度：± 1 分以内）
- **発信元**
  相手に本商品のファクス番号を通知したり、発信元名やファクス番号を相手の記録紙にプリントしますので、受信側はどこから送信された原稿なのかを確認しやすくなります。
  - 発信元ファクス番号：発信元のファクス番号を 20 桁まで登録できます。
  - 発信元名：半角文字では 22 文字、全角文字では 11 文字まで登録できます。
  - 発信元名（カナ ID）：通信中、相手のディスプレイに表示されます。
    半角文字で 16 文字まで登録できます。
    ※発信元名は相手の機種が限定されます。詳しくは当社のサービス取扱所にお問い合わせください。
- **ダイヤルタイプ**
  接続するダイヤルタイプに合わせて設定します。設定が合っていない場合は、電話やファクスが使用できません。
- **ダイヤルトーン検出**
  電話回線に接続したときの " ツー " という発信音（ダイヤルトーン）を検出してから発信するかどうかを設定します。
- **受信モード**
  ご使用に合わせた受信モードを選びます。（→ 1-20 ページ）

登録を終了後、機器設定リストをプリントして、登録内容が正しいか確認してください。（→ 5-35 ページ）

登録する

1 **〈機能〉、ワンタッチキー〈I〉、〈セット〉を押します。**

ゲ゛ンザ゛イ　ジ゛コク　ヲ　ト゛ウソ゛
　　　　　’０８　０１／０１　００：００

2 **ダイヤルキーで現在の時刻を入力します。**

【例】2008 年 6 月 17 日午後 1 時 30 分と入力します。

ゲ゛ンザ゛イ　ジ゛コク　ヲ　ト゛ウソ゛
　　　　　’０８　０６／１７　１３：３０

・年（西暦下 2 桁）、月（2 桁）、日（2 桁）、時（24 時間制 2 桁）、分（2 桁）の順にダイヤルキーで現在の時刻を入力します。
・変更の必要がないときは〈◀〉、〈▶〉を押して、次の数字にカーソルを移動できます。

3 **〈セット〉を押します。**

4 **ダイヤルキーで発信元ファクス番号を入力します。**

ハッシンモト　ファクス　バ゛ンゴ゛ウ
１２３－４５６－７８９０■

・20 桁まで登録できます。
・ハイフンは〈ダイヤル記号〉を 1 回押すと入力できます。
・番号を間違えたときは、〈クリア〉を押して、正しい番号を入力してください。

5 **〈セット〉を押します。**

6 **発信元名を入力します。**

ハッシンモト　メイ　　：カタカナ
（３４５８）（４０３Ｅ）フ゛ロック■

・半角文字は 22 文字まで、全角文字は 11 文字まで登録できます。
・文字入力については「文字入力のしかた（→5-3 ページ）」を参照してください。
・間違えた文字を消去するときは、〈◀〉、〈▶〉で消去したい文字にカーソルを合わせ〈クリア〉を押します。正しい文字を入力し直してください。

7 **〈セット〉を押します。**

8 **発信元名（カナ ID）を入力します。**

ハッシンモト　カナＩＤ：カタカナ
カンサイフ゛ロック■

・半角文字（アルファベット、記号、カタカナ、数字）で 16 文字まで登録できます。
・文字入力については「文字入力のしかた（→5-3 ページ）」を参照してください。

9 〈セット〉を押します。

10 ダイヤルタイプを選びます。

〈機能〉でダイヤルタイプを選択してください。

```
ダ゛イヤル　タイフ゜　　　　：２０ｐｐｓ
　　　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

ダイヤルタイプがわからない場合は、「ダイヤルタイプの見分けかた」
（→ 1-21 ページ）を参照してください。

11 〈セット〉を押します。

12 ダイヤルトーン検出を設定します。

- 〈機能〉で ON/OFF を選択してください。
  - ON ダイヤルトーンを検出する。
  - OFF ダイヤルトーンを検出しない。
- 内線に接続されている場合などで、ダイヤルトーンが発信されない交換機に接続した場合は、OFF を選択します。

```
ダ゛イヤルトーン　ケンシュツ　：ＯＦＦ
　　　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

13 〈セット〉を押します。

14 受信モードを選びます。

```
ファクス　タイキ
　　　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

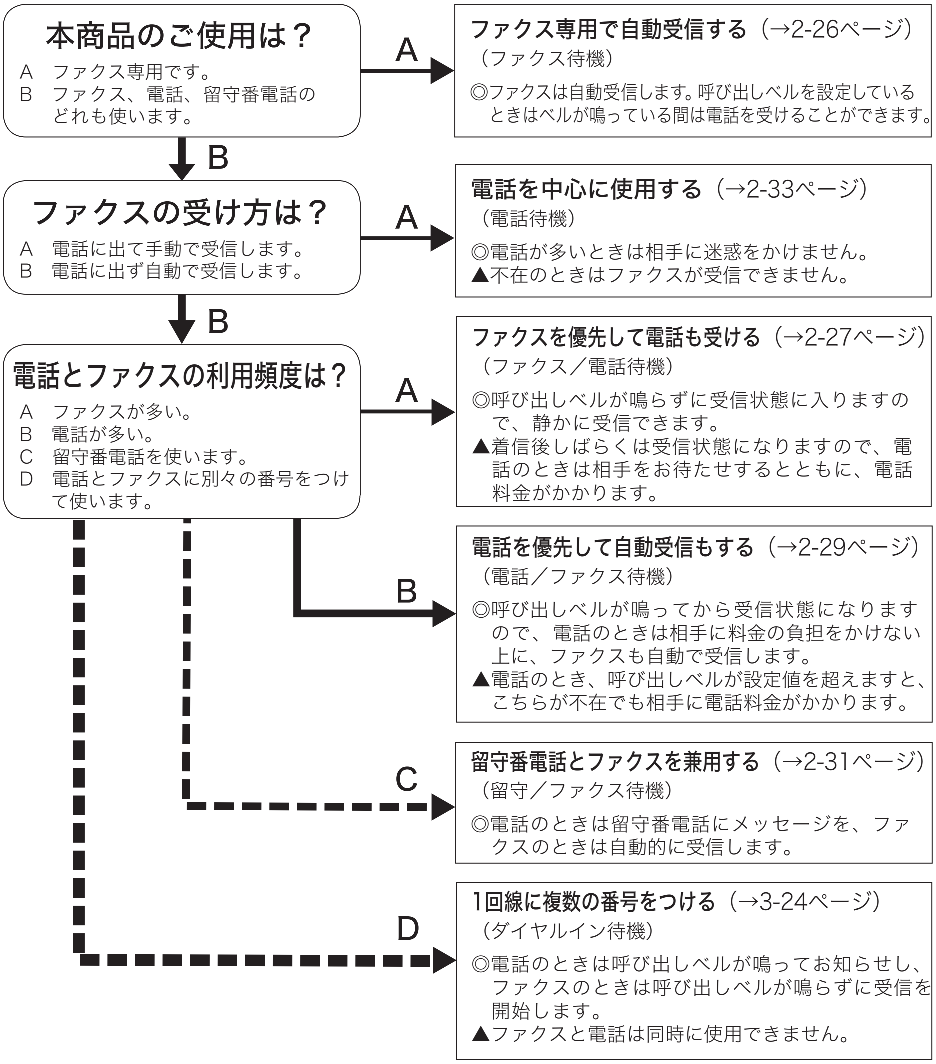
待機時に〈自動受信〉を押して、自動受信ランプを消灯すると「デンワ タイキ」になります。

15 〈セット〉を押します。

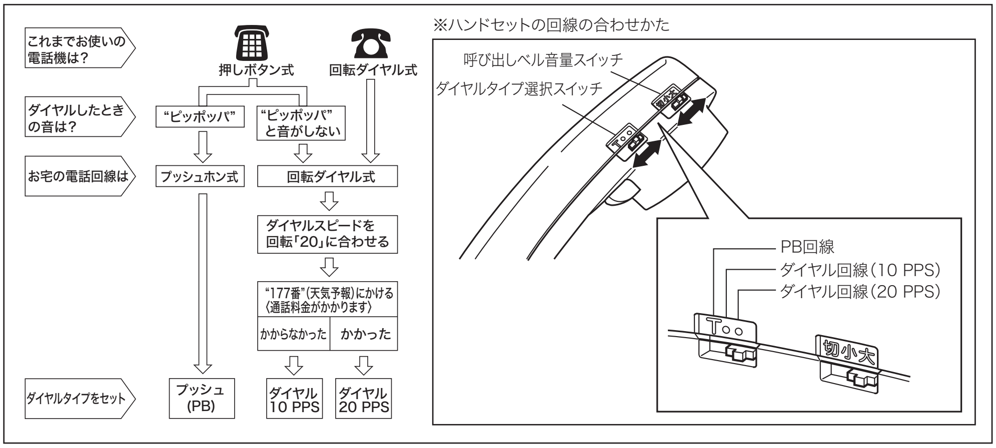
- 設置モードが登録され、待機画面に戻ります。
- 登録した内容を確認するには、機器設定リストをプリントしてください。（→ 5-35 ページ）

受信モードを選ぶ

ご使用に合わせた受信モードをお選びください。以下の質問にお答えいただくと、どの受信モードが最良か選択できるようになっています。



■ ダイヤルタイプの見分けかた



補 足

- ・操作を中止したいときは、〈ストップ〉を押します。
- ・設定状態を変更したくない場合は、〈セット〉を押すと次の項目に移ります。
- ・操作を中断してから 1 分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

待機画面について

設定した受信モードが表示されます

```
ファクス　タイキ
２００８年　６月１７日（火）　１３：３０
```

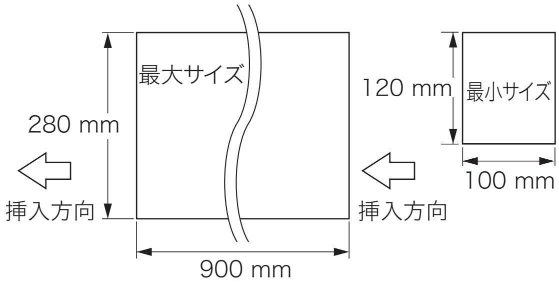
設置モード（→ 1-17 ページ）で設定した現在時刻が表示されます

第 2 章

基本編

原稿について

使用できる原稿サイズ



	1 枚だけ送信する場合	自動連続送信の場合
最　　大	280mm × 900mm	257mm×364mm（JIS B4）
最　　小	120mm × 100mm	148mm×105mm（JIS A6）
一度のセット枚数	−	30 枚※
原稿の紙厚	0.05mm ～ 0.15mm	0.06mm ～ 0.13mm
原稿の紙質	上質紙相当	

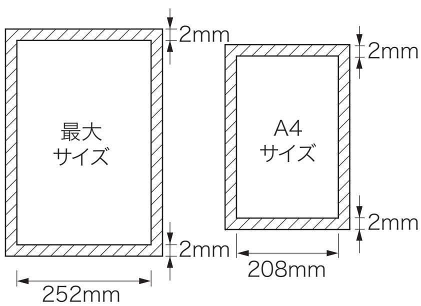
※厚みによりセットできる枚数が減る場合があります。

（参考）新聞紙の紙厚が 0.05 ～ 0.06mm、上質紙が 0.10mm、官製はがきが 0.23mm ですので原稿の紙厚の目安としてください。

補 足

900mm 以上の長さの原稿を送信される場合は、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

読み取り範囲について



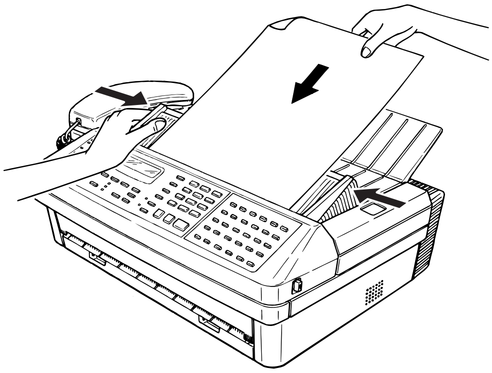
斜線部分に文字を書いても、読み取れませんのでご注意ください。また、本商品でも斜線部分には記録できません。

原稿をセットする

原稿をセットするとき

送信やコピーをするときは、次の手順で原稿をセットしてください。

1 **原稿ガイドを左右に動かし、原稿の幅に合わせます。**



原稿ガイドは中央を持ってください。

2 **送信する面を下向きにします。**

・複数の原稿は先端を階段状にずらしてセットしてください。
・最大 30 枚まで一度にセットできます。

3 **原稿を奥に突き当たるまで差し込みます。**

・セットした原稿を取り出したいときは、〈ストップ〉を押します。
・または原稿カバーを開けて取り出します。

補 足

原稿をセットするときの注意
・原稿ガイドを広げたまま、原稿をセットしないでください。
　→受信側に縮小されて写ることがあります。
　→斜行することがあります。
・サイズが異なる原稿を、一緒にセットしないでください。
　→不必要に縮小して送信されることがあります。
　→紙づまりすることがあります。
　→斜行することがあります。

原稿をセットするときの注意

- ホッチキス、クリップ、セロハンテープを取り除いてください。
  次のような原稿は複写機でコピーをとるか、キャリアシート（別売品）を使って送信してください。
- キャリアシートは 1 枚ずつ、単独で使用してください。複数枚の原稿をセットするときは、キャリアシートはご使用できません。

原稿の種類	キャリアシートを使用する	複写機でコピーをとる
紙が厚い原稿（0.15mm 以上）	×	○
紙が薄い原稿（0.05mm 未満）	○	○
破れている原稿、穴があいている原稿	○	○
シワやカールが激しい原稿	○	○
静電気で密着した原稿、湿った原稿	○	○
最小サイズより小さい原稿	○	○
インク、スタンプ、修正液など完全に乾いていない原稿	○	○
裏がカーボンになっている原稿	○	○
布地	×	○
金属シート	×	○

画質・濃度を選ぶ

画質を選ぶ

原稿の文字などの細かさに合わせて、画質を選びます。

1 希望する画質のランプが点灯するまで、〈画質〉を押します。

・写　　真…写真を送信するとき
・超高画質…精密なイラストや辞書のような細かい文字を送信するとき
・高 画 質…小さな文字の原稿を送信するとき（新聞など）
・標　　準…普通の文字の原稿を送信するとき
※「超高画質」は相手機により使用できない場合があります。

補 足

・標準から写真になるほど、通信時間が長くなります。
・画質の初期設定を変更できます。変更方法は「スキャナーパラメーター」を参照してください。（→ 5-32 ページ）

濃度を選ぶ

原稿に合わせて、濃度を選びます。

1 希望する濃度のランプが点灯するまで、〈濃度〉を押します。

・濃く…濃く読み取りたいとき（鉛筆書きや、薄い文字のときなど）
・普通…普通の原稿のとき
・薄く…薄く読み取りたいとき

補 足

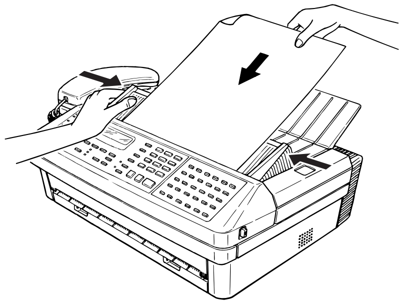
・複数枚の原稿をセットしているとき、原稿読み取り中に次の原稿の画質、濃度を変更することができます。
・濃度の初期設定を変更できます。変更方法は「スキャナーパラメーター」を参照してください。（→ 5-32 ページ）

送信のしかた

ダイヤルキーで送信する

操作パネルのダイヤルキーを使って送信する方法です。

1 **送信する面を下に向け原稿をセットします。**



ツウシン／コピ゜ー　デ゛キマス
Ａ４　　　　　　　　メモリー１００％

必要に応じて、メモリー送信、リアルタイム送信を設定します。（→ 2-16 ページ）

2 **画質や濃度を設定します。（→ 2-6 ページ）**

3 **ダイヤルキーで相手のファクス番号を入力します。（最大 40 桁）**

スタートキー　ヲ　ト゛ウゾ゛
１２３－４５６－７８９０■

ハイフン、ポーズ記号なども入力できます。（→ 2-17 ページ）

4 **〈スタート〉を押します。**

送信を始めます。
・メモリー送信のときは、原稿を読み取ってから送信を開始します。
・リアルタイム送信のときは、相手に着信してから送信を開始します。

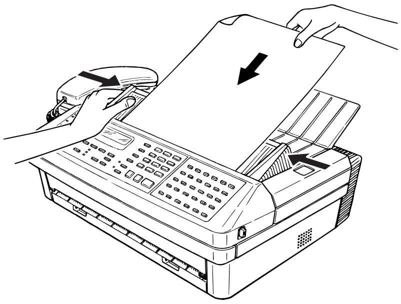
補 足

・入力した数字を修正するときは、〈クリア〉を押して入力した数字を削除し、あらためて正しい数字を入力します。
・メモリー送信のとき、原稿蓄積を中止したいときは、〈ストップ〉を押してください。
・相手が話し中などのときは、ディスプレイに「＊＊　ジドウ　リダイヤル　＊＊」と表示され、自動的にかけ直します。
・送信を始めた後の中止、リダイヤル待ちの中止は、（→ 2-19 ページ）を参照してください。
・リアルタイム送信の場合は、原稿を取り除くとリダイヤルを解除します。
・操作を中断してから 1 分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。
・送信予約を 100 件セットすると、自動送信できなくなります。その場合は、手動送信を行ってください。（→ 2-12 ページ）

ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルで送信する

あらかじめワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに、相手が登録されている必要があります。（→ 5-9、5-13 ページ）

1 **送信する面を下に向け原稿をセットします。**



ツウシン／コピ゜ー デ゛ キマス
Ａ４ メモリー１００％

必要に応じて、メモリー送信、リアルタイム送信を設定します。（→ 2-16 ページ）

2 **画質や濃度を設定します。****（→ 2-6 ページ）**

3 **相手のファクス番号を入力します。**

■ ワンタッチダイヤルで指定するとき

ワンタッチキーを押します。
【例】ワンタッチキー 01 を押した場合

キョウトシテン
［０１］■

登録されている相手先名または相手のダイヤル番号が表示されます。

■ 短縮ダイヤルで指定するとき

〈短縮 / 電話帳〉を押します。ダイヤルキーで短縮番号（001 ～ 196）を入力します。

ホクリクシテン
Ｓ１２３■

登録されている相手先名または相手のダイヤル番号が表示されます。

4 **〈スタート〉を押します。**

送信を始めます。
・メモリー送信のときは、原稿を読み取ってから送信を開始します。
・リアルタイム送信のときは、相手に着信してから送信を開始します。

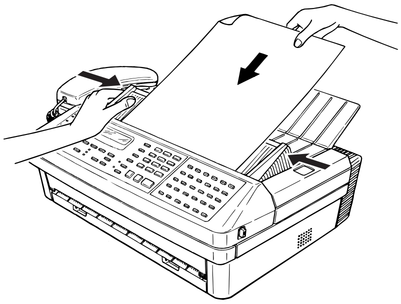
補足

・入力した数字を修正するときは、〈クリア〉を押して入力した数字を削除し、あらためて正しい数字を入力します。
・メモリー送信のとき、原稿蓄積を中止したいときは、〈ストップ〉を押してください。
・相手が話し中などのときは、ディスプレイに「＊＊　ジドウ　リダイヤル　＊＊」と表示され、自動的にかけ直します。
・送信を始めた後の中止、リダイヤル待ちの中止は、(→ 2-19 ページ) を参照してください。
・リアルタイム送信の場合は、原稿を取り除くとリダイヤルを解除します。
・操作を中断してから 1 分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。
・送信予約を 100 件セットすると、自動送信できなくなります。その場合は、手動送信を行ってください。(→ 2-12 ページ)

電話帳で送信する

あらかじめワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに、相手先名が登録されている必要があります。（→ 5-9、5-13 ページ）

1 **送信する面を下に向け原稿をセットします。**



ツウシン／コピ゜ー デ゛ キマス A４ メモリー１００％

必要に応じて、メモリー送信、リアルタイム送信を設定します。（→ 2-16 ページ）

2 **画質や濃度を設定します。（→ 2-6 ページ）**

3 **〈短縮 / 電話帳〉を 2 回押します。**

デ゛ンワチョウ ［ア］ アキタシテン ：S００１

4 **ダイヤルキーで送信したい相手を検索し、表示させます。**

相手先名の右側には、表示している相手先名が登録されているワンタッチ番号、または短縮番号が表示されます。

デ゛ンワチョウ ［ア］ アキタシテン ：S００１

▼

デ゛ンワチョウ ［カ］ カイガ゛イキ゛ョウム ：S００３

5 **〈スタート〉を押します。**

送信を始めます。

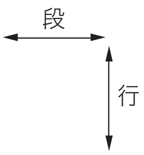
・メモリー送信のときは、原稿を読み取ってから送信を開始します。

・リアルタイム送信のときは、相手に着信してから送信を開始します。

補 足

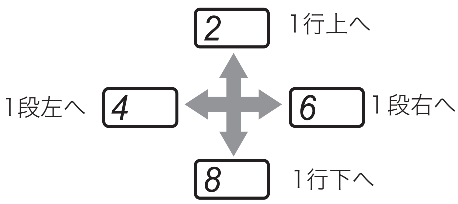
- 読み取りを中止するときは、〈ストップ〉を押してください。
- 送信を始めた後の中止は、(→ 2-19 ページ) を参照ください。
- 操作を中断してから 1 分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。
- 送信予約を 100 件セットすると、自動送信できなくなります。その場合は、手動送信を行ってください。(→ 2-12 ページ)
- 電話帳検索のしかた
  あらかじめワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに、相手先名が登録されている必要があります。(→ 5-9、5-13 ページ)

文字列表



ア イ ウ エ オ
カ キ ク ケ コ
サ シ ス セ ソ
タ チ ツ テ ト
ナ ニ ヌ ネ ノ
ハ ヒ フ ヘ ホ
マ ミ ム メ モ
ヤ ユ ヨ
ラ リ ル レ ロ
ワ ヲ
ン
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
! ” # $ % & ’ ( ) ∗ + , − . ／ 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 : ; < = > ? @ [ ] { }

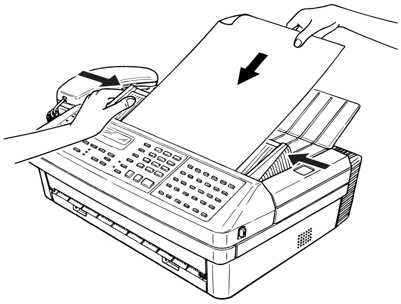
ダイヤルキーの役割



手動送信する

相手に着信したことを確認して送信する場合や、通話の後で送信する方法です。

1 **送信する面を下に向け原稿をセットします。**



2 **画質や濃度を設定します。****（→ 2-6 ページ）**

3 **〈オンフック〉を押し、「ツー」という発信音を確認します。**

・ハンドセットをご使用の場合はハンドセットを上げ、発信音を確認します。
・〈オンフック〉を使用する場合は、通信中ランプが消灯しているときに押してください。

4 **ダイヤルキーまたはハンドセットで相手のファクス番号を入力します。**

【例】ダイヤルキーで入力した場合

＊＊　デ゛ンワ　＊＊ 1234567890■

5 **電話がつながったら通話します。通話後に、相手でファクス受信の操作をしてもらいます。**



「ピー」と聞こえたときは、次の手順に進んでください。

6 **相手への接続を確認した後に、〈スタート〉を押します。**

・送信が始まります。
・ハンドセットを使う場合は、〈スタート〉を押し、ハンドセットを戻します。
・相手が自動受信の場合、“ピープルプル”という音が聞こえる場合があります。

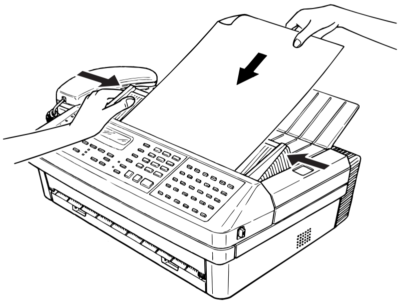
補 足

・送信はリアルタイム送信になります。
・手動送信した場合、相手機がスーパーG3機であっても、スーパーG3で通信されません。(スーパー G3 通信より、通信時間が長くなります。)
・相手の番号を間違えたときは、最初からやり直してください。
・送信を中止したいときは、〈ストップ〉を押します。
・通信が終了した後、ハンドセットが外れているとアラームが鳴ります。
・〈オンフック〉を押したときのツー音の大きさを調整できます。本体背面のスピーカー音量ボリュームを左右に動かして調整してください。

リダイヤルで送信する

リダイヤルは、本体ダイヤルキーで送信した最後の相手にダイヤルします。ハンドセットで送信した場合のリダイヤルはできません。

1 **送信する面を下にして原稿をセットします。**



必要に応じて、メモリー送信、リアルタイム送信を設定します。(→ 2-16 ページ)

2 **画質や濃度を設定します。(→ 2-6 ページ)**

3 **〈リダイヤル / ポーズ〉を押します。**

```
スタートキー　ヲ　ド゛ウゾ゛
123−456−7890■
```

4 **〈スタート〉を押します。**

原稿の読み取りが始まります。

補 足

・入力した数字を修正するときは、〈クリア〉を押して入力した数字を削除し、あらためて正しい数字を入力します。
・メモリー送信のとき、原稿蓄積を中止したいときは、〈ストップ〉を押してください。
・相手が話し中などのときは、ディスプレイに「＊＊　ジドウ　リダイヤル　＊＊」と表示され、自動的にかけ直します。
・送信を始めた後の中止、リダイヤル待ちの中止は、(→ 2-19 ページ) を参照してください。
・リアルタイム送信の場合は、原稿を取り除くとリダイヤルを解除します。
・操作を中断してから 1 分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

送信中にメモリーオーバーしたとき

原稿の蓄積中にメモリー容量をオーバーしたときは、次のようなメッセージが表示されます。メッセージは２種類あります。

■ 原稿の１枚目を蓄積中にメモリー容量をオーバーしたとき

```
メモリー　オーバ゛ー　デ゛ス
```

メモリーが空くのを待つか、リアルタイム送信で送信し直してください。

■ 原稿の２枚目以降を蓄積中にメモリー容量をオーバーしたとき

```
メモリー　オーバ゛ー　デ゛ス
メモリー　フ゛ンノミ　スタート／クリア
```

・〈スタート〉を押すと、メモリーに蓄積した原稿のみを送信します。
・〈クリア〉を押すと、メモリーに蓄積した原稿を消去します。
・何も操作せずに１分経過すると、自動的に画面がリセットされ、メモリーに蓄積した原稿は消去されます。

補 足

メモリーオーバーが表示されたときに、〈スタート〉または〈クリア〉、〈ストップ〉を押すと以下の表示になります。

```
ケ゛ンコウカバ゛ー　ヲ　カイヘイシテ
ケ゛ンコウセット　ヤリナオシテクダ゛サイ
```

パネル右横にある原稿カバー開放レバーを押してカバーを開け、残っている原稿を取り除いてください。

送信するときの便利な機能

送信方法の設定（メモリー送信とリアルタイム送信）

自動送信には、原稿を読み込んだ後に送信を開始するメモリー送信と、原稿を読み取りながら送信するリアルタイム送信とがあります。お買い上げ時はメモリー送信が設定されていますが、〈メモリー送信〉を押してランプを消灯させて、一通信のみリアルタイム送信を指定することができます。（常にリアルタイム送信を優先することもできます。（→ 5-33 ページ）

- **メモリー送信**

  メモリー送信とは、原稿をメモリーに読み込んでから送信する方法です。送信終了を待たずに原稿を持ち帰ることができ、時間のロスが少なくなります。

  メモリー送信の場合は、回線の不良等で画像が乱れると自動的にそのページを送り直します。

- **リアルタイム送信**

  リアルタイム送信とは、原稿をメモリーに読み込まずに相手へ直接送信する方法です。送信操作後に送信を開始するので、相手に送られていることを確認できます。

  ※複数の相手を指定した場合は、自動的にメモリー送信に切り替わります。

補 足

リアルタイム送信はメモリー送信より優先して送信されます。メモリー送信とリアルタイム送信の送信予約がある場合、リアルタイム送信の方が先に送信予約を始めます。急いで送信したい場合は、リアルタイム送信をご使用ください。

ダイヤル記号について

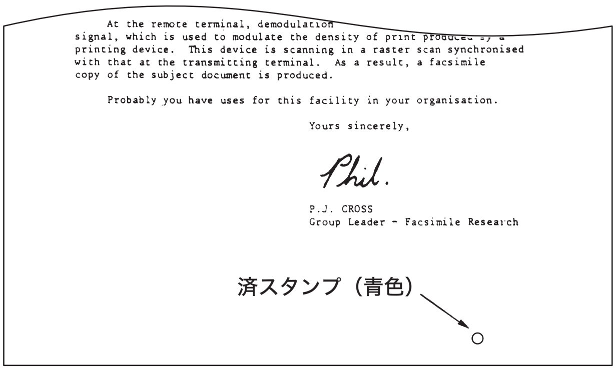
〈ダイヤル記号〉による入力は、各種通信のセット時にも使用できます。

記号名称	操　作	液晶表示	機能および用途
ハイフン	〈ダイヤル記号〉を 1 回押す。	ー	ダイヤルに区切りをつけて、読みやすくするためのー（ハイフン）が入力できます。
第 2 発信	〈ダイヤル記号〉を 2 回押す。	/	ファクシミリ通信網や海外通信（準 ISD）のときに使用します。一部、地域によっては / （第 2 発信音）が出ない場合もありますので、その場合はポーズ（ー/）を入力されることをおすすめします。 （例）161/075-111-2222
第 1 発信	〈ダイヤル記号〉を 3 回押す。	!	内線からの 0 発信（第 1 発信音）のときに使用します。 （例）0!075-111-2222
PB 信号送出	〈ダイヤル記号〉を 4 回押す。 ハンドセットを上げたとき、またはオンフックボタンを押して発信するときは、〈ダイヤル記号〉を 1 回押す。	ー !	ダイヤル回線のときに、PB 信号を出すことができます。 （例）075-111-2222-!1111#
ポーズ	〈リダイヤル / ポーズ〉を 1 回押します。	ー /	ダイヤルに間隔を開けたいときに使います。内線の 0 発信、NCC 利用時などに使います。 （例）0-/075-111-2222 ※ポーズ時間は設定により変更可能です。（→ 5-32 ページ）

済スタンプの設定

- 読み取りを完了（または送信完了）した原稿に、スタンプを押して読み取り済み（または送信済み）であることを確認することができます。
- お買い上げ時は済スタンプの設定は「OFF」になっていますが、〈済スタンプ〉を押してランプを点灯させると、1 通信のみ済スタンプを押すことができます。（「ON」に設定して、常に済スタンプを押すこともできます。（→ 5-33 ページ））

A4 サイズの原稿では、およそ下図の位置に済スタンプが押されます。



ファクスを中止 / 確認する

原稿が読み取られた後に送信を中止したいときは、次の操作をします。また、通信予約されている文書をプリントしたり、リストをプリントしたりして、予約を確認することもできます。通信した結果をディスプレイ上で確認することもできます。

現在送信中の文書を中止する

1 〈ファクス中止 / 確認〉を押します。

```
C07:1234567
                キノウ／クリア
```

現在送信中の文書が表示されます。

2 〈クリア〉を押します。

```
C07:1234567
カクニン          キノウ／クリア
```

3 もう一度、〈クリア〉を押します。

```
C07:1234567
 ＊＊   クリア  カンリョウ   ＊＊
```

・次の通信文書がある場合は、ディスプレイに表示されます。続けて中止したい場合は、手順 2 へ戻ります。
・操作を終了するときは、〈ストップ〉を押します。
・次の通信文書がない場合は、自動的に待機状態に戻ります。

補 足

同報送信やグループ送信で送信中のときは、宛先を個別に取り消せます。(→2-21、2-22ページ)

送信予約文書を中止 / 確認する

1 **〈ファクス中止 / 確認〉を押します。**

```
C02:ド ウホウ
                キノウ/クリア
```

現在送信中の文書がある場合はその文書が表示されます。

2 **〈機能〉を押して中止 / 確認したい送信予約文書を表示させます。**

〈機能〉を押すごとに表示が変わります。
同報送信のとき

```
C02:ド ウホウ
                キノウ/クリア
```

▼

グループ 3 への送信予約

```
C03:G03
                キノウ/クリア
```

▼

一括送信ボックス番号 01 に登録したとき

```
B01: [30]
                キノウ/クリア
```

通信先番号
S001 : 短縮ダイヤル
[02] : ワンタッチダイヤル
G03 : グループ送信
ド ウホウ : 同報通信
C01 : 予約番号
B01 : 一括送信ボックス番号
C : 送信予約
B : 一括送信文書

3 **中止したい文書を表示し、〈クリア〉を押します。**

```
C03:G03
カクニン          キノウ/クリア
```

4 **もう一度、〈クリア〉を押します。**

```
C03:G03
 **    クリア  カンリョウ    **
```

・次の通信文書が表示されます。続けて中止したい場合は手順 2 へ戻ります。
・操作を終了するときは、〈ストップ〉を押します。

同報送信を中止 / 確認する

- 同報送信が実行されているときは、各々の宛先を個別に消去できます。
- 時刻指定などで、同報送信が送信予約になっているときは各々の宛先を個別に消去することはできません。

1 〈ファクス中止 / 確認〉を押します。

```
C07：1234567
              キノウ／クリア
```

現在送信中の文書がある場合は、その文書が表示されます。

2 〈機能〉を押して中止 / 確認したい同報送信を表示させます。

```
C03：ド゛ウホウ
              キノウ／クリア
```

・ここで〈クリア〉を 2 回押すと、同報をまとめて消去します。
・宛先を個別に中止する場合は手順 3 へ進みます。

■ 同報送信の宛先別に消去 / 確認します。

3 〈同報〉を押します。

```
 [04]
              キノウ／クリア
```

4 〈機能〉を押すと次の同報宛先を表示します。

```
S002
              キノウ／クリア
```

もう一度〈同報〉を押すと、手順 2 の画面に戻ります。

5 中止したい同報宛先を表示し、〈クリア〉を押します。

```
S002
カクニン        キノウ／クリア
```

6 もう一度、〈クリア〉を押します。

```
S002
 ＊＊   クリア  カンリョウ   ＊＊
```

・次の同報宛先が表示されます。続けて中止したい場合は手順 5 へ戻ります。
・通信文書の表示に戻るには、〈同報〉を押します。
・操作を中止するときは、〈ストップ〉を押します。

グループ送信を中止 / 確認する

- グループ送信が実行されているときは、グループに登録されている各々の宛先を消去できます。
- 時刻指定などで、グループ送信が送信予約になっているときは各々の宛先を消去することはできません。

1 **〈ファクス中止 / 確認〉を押します。**

```
C07：123456
              キノウ／クリア
```

現在送信中の文書がある場合は、その文書が表示されます。

2 **〈機能〉を押して中止 / 確認したいグループ送信を表示させせます。**

【例】時刻指定などで送信予約になっている場合

```
C02：G05
              キノウ／クリア
```

G05 : 時刻指定などで送信予約になっている場合
S001 : グループに宛先が 1 ヶ所登録されている場合
ﾄﾞｳﾎｳ : 2 つ以上のグループが指定されている場合
グループに宛先が 2 ヶ所以上登録されている場合

・ここで〈クリア〉を 2 回押すと、グループをまとめて消去します。
・グループに登録されている宛先を個別に中止する場合は手順 3 へ進みます。

■ グループの宛先別に消去 / 確認します。

3 **〈同報〉を押します。**

送信中の宛先を表示します。

```
[04]
              キノウ／クリア
```

4 **〈機能〉を押すと次の宛先を表示します。**

```
S002
              キノウ／クリア
```

もう一度〈同報〉を押すと、手順 2 の画面に戻ります。

5 **中止したい宛先を表示し、〈クリア〉を押します。**

```
S002
カクニン        キノウ／クリア
```

6 **もう一度、〈クリア〉を押します。**

```
S002
 **    クリア カンリョウ   **
```

・次のグループ宛先が表示されます。続けて中止したい場合は手順5へ戻ります。
・通信文書の表示に戻るには、〈同報〉を押します。
・操作を中止するときは〈ストップ〉を押します。

ディスプレイ上で通信結果を確認する

● 過去に通信した 95 通信分の送信・受信結果をディスプレイ上に表示できます。
● 通信した時刻順に表示されます。

1 **〈ファクス中止 / 確認〉を 2 回押します。**

```
ツウシンケッカ カクニン
          ツウシンカクニン/セット
```

2 **〈セット〉を押します。**

```
Tx007:オオサカ
OK     6/17  13:30      >
```

直前に通信した結果が表示されます。

3 **〈◀〉、〈▶〉を押して、見たい結果を表示させます。**

```
Tx006:1234-56789
OK     6/17  13:20    </>
```

・95 通信分の通信結果と通信した時間、相手先名または相手先番号を表示できます。
・「Tx」は送信結果、「Rx」は受信結果を表します。
・通信が成功した場合は「OK」、失敗した場合は「NG」と表示します。
・詳しい通信結果を知るには、「通信管理レポート」を出力してください。(→ 3-73 ページ)
・D.0.2 などダイヤル時の異常の送信結果は表示されません。(→ 6-16 ページ)
・〈ストップ〉を押すと待機画面に戻ります。

通信予約リストをプリントする

- メモリーに蓄積された原稿で、まだ送信を完了していない原稿のリストをプリントすることができます。
- 通信予約が無い場合はディスプレイに「ツウシンマチ　アリマセン」と表示され、通信予約リストはプリントされません。

1 〈機能〉、ワンタッチキー〈F〉、〈セット〉を押します。

```
F 1　ツウシンヨヤク　リスト
　　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 〈セット〉を押します。

通信予約リストがプリントされます。

ABC商事(株)　　　　Fax:123-456-7890

＊＊　通信予約リスト　＊＊

P.1　　　　2008年 6月17日(火) 13:30

No.	ﾀﾞｲﾔﾙ番号	指定日時	応用機能	備考
C00	1234567	14,13:30		
C01	[01]	14,13:30	親展	1
C02	S001	15, 7:00	中継	G5, G10
B01	123-4567	16, 1:00	一括	
1	2	3	4	5

1. No.

・C01 … 予約番号です。
・B01 … 一括送信のボックス番号です。

2. ダイヤル番号

指定した相手の電話番号です。
・[01] … ワンタッチダイヤルです。
・S001…短縮ダイヤルです。
・G1……グループ番号です。

3. 指定日時

登録した通信の日時です。

4. 応用機能

登録した機能の種類です。
・親　　展… 親展送信、親展受信です。
・中　　継… 中継指示送信です。
・ポーリング… ポーリングです。
・同　　報… 同報送信です。
・検索ポー… 検索ポーリングです。
・F コード … F コード送信です。
・F　ポー … F コードポーリングです。
・一　　括… 一括送信です

5. 備考

親展番号、中継同報先などです。

補 足

・操作を中止するときは、〈ストップ〉を押します。
・番号を間違えて入力したときは上書きして訂正してください。
・操作を中断してから 1 分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

通信予約原稿をプリントする

- 時刻指定送信など、通信を予約している原稿をプリントして確認することができます。
- 予約番号がわからないときは、「送信予約文書を中止 / 確認する」または、「通信予約リストをプリントする」を参照して予約番号を確認してください。
- 一括送信の原稿をプリントするときは、「一括送信原稿をプリントする」(→ 3-15 ページ) を参照してください。

1 〈機能〉、ワンタッチキー〈F〉、ダイヤルキー〈2〉を押します。

```
F 2   ヨヤクゲ゛ンコウ  フ゜リント
                キノウ/セット
```

2 〈セット〉を押します。

```
ヨヤクゲ゛ンコウ  フ゜リント
ヨヤク  バ゛ンゴ゛ウ:        ■
```

3 ダイヤルキーでプリントしたい予約番号（0 ～ 99）を入力します。

```
ヨヤクゲ゛ンコウ  フ゜リント
ヨヤク  バ゛ンゴ゛ウ:        7■
```

番号を間違えて入力したときは、〈クリア〉を押して正しい番号を入力してください。

4 〈セット〉を押します。

通信予約原稿がプリントされます。

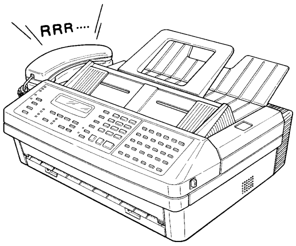
・入力した予約番号が無いときは「ツウシンマチ アリマセン」と表示されます。
・入力した予約番号がリアルタイム送信あるいは、ポーリング受信のときは「ヨヤクゲンコウ　ガ　アリマセン」と表示されます。
・通信が開始されると「ツウシンチュウ　デス」と表示され、プリントはできません。

受信のしかた

ファクス専用で自動受信する（ファクス待機）

- 設置モードの受信モード設定を、「ファクス タイキ」に設定してください。
  （→ 1-19 ページ）
- 自動受信ランプが消えてるときは、〈自動受信〉を押してランプを点灯させてください。

1 **呼び出しベルが 2（0 ～ 10）回鳴ります。**



2 **着信します。**

相手にファクス応答音「ピー」を返します。

3 **受信を開始します。**

・受信中は通信ランプが点灯します。
・受信が完了すると待機状態に戻ります。

補 足

・相手が電話してきた場合、呼び出しベルが鳴っている間にハンドセットを上げると通話できます。
・呼び出しベル回数は、0 ～ 10 回の間で回数を設定することができます。呼び出しベル回数を増やし、着信するまでの時間を長くすることにより、電話に出やすくすることができます。（→ 5-32 ページ）
・呼び出しベル回数を 0 回に設定すると、呼び出しベルを鳴らさずに着信します。（→ 5-32 ページ）

ファクスを優先して電話も受ける（ファクス / 電話待機）

- 設置モードの受信モード設定を、「ファクス / デンワ　タイキ」に設定してください。（→ 1-19 ページ）
- 自動受信ランプが消えてるときは、〈自動受信〉を押してランプを点灯させてください。
- 着信後しばらくは受信状態になりますので、相手が電話のときは相手をお待たせするとともに、相手に電話料金がかかります。

■ 相手がファクス送信してきた場合

1 **呼び出しベルが鳴らずに受信を開始します。**

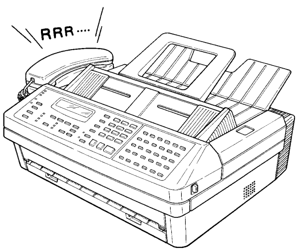
・相手にファクス応答音「ピー」を返します。
・相手がファクスでも相手機によりベル音が鳴ることがあります。
・受信中は通信中ランプが点灯します。
・受信が完了すると待機状態に戻ります。

補 足

相手がファクスでも相手機によりベル音が鳴ることがあります。

■ 相手が電話してきた場合

1 **着信後、しばらくしてから呼び出しベルが鳴ります。**



・相手は呼び出しベルが鳴るまでしばらく待たれていますので、できるだけ早く出てください。
・増設電話の呼び出しベルも鳴ります。
・着信後は相手には次の音声メッセージが流れ、ファクス応答音「ピー」を返します。

この電話はファクシミリに接続されています。ピーという音の後に送信してください。電話をご利用の方は、そのまましばらくお待ちください。 「ピー」（ファクス応答音）

ファクス応答音終了後、相手には次の音声メッセージが流れた後、保留メロディーが流れます。

ただいま、呼び出しております。そのまましばらくお待ちください。

電話にでない場合は、相手に次の音声メッセージが流れ、回線を切ります。

呼び出しましたが、近くにおりません。申し訳ございませんが、のちほどおかけ直しください。

2 相手と通話します。



補 足

- 呼び出しベルが鳴り続けるときは、相手が電話をかけておられます。
- よく電話をかけてこられる相手には、前もって少々お待ちいただくようにお伝えください。
- 相手から「ポーポー」と音が聞こえたときは相手はファクスです。ハンドセットで受けたときは、〈スタート〉を押してください。増設電話で受けたときは、増設電話のダイヤルキーで〈5〉、〈5〉とダイヤルすると受信を始めます。（受信後は受話器を戻してください）
- 相手機の機種により自動切替が働かない場合があります。

電話を優先して自動受信もする（電話 / ファクス待機）

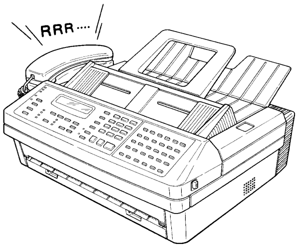
● 設置モードの受信モード設定を、「デンワ / ファクス　タイキ」に設定してください。(→ 1-19 ページ)

● 自動受信ランプが消えてるときは、〈自動受信〉を押してランプを点灯させてください。

● 電話のとき、呼び出しベルが 2（0 ～ 10）回を超えますと、ファクスは着信状態になりますので、こちらが不在でも相手に電話料金がかかります。

■ 相手がファクス送信してきた場合

1 **呼び出しベルが 2（0 ～ 10）回鳴ります。**



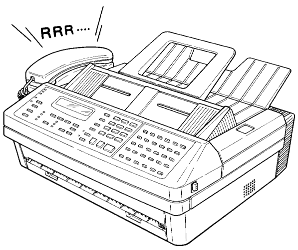
・呼び出しベルが鳴っている間にハンドセットを上げると「ポーポー」などの音が聞こえるか、または無音です。
・呼び出しベル回数は 0 ～ 10 回の間で変更できます。(→ 5-32 ページ)

2 **受信を開始します。**

・受信中は通信中ランプが点灯します。
・受信が完了すると待機状態に戻ります。

■ 相手が電話してきた場合

1 **呼び出しベルが 2（0 ～ 10）回鳴ります。**



・呼び出しベルが鳴ってる間にハンドセットを上げると通話できます。
・呼び出しベル回数は 0 ～ 10 回の間で変更できます。呼び出しベル回数を 0 回に設定すると、呼び出しベルを鳴らさずに着信します。(→ 5-32 ページ)
・増設電話の呼び出しベルも鳴ります。

2 自動着信します。

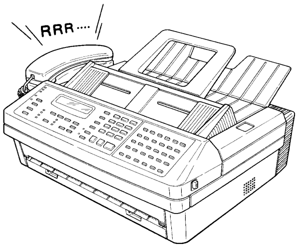
相手に最初の音声メッセージが流れます。

ただいま、電話を呼び出しております。ファクシミリをご利用の方は、そのまましばらくお待ちください。

3 再度呼び出しベルが鳴ります。（約 30 秒）

・電話のベルが鳴ったら、ハンドセットを上げて通話します。
・電話にでないときは、相手に次の音声メッセージが流れます。

呼び出しましたが、近くにおりません。ファクシミリをご利用の方は、ピーという音の後に送信してください。「ピー」（ファクス応答音）



4 相手と通話します。



補 足

・呼び出しベルが鳴り続けるときは、相手が電話をかけておられます。
・相手が手動送信の場合、ハンドセットを上げても無音の場合がありますので、相手が電話にでないことを口頭で確認の上、〈スタート〉を押してください。
・ハンドセットで受けたときは、〈スタート〉を押してください。増設電話で受けたときは、増設電話のダイヤルキーで〈5〉、〈5〉とダイヤルすると受信を始めます。（受信後は受話器を戻してください）

留守番電話とファクスを兼用する（留守 / ファクス待機）

- 設置モードの受信モード設定を、「ルス / ファクス　タイキ」に設定してください。(→ 1-19 ページ)
- 自動受信ランプが消えてるときは、〈自動受信〉を押してランプを点灯させてください。
- 留守番電話の接続コードをファクスの「PHONE 2 端子」に接続してください。

1 留守番電話で設定された回数の呼び出しベルが鳴ります。



2 応答メッセージが流れます。



■ 相手がファクス送信してきた場合

3 受信を開始します。
・受信中は通信中ランプが点灯します。
・プリントが完了すると待機状態に戻ります。

■ 相手が電話してきた場合

4 用件録音を開始します。



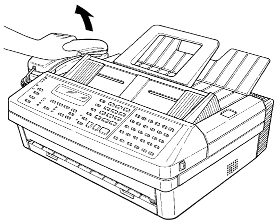
補 足

・留守番電話の種類により、留守番電話とファクシミリの自動切り替えが働かない場合があります。
・相手機により自動的に受信できない場合があります。
・相手が手動送信の場合は留守番電話が起動し、応答メッセージを送出してからファクスに切り替わりますので、留守番電話機の応答メッセージに「ファクスの方は送信してください」などの録音をしてください。
・留守番電話機の用件録音が満杯の状態などで、留守番電話機が応答しない場合は、ファクスも受信できません。
・留守 / ファクス待機のときは、リモート受信（ダイヤルキーで〈5〉、〈5〉と押す（→ 2-34 ページ））はできません。

電話を中心に使用する（電話待機）

- ハンドセットをとり、相手を確認してから受信を開始することができます。(手動受信)
- 〈自動受信〉を押して、自動受信ランプを消灯させてください。
- 原稿がセットされている場合、〈スタート〉を押すと送信を始めてしまいます。原稿が無いことを確認してください。

1 **電話の呼び出しベルが鳴ったらハンドセットを上げます。**



2 **相手と通話します。**



相手がファクスの場合は「ポーポー」などの音が聞こえるか、または無音です。

3 **〈スタート〉を押します。**

相手からの用件を確認して、〈スタート〉を押してからハンドセットを戻してください。

4 **受信を開始します。**

プリントを完了すると待機状態に戻ります。

補 足

・手動受信した場合、相手機がスーパーG3機であっても、スーパーG3で通信されません。(スーパー G3 通信より、通信時間が長くなります。)
・相手が手動送信の場合、ハンドセットを上げても無音の場合がありますので、相手が電話にでないことを口頭で確認の上、〈スタート〉を押してください。
・ハンドセットで受けたときは、〈スタート〉を押してください。増設電話で受けたときは、増設電話のダイヤルキーで〈5〉、〈5〉とダイヤルすると受信を始めます。(受信後は受話器を戻してください)

増設電話でファクスを受ける（リモート受信）

増設電話を離れた場所でご利用になる場合、増設電話からの操作でファクスを受信状態にすることができます。

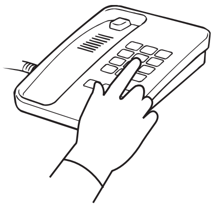
1 **増設電話で電話を受けます。**

・増設電話の呼び出しベルが鳴ったら、増設電話の受話器を上げて通話します。
・相手がファクスの場合は「ポーポー」などの音が聞こえるか、または無音です。



2 **ファクスを受信する場合は、増設電話のダイヤルキーで〈5〉、〈5〉と押します。**

・ファクスが受信状態になります。
・受信状態になると、受話器からは何も聞こえなくなります。



3 **無音になったことを確認し、受話器を戻します。**



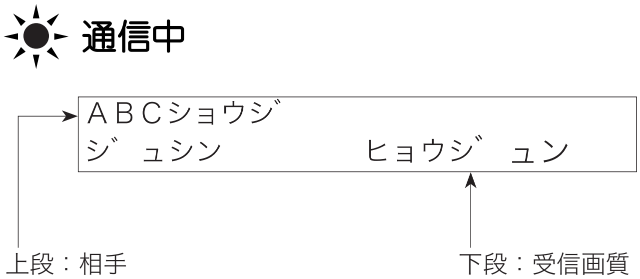
補足

・通話中に増設電話のダイヤルキーで〈5〉、〈5〉を押すと、ファクスに切り替わってしまい、通話できなくなります。
・本機能は増設電話の種類や地域などの諸条件により使用できないことがあります。また、以下の場合にもリモート受信できません。
  ・こちらから電話をかけたとき。
  ・本商品の受信モードが留守 / ファクス待機のとき。
  ・増設電話のダイヤルタイプ設定と本商品のダイヤルタイプ設定が一致していないとき。
  ・本商品のメモリー残量が無いとき。
  ・ハンドセットからリモート受信を操作したとき。

受信中の動作について

受信中の表示

ディスプレイの上段には相手が表示され、下段には画質モードが表示されます。通信が終了するまで通信中ランプが点灯します。



相手は次の優先で表示されます。

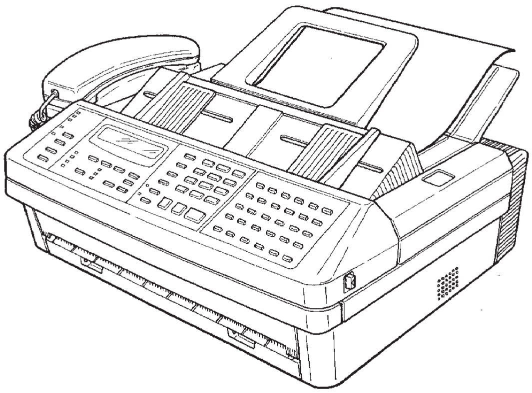
1. 相手の自局名
2. 相手の自局 ID

※相手ファクスに自局名・自局 ID の登録が必要です。

※自局名の表示は、相手機種が限定されます。詳しくは当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

受信中の動作について

受信した原稿からプリントされます。



補 足

・プリント中はトップカバーを開けないでください。記録紙づまりの原因になります。

・受信中にメモリーオーバーしたときは受信が中止されます。相手に連絡し、もう一度送信するよう依頼してください。

・トップカバー上部に収容できる記録紙の枚数は 50 枚です。記録紙はためすぎないようにしてください。ためすぎると排出不良となり、記録紙づまりの原因となります。

代行受信について

代行受信とは、記録紙切れ、記録紙づまりなどでプリントできないときに、受信文書をいったんメモリーに蓄積する機能です。

記録紙切れなどの処置が終わると、蓄積されている文書が自動的にプリントされます。メモリーに代行受信文書が蓄積されているときは、代行受信ランプが点灯し続けます。


代行受信

補 足

・記録紙の交換や記録紙づまりの解除は、電源を ON のまま行ってください。
　※記録紙をセットする（→ 1-14 ページ）
　※記録紙づまりを解除する（→ 6-10 ページ）

・メモリーには最大 100 通信、A4 サイズで 700 文字程度で標準画質（8×3.85 本 mm）の原稿を、MMR 符号化方式により蓄積したときで、最大約 255 枚受信できますが、メモリーの使用量によって異なります。

・代行受信中にメモリーオーバーしたときは、受信が中止されエラーメッセージが表示されます。受信文書は、記録紙切れなどの処置が終わると、蓄積できたところまでがプリントされます。相手に連絡し、もう一度送信するよう依頼してください。

・メモリーに蓄積された画像データは、停電や電源を OFF にしたときでも、次のような条件で保持されます。
　※メモリーに蓄積された画像データは、約 50 時間保持されます。ただし、あらかじめ 24 時間連続して通電されている必要があります。
　メモリーに蓄積された画像データが消えてしまった場合は、電源が復旧した時点で消去通知をプリントし、消えてしまった画像データの情報をお知らせします。（→ 6-26 ページ）

電話のしかた

いろいろな方法で電話をかけられます。

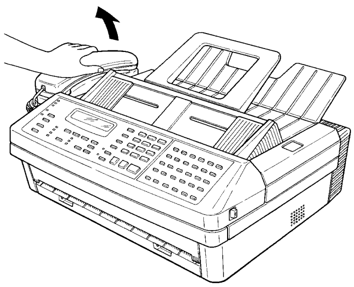
電話をかける

● 本体側の電源が OFF のときも、ハンドセット内側のダイヤルキーから電話をかけることができます。

● リダイヤルは、本体のダイヤルキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳で電話をかけた最後の相手にダイヤルします。ハンドセット内側のダイヤルキーで電話をかけた場合、リダイヤルはできません。

1 **ハンドセットを取り上げます。**

または〈オンフック〉を押します。



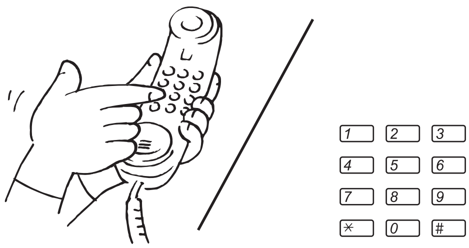
```
＊＊ デ゛ンワ ＊＊
■
```

2 **相手を指定します。**

■ ダイヤルキー / ハンドセットでかける

・ダイヤルします。

・ダイヤルキーで相手の電話番号を入力します。



■ ワンタッチダイヤルでかける

ワンタッチキーを押します。

【例】ワンタッチキー〈01〉に 123-4567 と電話番号が登録されているとき

```
      ＊＊ デ゛ンワ ＊＊
１２３－４５６７■
```

■ 短縮ダイヤルでかける

〈短縮 / 電話帳〉を押します。ダイヤルキーで短縮番号（001 ～ 196）を入力します。

【例】入力した短縮番号に 123-4567 と電話番号が入力されているとき

```
      ＊＊ デ゛ンワ ＊＊
１２３－４５６７■
```

■ 電話帳でかける

〈短縮 / 電話帳〉を 2 回押します。

```
デ゛ンワチョウ             [ア]
アキタシテン           ：Ｓ００９
```

ダイヤルキーで電話したい相手を検索し、表示させます。

相手の検索は 2-11 ページを参照してください。

```
デ゛ンワチョウ             [ア]
アキタシテン           ：Ｓ００１
```

▼

```
デ゛ンワチョウ             [ア]
カイガ゛イキ゛ョウム       ：Ｓ００３
```

相手先名の右側には、表示している相手先名が登録されているワンタッチ番号、または短縮番号が表示されます。

■ 同じ相手にもう一度電話する（リダイヤル）

・〈リダイヤル / ポーズ〉を押します。

・リダイヤルの最大桁数は 40 桁です。ただし、「ポーズ（-/）」「PB 信号送出（-!）」は 2 桁として数えられます。

3 電話帳で相手を指定したときは、〈スタート〉を押します。

電話帳以外で相手を指定したときは、そのまま手順 4 に進みます。

4 回線がつながったら相手と通話します。

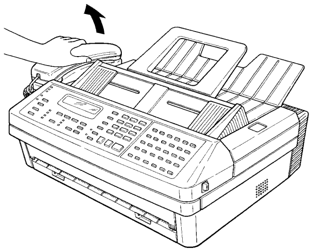
〈オンフック〉を押した場合は、ハンドセットを上げると通話できます。

補 足

ダイヤル回線でご使用の場合でも相手を呼び出した後に〈ダイヤル記号〉を押すことにより、プッシュホンサービス（銀行ＡＮＳＥＲ、クレジット通話サービス、ポケットベルサービス、照会案内サービス、ホームテレホンにおけるテレコントロール、留守番電話における遠隔制御等）を利用することができます。

電話を受ける

1 **呼び出しベルが鳴ったら、ハンドセットを取り上げます。**



2 **回線がつながったら相手と通話します。**

増設電話を接続しているときは、増設電話でも電話を受けることができます。



補 足

相手から「ポーポー」と音が聞こえたり、無音のときは相手はファクスです。〈スタート〉を押すと受信できます。

通話中に保留する

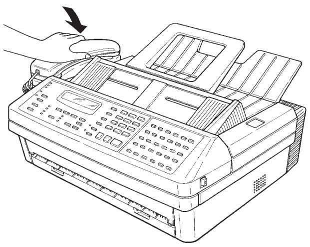
保留中には、相手に保留メロディーが流れます。(本商品からは聞こえません。)

● 保留メロディーは消すこともできます。(→ 5-34 ページ)

1 **通話中に〈保留〉を押します。**

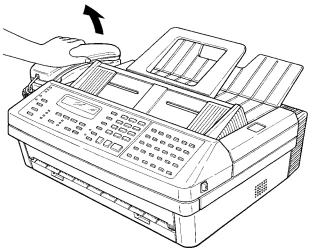
相手に保留メロディーが流れます。

2 **ハンドセットを元に戻します。**



3 **保留を解除するときはハンドセットを取り上げます。**

ハンドセットを元に戻さず側に置いているときは、再度〈保留〉を押すと解除されます。



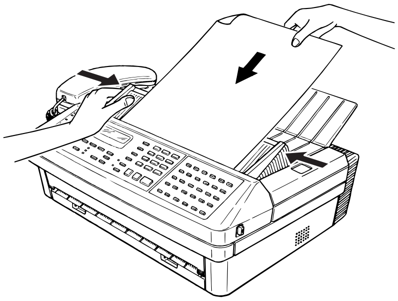
補 足

・〈保留〉は通話中何度も使用することができます。
・停電時は保留することはできません。また、保留中に停電になった場合は保留が解除されます。そのときハンドセットを外していればそのまま通話ができますが、ハンドセットを電話台に戻している場合は通話が切れてしまいます。
・保留中は 1 分ごとに「ピピピピッ」とアラームが鳴ります。
・5 分以上保留した場合は、自動的に保留解除されます。ハンドセットを電話台に戻して保留していた場合は、電話が切れます。
・〈オンフック〉を押して、相手の声をスピーカーで聞いている場合は保留できません。
・ハンドセットを電話台に戻しているとき、保留中に増設電話機の受話器を上げると、保留が解除され保留中の通話が転送されます。増設電話機で保留中に本商品のハンドセットを上げたときは、保留は解除されず通話は転送されません。

コピーのしかた

コピーでは、画質、濃度、コピー部数を設定することができます。

1 **コピーする面を下に向け原稿をセットします。**



ツウシン／コピ゜ー　デ゛キマス	
A４	メモリー１００％

2 **〈コピー〉を押します。**

コピ゜ーブ゛スウ　ヲ　ド゛ウゾ゛	０１
	コピ゜ー／ストップ゜

3 **ダイヤルキーでコピー部数を入力します。**

コピ゜ーブ゛スウ　ヲ　ド゛ウゾ゛	１２
	コピ゜ー／ストップ゜

4 **必要により、画質、濃度を選択します。（→ 2-6 ページ）**

部数を設定しない場合、「標準」を選択しても「高画質」でコピーします。

5 **〈コピー 〉を押して、コピーを開始させます。**

原稿をメモリーに読み取り中は、矢印がスクロールします。

補足

・コピーを中止したいときは、〈ストップ〉を押します。

コピーについて

・次のようなものをコピーすることは法律で禁止されています。
　紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方債証券
　外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
　未使用の郵便切手や官製ハガキ
　政府発行の印紙および酒税法や物品税法で規定されている証券類

・次のようなものをコピーすることは、注意が呼びかけられています。
　民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
　政府発行のパスポート、公共機関や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類

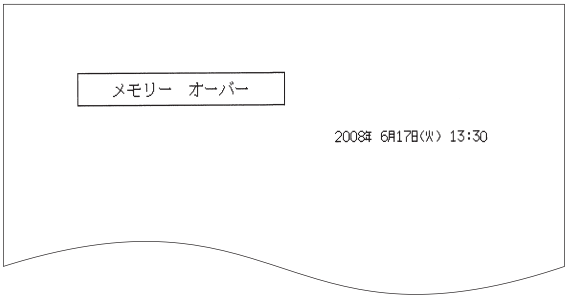
・著作権の対象となっている著作物は、個人的に限られた範囲内で使用するため以外はコピーを禁止されています。

■ コピー中にメモリーオーバーしたとき

・原稿 1 枚目でメモリーオーバーしたときはコピーが中止され、「メモリーオーバー」とエラーメッセージがプリントされます。

メモリー　オーバ゛ー　デ゛ス

（プリント例）



・原稿 2 枚目以降でメモリーオーバーしたときは、蓄積した分をコピーするときは〈コピー〉を押します。

メモリー　オーバ゛ー　デ゛ス
メモリー　ブ゛ンノミ　コピ゜ー／クリア

蓄積した分を消去するとき〈クリア〉を押します。
1 分間放置するとメモリーに蓄積した分をコピーします。

補足

メモリーオーバーが表示されたときに、〈コピー〉または〈クリア〉、〈ストップ〉を押すと以下の表示になります。

ゲ゛ンコウカバ゛ー　ヲ　カイヘイシテ
ゲ゛ンコウセット　ヤリナオシテクダ゛サイ

パネル右横にある原稿カバー開放レバーを押してカバーを開け、残っている原稿を取り除いてください。

第 3 章

応用編

送信

受信

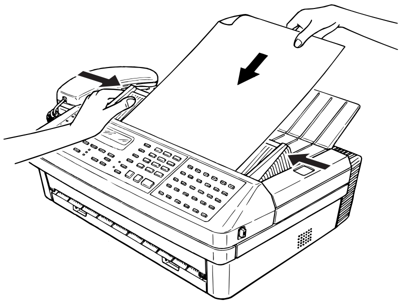
多数の相手に一度に送信する

多数の相手へ一回の操作で送信する機能で、相手ごとに繰り返して原稿を読み取る必要がなく、操作の手間が省けます。

同報送信

- 相手指定時にワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループ、およびダイヤルキー入力を組合わせることにより、最大 240 宛先まで指定することができます。
- ダイヤルキー入力による指定は 20 宛先までです。
- 〈スタート〉を押す前に、送信時刻を指定することができます。（→ 3-7 ページ）

1 送信する面を下に向け原稿をセットします。



2 画質や濃度を設定します。（→ 2-6 ページ）

3 〈同報〉を押します。

```
アイテサキ　バンゴウ　ヲ　ドウゾ
■
```

4 相手のファクス番号を入力します。

```
スタートキー　ヲ　ドウゾ
１２３－４５６－７８９０■
```

・ハイフン、ポーズなどのダイヤル記号を入力できます。（→ 2-17 ページ）
・ダイヤルキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループが使用できます。

5 〈同報〉を押します。

```
スタートキー　ヲ　ドウゾ
１２３－４５６－７８９０，■
```

6 **手順３～４の操作を繰り返して、複数の相手を入力します。**

```
スタートキー　ヲ　ト゛ウソ゛
１２３－４５６７，［０１］，Ｇ１■
```

電話帳から相手を入力することもできます。

7 **〈スタート〉を押します。**

原稿を読み取り、送信を開始します。

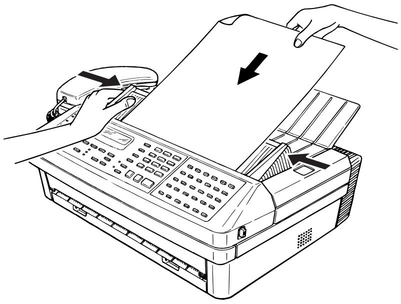
補足

- 送信はメモリー送信になります。
- 番号を間違えて入力したときは、〈クリア〉を押して訂正してください。
- 読み取りを中止するとき、操作を中止するときは〈ストップ〉を押してください。
- 原稿読み取り後は、〈ファクス中止 / 確認〉で消去、確認できます。(→ 2-19 ページ)
- 操作を中断してから１分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。
- 〈同報〉を押した後に相手を選ぶとき、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループを使う場合は、次の相手を選ぶときに〈同報〉を押さなくても次々と相手が入力できます。

グループ送信

- 複数の送り先を 1 つのグループに登録しておくと、原稿セットを 1 回するだけで複数の相手へ送信できます。
- この機能を使うには、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルの登録のときに、あらかじめグループ番号の登録が必要です。(→ 5-9、5-13 ページ)

1 **送信する面を下に向け原稿をセットします。**



2 **画質や濃度を設定します。****(→ 2-6 ページ)**

3 **〈グループ〉を押します。**

グ゛ループ゜ バ゛ンゴ゛ウ ヲ ド゛ウゾ゛
G■

4 **ダイヤルキーで、グループ番号（0 ～ 32）を入力します。**

2 個以上のグループ番号を入力するときは、〈グループ〉を押して区切ってください。
0 を入力した場合、全てのグループ番号（1 ～ 32）に送信します。
【例】グループ番号 1 を入力したとき

スタートキー ヲ ド゛ウゾ゛
G 1■

5 **〈スタート〉を押します。**

原稿を読み取り、送信を開始します。

補 足

- 送信はメモリー送信になります。
- 読み取りを中止するとき、操作を中止するときは、〈ストップ〉を押してください。
- 原稿読み取り後は、〈ファクス中止 / 確認〉で消去、確認できます。(→ 2-19 ページ)
- グループに登録した相手ごとに、送信を止めることができます。(そのグループを送信しているとき)

送信時刻を指定する（時刻指定通信）

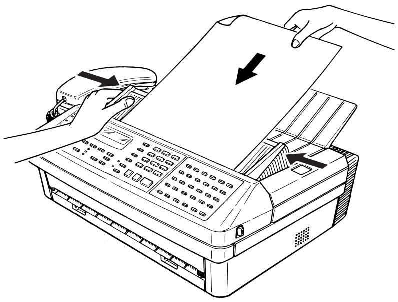
通信の日時を指定する機能で、深夜や早朝などの電話料金割引時間を利用して通信すると経済的です。

●1ヵ月先まで、送信時刻を指定できます。時刻指定した文書はメモリーに蓄積され、指定した時刻になると通信が始まります。

● 時刻指定した文書はメモリーに蓄積され、指定した時刻になると通信が始まります。リアルタイム送信を指定すると、指定した時刻になるまで原稿がセットされたままになり、別の送信をすることができなくなります。

● 他の応用機能（同報送信、中継指示送信、親展送信、ポーリング、F コード送信、F コードポーリング）と組合わせて指定することもできます。

1 送信する面を下に向け原稿をセットします。



2 画質や濃度を設定します。（→ 2-6 ページ）

3 〈応用通信〉を押します。

```
1．ジ゛コクシテイ　ツウシン
　　　　　　　オウヨウツウシン／セット
```

4 〈セット〉を押します。

```
ジ゛コクシテイ　ツウシン
ジ゛コクヲ　ド゛ウゾ゛　17／13：30
```

現在の日時を表示します。

5 ダイヤルキーで、送信日時を入力します。

```
ジ゛コクシテイ　ツウシン
ジ゛コクヲ　ド゛ウゾ゛　18／21：00
```

・1 桁のときは先頭に 0 をつけます。
・時刻は 24 時間制で入力します。
・変更の必要がない場合は、〈◀〉、〈▶〉を押して次の数字にカーソルを移動します。

6 〈セット〉を押します。

7 相手のファクス番号を入力します。

```
スタートキー　ヲ　ト゛ウソ゛
１２３－４５６７■
```

・ハイフン、ポーズなどのダイヤル記号を入力できます。(→ 2-17 ページ)
・ダイヤルキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループが使用できます。
・〈同報〉で区切ることにより最大 240 宛先まで指定できます。(ダイヤルキー入力による指定は 20 宛先までです。)

8 〈スタート〉を押します。

原稿の読み取りが始まります。
・読み取りが完了すると、ディスプレイには「＊＊　ヨヤクチュウ　＊＊」と表示されます。
・指定時刻になると送信を開始します。

補足

・番号を間違えて入力したときは、〈クリア〉を押して訂正してください。
・読み取りを中止するとき、操作を中止するときは、〈ストップ〉を押してください。
・原稿読み取り後は、〈ファクス中止 / 確認〉で消去、確認できます。(→ 2-19 ページ)
・指定した時刻の変更を行う場合は、変更したい時刻指定通信を〈ファクス中止 / 確認〉で消去し(→ 2-20 ページ)、再び時刻指定通信を設定してください。
・操作を中断してから 1 分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

同じ相手にまとめて送信する（一括送信）

頻繁に送信する相手専用に、送信日時を決めた一括送信ボックスをメモリー内に用意しておき、複数の文書をまとめて送信することができます。

一括送信ボックスを登録 / 変更する

1 〈機能〉、ワンタッチキー〈N〉、〈セット〉を押します。

```
N1　ボ゛ックス　セット
　　　　　　キノウ／セット
```

2 〈セット〉を押します。

3 ダイヤルキーで、登録したい一括送信ボックス番号（1 ～ 5）を入力します。

〈◀〉、〈▶〉を押してボックス番号を選択することもできます。

```
ボ゛ックス　ヲ　エランデ゛クダ゛サイ
2：セット　サレテイマセン
```

すでに一括送信ボックスが登録されている場合には、相手のファクス番号が表示されます。

4 〈セット〉を押します。

5 ダイヤルキーで、相手のファクス番号を入力します。（最大 40 桁）

```
2：ダ゛イヤル　バ゛ンゴ゛ウ
123－456－7890█
```

- 同報、グループダイヤルは登録できません。
- ポーズ、ハイフンなどのダイヤル記号も入力できます。（→ 2-17 ページ）
- 間違えて入力したときは、〈クリア〉を押して正しい番号を入力してください。

6 〈セット〉を押します。

7 ダイヤルキーで、送信時刻（日 時 分）を入力します。

【例】21 日　午後 2 時 30 分と入力したとき

```
2：ソウシン　シ゛カン
シ゛コクヲ　ト゛ウソ゛　21／14：30
```

- 1 桁のときは先頭に 0 を付けます。
- 毎日同じ時刻に送りたいときは、「00」を入力します。
- 間違えて入力した場合は〈◀〉、〈▶〉でカーソルを移動させ、上書きしてください。

8 〈セット〉を押します。

9 相手を入力します。

・24 文字まで登録できます。
・文字入力については「文字入力のしかた（→ 5-3 ページ）」を参照してください。漢字・全角文字は登録できません。

```
2 ：アイテサキメイ        ：カタカナ
ナコ゛ ヤシテン■
```

10 〈セット〉を押します。

次のボックス番号の登録に移ります。

11 続けて一括送信ボックスを登録するときは、手順 3 から操作を繰り返します。

終了するときは、〈ストップ〉を押します。

補 足

・すでに登録されている一括送信ボックスの内容を変更する場合は、一括送信ボックスの登録手順の中で、変更したい登録内容を〈クリア〉で消去してから新しく入力します。
・操作を中止するときは、〈ストップ〉を押します。
・操作を中断してから 1 分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

一括送信ボックスを消去する

1 **〈機能〉、ワンタッチキー〈N〉、ダイヤルキー〈5〉を押します。**

```
N５　ホ゛ックス　クリア
　　　　　　キノウ／セット
```

2 **〈セット〉を押します。**

3 **ダイヤルキーで、消去したいボックス番号（1 ～ 5）を入力します。**

〈◀〉、〈▶〉を押してボックス番号を選択することもできます。

```
ホ゛ックス　ヲ　エランデ゛クダ゛サイ
３：９８７－６５４－３２１０
```

4 **〈セット〉を押します。**

```
イッカツ　ソウシン　ホ゛ックス　クリア
カクニン　　　　　　キノウ／セット
```

一括送信ボックスに原稿が蓄積されているときは消去できません。

5 **消去してよければ、もう一度〈セット〉を押します。**

消去を中止するときは、〈機能〉を押します。

6 **続けて消去を行うときは、手順 3 から操作を繰り返します。**

終了するときは、〈ストップ〉を押します。

一括送信ボックスリストをプリントする

1 **〈機能〉、ワンタッチキー〈N〉、ダイヤルキー〈2〉を押します。**

```
Ｎ２　ボ゛ックス　リスト
　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 **〈セット〉を押します。**

一括送信ボックスリストがプリントされます。

ABC商事(株)　　　Fax:123-456-7890

＊＊　一括送信BOXリスト　＊＊

2008年 6月17日(火) 13:30

No.	相手先名	ﾀﾞｲﾔﾙ番号	指定日時
1	ﾄｳｷｮｳ ｼﾃﾝ	1234-5678	0，9:00
2	ｵｵｻｶ ｼﾃﾝ	06-6123-4567	1,17:00
3	ﾅｺﾞﾔ ｼﾃﾝ	052-123-4567	22,22:00

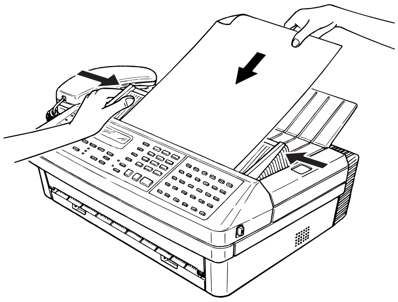
補 足

・操作を中止するときは、〈ストップ〉を押します。
・操作を中断してから 1 分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

一括送信の指定をする

- あらかじめ、一括送信ボックスの設定が必要です。（→ 3-9 ページ）
- 毎日一定の時刻に送信することや、1 カ月に 1 回日時を決めて送信することができます。
- 一括送信ボックスは 5 個あり、それぞれ 40 件の原稿をメモリーすることができます。
- 操作の途中に指定した一括送信ボックスに対して、各原稿のファイル番号が表示されます。原稿はこのファイル番号で管理され、確認や消去のときに使用しますので、メモをとることをおすすめします。

1 送信する面を下に向け原稿をセットします。



2 〈応用通信〉を 5 回押します。

```
5．イッカツ　ソウシン
　　　　　　オウヨウツウシン／セット
```

3 〈セット〉を押します。

```
イッカツ　ソウシン
ボ゛ックス　バ゛ンゴ゛ウ：　　　　■
```

4 ダイヤルキーで、一括送信ボックス番号（1 ～ 5）を入力します。

【例】ボックス番号 2 を入力したとき

```
イッカツ　ソウシン
ボ゛ックス　バ゛ンゴ゛ウ：　　　2■
```

番号を間違えて入力したときは〈クリア〉を押して正しい番号を入力してください。

5 〈セット〉を押します。

```
スタートキー　ヲ　ド゛ウゾ゛
ボ゛ックス：　２　　ファイル：　　００
```

6 ファイル番号を確認し、〈スタート〉を押します。原稿の読み取りが始まります。

```
ボ゛ックス：　２　　ファイル：　　００
Ａ４　→→→→→→→→→メモリー　７５％
```

・ファイル番号は、一括送信原稿の確認や消去に必要ですので控えておいてください。
・原稿をメモリーに読み取り中は、矢印がスクロールします。

補 足

・番号を間違えて入力したときは〈クリア〉を押して訂正してください。
・読み取りを中止するとき、操作を中止するときは〈ストップ〉を押してください。
・原稿読み取り後は、〈ファクス中止 / 確認〉で消去、確認できます。(→ 2-19 ページ)
・操作を中断してから 1 分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

一括送信原稿をプリントする

1 〈機能〉、ワンタッチキー〈N〉、ダイヤルキー〈4〉を押します。

```
N4　ゲ゛ンコウ　フ゜リント
　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 〈セット〉を押します。

3 ダイヤルキーで、一括送信ボックス番号（1～5）を入力します。

【例】ボックス番号2を入力したとき

```
イッカツソウシン　ゲ゛ンコウ　フ゜リント
ホ゛ックス　ハ゛ンコ゛ウ：　　　　2■
```

4 〈セット〉を押します。

5 ダイヤルキーで、ファイル番号（0～39）を入力します。

【例】ファイル番号2を入力したとき

```
イッカツソウシン　ゲ゛ンコウ　フ゜リント
ファイル　ハ゛ンコ゛ウ：　　　　2■
```

・ファイル番号がわからないときは、一括送信原稿リストをプリントして確認します。
・ファイル番号を間違えて入力したときは〈クリア〉を押して正しい番号を入力してください。

6 〈セット〉を押します。

・一括送信原稿がプリントされ、待機画面に戻ります。
・指定されたボックスのファイル番号に原稿がない場合は、「ゲンコウ　ガ　アリマセン」と表示し、待機画面に戻ります。

一括送信原稿リストをプリントする

1 〈機能〉、ワンタッチキー〈N〉、ダイヤルキー〈3〉を押します。

```
Ｎ３　ゲ゛ンコウ　リスト
　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 〈セット〉を押します。

一括送信原稿リストがプリントされ、待機画面に戻ります。

ABC商事㈱　　Fax:123-456-7890

＊＊　一括送信原稿リスト　＊＊

2008年 6月17日(火) 13:30

No.	相手先名	受付番号
1	ﾄｳｷｮｳ ｼﾃﾝ	0，1，2
2	ｵｵｻｶ ｼﾃﾝ	0，1
3	ﾅｺﾞﾔ ｼﾃﾝ	0

一括送信原稿を消去する

1 **〈機能〉、ワンタッチキー〈N〉、ダイヤルキー〈6〉を押します。**

```
N6 ゲ゛ンコウ クリア
            キノウ/セット
```

2 **〈セット〉を押します。**

3 **ダイヤルキーで、ボックス番号（1～5）を入力します。**

【例】1を入力したとき

```
イッカツ ソウシン ゲ゛ンコウ クリア
ボ゛ックス バ゛ンゴ゛ウ：       1■
```

4 **〈セット〉を押します。**

5 **ダイヤルキーで、ファイル番号（0～39）を入力します。**

【例】0を入力したとき

```
イッカツ ソウシン ゲ゛ンコウ クリア
ファイル バ゛ンゴ゛ウ：        0■
```

・ファイル番号がわからないときは、一括送信原稿リストをプリントして確認します。プリント方法は前項を参照してください。
・ファイル番号を間違えて入力したときは〈クリア〉を押して正しい番号を入力してください。

6 **〈セット〉を押します。**

```
イッカツ ソウシン ゲ゛ンコウ クリア
カクニン         キノウ/セット
```

指定されたボックスのファイル番号に原稿がない場合は、「ゲンコウ　ガ　アリマセン」と表示し、待機画面に戻ります。

7 **消去してもよければ、〈セット〉を押します。**

消去を中止するときは〈機能〉を押します。

補足

操作を中止するときは、〈ストップ〉を押します。

中継機を使って送信する（中継指示送信）

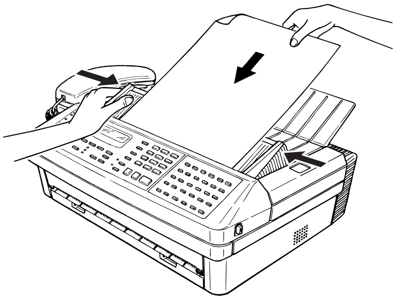
原稿をいったん中継機に送信し、中継機から同報送信させる機能です。通信の作業量や電話料金を分担でき、遠距離の複数の相手へ同報送信する場合などに便利です。

中継指示送信には 2 種類の方法があります。（ここでは中継指示送信について説明しています。）

・中継指示送信…………… 当社の中継機能を持つファクシミリ専用の機能です。
・F コード中継指示通信… 他社を含む F コード通信に対応したファクシミリで使用できる機能です。（→ 3-46 ページ）

● 中継機は当社の中継機能を持った機種に限定されます。本商品を中継機として使用することもできます。
● 〈スタート〉を押す前に、送信時刻を指定することができます。（→ 3-7 ページ）
● 中継指示送信は中継機にセットされているグループ番号で送信先を指定します。あらかじめ中継機にセットされているグループ番号のリストを入手してください。
● 中継機でも中継指示された原稿をプリントします。

1 **送信する面を下に向け原稿をセットします。**



必要に応じて、画質や濃度を設定します。（→ 2-6 ページ）

2 **〈応用通信〉を 3 回押します。**

3．チュウケイシジ゛　ソウシン オウヨウツウシン／セット

3 **〈セット〉を押します。**

チュウケイシジ゛　ソウシン グ゛ループ゜　バ゛ンゴ゛ウ：■

4 **ダイヤルキーで、中継先のグループ番号を入力します。**

・複数のグループ番号を入力するときは、〈グループ〉を押します。
・10 グループまで指定することができます。
・グループ番号 0 を入力すると、全てのグループを指定することになります。

チュウケイシジ゛　ソウシン グ゛ループ゜　バ゛ンゴ゛ウ：　1，2，■

5 全てのグループ番号を入力後、〈セット〉を押します。

6 中継機のファクス番号を入力します。

```
スタートキー　ヲ　ト゛ウソ゛
１２３－４５６７■
```

・ハイフン、ポーズなどのダイヤル記号を入力できます。(→ 2-17 ページ)
・ダイヤルキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループが使用できます。
・〈同報〉で区切ることにより最大 240 宛先まで指定できます。(ダイヤルキー入力による指定は 20 宛先までです。)
・〈応用通信〉を押して「ジコクシテイ ツウシン」を登録することで、送信時刻を指定することができます。(→ 3-7 ページ)

7 〈スタート〉を押します。

原稿の読み取りが始まります。

補 足

・操作を中止するとき、読み取りを中止するときは〈ストップ〉を押してください。
・番号を間違えて入力したときは〈クリア〉を押して訂正してください。
・原稿読み取り後は、〈ファクス中止 / 確認〉で消去、確認できます。(→ 2-19 ページ)
・操作を中断してから 1 分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

原稿といっしょに送信案内証を送信する（メッセージ送信）

送信原稿といっしょに、簡単な文書（メッセージ）の入った送信案内証を自動的につけて送信することができます。

送信案内証を登録する

1 〈機能〉、ワンタッチキー〈K〉、ダイヤルキー〈2〉を押します。

```
K２　メッセーシ゛　セット
　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 〈セット〉を押します。

3 メッセージを入力します。

```
メッセーシ゛　　　　　：カンシ゛コート゛
（４Ｂ６８）（４５５９）■
```

・半角文字は 40 文字まで、全角文字は 20 文字まで登録できます。
・文字入力については「文字入力のしかた（→5-3 ページ）」を参照してください。

4 〈セット〉を押します。

メッセージが登録されます。

補足

操作を中止するときは、〈ストップ〉を押します。

送信案内証を変更 / 消去する

1 「送信案内証を登録する」の手順 1 ～ 2 を行います。

2 〈クリア〉で表示されているメッセージを消去します。

```
メッセーシ゛　　　　　：カタカナ
■
```

3 新しいメッセージを入力するときは、「送信案内証を登録する」の手順 3 に従って入力してください。

4 操作が完了したら〈セット〉を押します。

メッセージが変更 / 消去されます。

送信案内証をプリントする

セットしたメッセージをプリントします。

1 〈機能〉、ワンタッチキー〈K〉、ダイヤルキー〈3〉を押します。

```
K３　メッセージ　　リスト
　　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 〈セット〉を押します。

送信案内証がプリントされます。

＊＊　送信案内証　＊＊

2008年 6月17日(火) 13:30

発信元名　　ABC商事(株)
ファクス番号　123-456-7890

[いつもお世話になっております。　　　　]

補 足

操作を中止するときは、〈ストップ〉を押します。

送信案内証をつけて送信する（メッセージ送信）　初期設定：OFF

送信案内証をつけて送信するかしないかの設定をします。

・ON …… 送信案内証が送信原稿の 1 枚目につけられます。
・OFF　… 送信案内証はつけられません。

1 〈機能〉、ワンタッチキー〈K〉、〈セット〉を押します。

```
K 1　メッセージ゛　ソウシン
　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 〈セット〉を押します。

3 〈機能〉で ON または OFF を選択します。

```
メッセージ゛　：　　　　　　ON
　　　　　　　　キノウ／セット
```

▼

```
メッセージ゛　：　　　　　OFF
　　　　　　　　キノウ／セット
```

4 〈セット〉を押します。

メッセージ送信が設定されます。

通信モードを選択して送信する

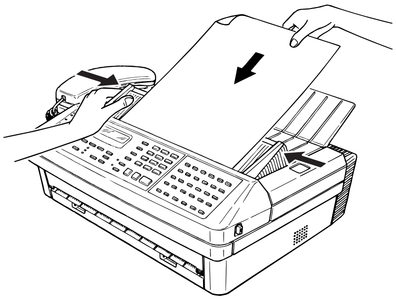
通信モードを選択して、送信します。通信モード選択機能はボタンを押すことにより、特定通信 (特定の設定項目) 選択し送信する事が可能になる機能です。

- 設定には工事保守者による設定が必要です。詳しくは当社のサービス取扱所にお問い合わせください。
- 機器設定で「特定通信モード」を ON に設定しておくこともできます。(→ 5-34 ページ)

1 〈通信モード選択機能〉を押します。

```
トクテイ　ファクス　タイキ
２００８年　６月１７日（火）　１３：３０
```

2 送信する面を下に向け原稿をセットします。



3 画質や濃度を設定します。(→ 2-6 ページ)

4 相手のファクス番号を入力します。

```
スタートキー　ヲ　ド゛ウゾ゛
１２３－４５６７■
```

・ハイフン、ポーズなどのダイヤル記号を入力できます。(→ 2-17 ページ)
・ダイヤルキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループが使用できます。
・〈同報〉で区切ることにより最大 240 宛先まで指定できます。(ダイヤルキー入力による指定は 20 宛先までです。)

5 〈スタート〉を押します。

原稿の読み取りが始まります。

補 足

・番号を間違えて入力したときは、〈クリア〉を押して訂正してください。
・読み取りを中止するとき、操作を中止するときは、〈ストップ〉を押してください。
・原稿読み取り後は、〈ファクス中止 / 確認〉で消去、確認できます。(→ 2-19 ページ)
・操作を中断してから 1 分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

1回線で複数の番号をつける(ダイヤルイン)

ダイヤルイン契約した電話番号（3番号分まで）をファクス番号、ハンドセット用番号、増設電話用番号として登録し、その登録に基づいてダイヤルイン着信したときの4桁の番号で、ファクス受信および電話を区別することができます。

- あらかじめ当社へお申し込みください。
- ダイヤルインサービスとナンバー・ディスプレイサービスの両方をご使用になる場合は、**モデムダイヤルインサービス**の契約を行ってください。
- ダイヤルイン利用時は、増設電話でナンバー・ディスプレイを利用することはできません。増設電話に、ナンバー・ディスプレイ対応電話機を接続した場合は、接続した電話機のナンバー・ディスプレイの設定を「OFF」にしてください。
- 電話とファクスは同時に使用できません。

ダイヤルインを登録する

1 **〈機能〉、ワンタッチキー〈J〉、ダイヤルキー〈1〉、〈1〉を押します。**

```
J11　ダ゛イヤルイン　セット
　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 **〈セット〉を押します。**

3 **ダイヤルキーで、ファクス用の番号を入力します。**

【例】1234と入力したとき

```
ダ゛イヤルイン　セット
ファクス：　　　　　　　1234
```

4 **〈セット〉を押します。**

5 **ダイヤルキーで、ハンドセット用の番号を入力します。**

【例】1235と入力したとき

```
ダ゛イヤルイン　セット
PHONE1：　　　　　　　1235
```

PHONE1端子につながれたハンドセット用の番号を入力します。

6 **〈セット〉を押します。**

7 ダイヤルキーで、増設電話用の番号を入力します。

【例】1236 と入力したとき

```
ダ゛イヤルイン セット
PHONE2：              1236
```

・PHONE2 端子につながれた増設電話用の番号を入力します。
・2 回線分の契約の場合は、ハンドセット用（PHONE1）の番号と同じ番号を入力します。

8 〈セット〉を押します。

9 ダイヤルキーで、呼び出しベル時間を入力します。

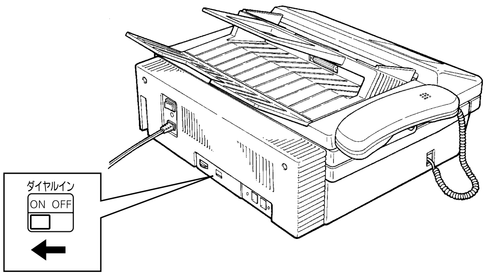
【例】60 秒と入力したとき

```
ヘ゛ルシ゛カン セット
（10−60）               60
```

10 〈セット〉を押します。

ダイヤルインがセットされます。

11 本体のダイヤルインスイッチを ON にします。



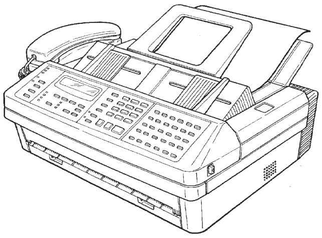
補 足

・入力した数字の変更は、〈◀〉、〈▶〉でカーソルを移動し、入力し直します。
・操作を中止するときは、〈ストップ〉を押します。

ダイヤルインサービスのときの動き

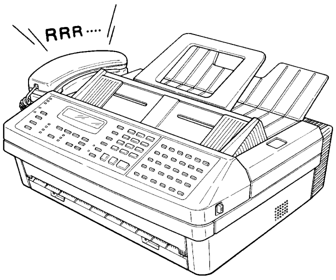
■ ファクス用番号にかかってきた場合

1 呼び出しベルを鳴らさず、受信を開始します。



■ ハンドセット用番号 / 増設電話用番号にかかってきた場合

1 呼び出しベルが 30（10 ～ 60）秒鳴ります。



・ハンドセットと増設電話に同じ番号を登録しているときは、同時に呼び出しベルが鳴ります。
・モデムダイヤルインサービスをご使用の場合は、相手が電話を切るまで呼び出しベルが鳴り続きます。

2 ハンドセットまたは、増設電話の受話器を取って通話します。

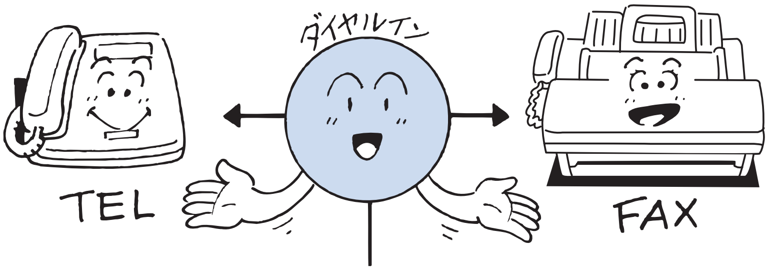


補 足

かかってきた電話の呼び出しベルは最大 60 秒間（約 20 回程度）で鳴り終わりますのでご注意ください鳴り終わっていても、必ず一度ハンドセットを上げて切れていることを確認してください。

ダイヤルインについて

本商品はダイヤルインを利用し、1 本の回線でファクスと電話を自動的に切り替えて使用することができます。あらかじめファクス用、電話用の内線電話番号を設定しておけば、ファクス用電話番号にかかってきたときは、呼び出しベルを鳴らさずにファクス受信し、電話用電話番号にかかってきたときは、呼び出しベルを鳴らして呼び出します。



お願い

- ダイヤルインのご利用については、利用契約が必要ですので当社のサービス取扱所へお問い合わせください。
- ダイヤルインとナンバー・ディスプレイの両方をご使用になる場合は、モデムダイヤルインの契約を行ってください。
- ダイヤルインのご契約の際、送出番号は必ず 4 桁にしてください。
- 停電時は、ハンドセットを使って電話をかけることはできますが、ファクスの送信・受信をすることはできません。ファクス用番号にかかってきた場合でも、電話用番号にかかってきた場合と同じ動作になります。（下記参照）
- 停電時に電話を受けるには、以下のような特別な操作を行う必要があります。

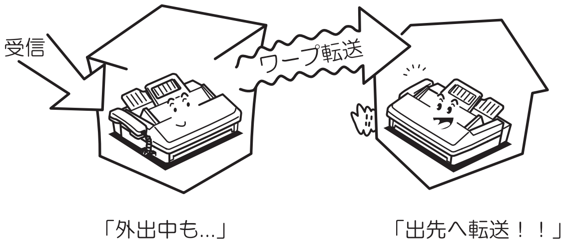
【PB ダイヤルインをご契約の場合】
①呼び出しベルが 2 回鳴るまでにハンドセットを上げる。
② PB 信号「ピッポッパッ」という発信音を聞く。
③発信音の後、2 秒以内にハンドセットを元に戻す。
④もう一度、ハンドセットを上げると通話できる。
【モデムダイヤルインをご契約の場合】
①短い間隔の呼び出しベルが鳴り終わるまで待つ。約 6 秒（ベル音約 7 回）
②呼び出しベルの間隔が長くなったときにハンドセットを上げると通話できる。
※①の呼び出しベルでハンドセットを上げた場合、「ピーガー」という発信音を聞いたらハンドセットを元に戻してください。その後、再び呼び出しベルが鳴りますので、ハンドセットを上げると通話できます。

補 足

- ダイヤルインを設定すると受信モードは、「ダイヤルイン待機」に固定されます。「ダイヤルイン待機」では、あらかじめ設定された受信モードにかかわらず、ファクス用番号にかかってきたら呼び出しベルを鳴らさずにファクスが自動受信し、電話用番号にかかってきたら呼び出しベルが鳴ります。
- PB ダイヤルインの場合電話呼び出しの呼び出しベルは、相手が待っているかどうかに関係なく、約 30 秒間（初期設定）で鳴り終わります。そのため、呼び出しベルが鳴り終わってからハンドセットを上げても、まだ相手が待っていれば、電話がつながることがありますので電話の呼び出しベルが鳴ったときは、鳴り終っても一度ハンドセットを上げて電話が切れていることを確認してください。また、相手が電話を切った場合でも、電話の呼び出しベルが鳴る場合があります。そのため、呼び出しベルが鳴っている間にハンドセットを上げても、電話が切れていることがありますが故障ではありません。また、呼び出しベルが鳴る時間を変えることができます。（→ 3-25 ページ）

受信原稿を転送する（FAX ワープ）

設定時間内に受信した原稿を、指定された宛先に転送します。勤務時間外にオフィスに届いたファクスを自宅で確認したいときなどに、たいへん便利です。転送条件は５件まで登録できます。



次の受信原稿のときは、転送しません。

・中継指示を受けた原稿
・親展受信原稿
・F コード親展受信原稿
・F コード掲示板に蓄積された原稿
・F コード中継指示を受けた原稿

転送条件を登録 / 変更する

転送条件の登録には次の内容が登録できます。

・転送番号………受信原稿の転送先です。
・指定時刻………設定した時刻の範囲で転送を行います。開始時刻・終了時刻を指定しないときは、時刻にかかわらず転送します。
・同時プリント…同時プリントを「ON」にすると、転送元でも転送先と同時に受信原稿をプリントします。

登録されている内容を変更する場合は手順３にて変更したい番号を選択し、登録手順の中で変更したい登録内容を〈クリア〉で消去してから、新しく入力してください。

1 **〈機能〉、ワンタッチキー〈Q〉、〈セット〉を押します。**

```
Q１　ＦＡＸワープ゜　セット
　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 **〈セット〉を押します。**

3 〈機能〉で転送条件を登録する番号を選択し、〈セット〉を押します。

・はじめて登録するときは、手順４に進みます。
・すでに登録されている転送条件を修正するときは、修正したい転送条件を選択します。
・すでに転送条件が登録されている場合は「バンゴウ　ヲ　エランデクダサイ」と表示されますので、修正したい転送条件を選んでください。

```
３：テンソウ　バ゛ンゴ゛ウ
■
```

4 ダイヤルキーで転送番号を入力します。

```
３：テンソウ　バ゛ンゴ゛ウ
６５４－３２１０，［０１］，Ｓ００１■
```

・ダイヤルキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループを使用できます。
・転送番号は 221 ケ所まで登録できます。〈同報〉を押して相手を区切ります。
・ダイヤルキーによる入力は 1 ケ所のみです。

5 〈セット〉を押します。

6 ダイヤルキーで転送する時刻を指定します。

（時刻を指定しないときは〈セット〉を押して手順８へ進みます）
【例】金曜日 16:45 〜月曜日 7：00 まで転送するとき

```
３：シテイ　ジ゛コク
（金）　１６：４５－－（月）　０７：００
```

転送開始　　転送終了

転送時刻の入力のしかたは次のページを参照してください。

7 〈セット〉を押します。

転送時刻の入力のしかた

・「＊」は指定されていないという表示です。
・曜日はダイヤルキーで入力します。

ダイヤルキー〈0〉…（日）　ダイヤルキー〈4〉…（木）
ダイヤルキー〈1〉…（月）　ダイヤルキー〈5〉…（金）
ダイヤルキー〈2〉…（火）　ダイヤルキー〈6〉…（土）
ダイヤルキー〈3〉…（水）

・ダイヤルキー〈⁎〉を押すと 1 文字を消去（＊に戻す）します。
※〈クリア〉を押すと、指定時刻を消去します。
※入力を間違えた場合は、〈◀〉、〈▶〉を押してカーソルを移動し入力し直してください。
・曜日または時刻を指定しないこともできます。

【例】曜日を指定しないとき
毎日 16:45 ～次の日の 7:00 まで転送

```
3：シテイ　ジ゛コク
(＊)　16：45－－（＊）　07：00
```

【例】時刻を指定しないとき
土曜日の 0:00 ～日曜日の 23:59 まで転送

```
3：シテイ　ジ゛コク
(土)　＊＊：＊＊－－（日）　＊＊：＊＊
```

※片方が曜日、もう片方が時刻という指定はできません。

8　〈機能〉で、同時プリントの ON または OFF を選択します。
・ON…本商品でも転送先でも受信原稿をプリントします。
・OFF…本商品では転送した原稿をプリントしません。

```
3：　ト゛ウシ゛　フ゜リント：　OFF
　　　　　　　　　キノウ／セット
```

9　〈セット〉を押します。

10　続けて転送の登録をするときは、手順 3 から操作を繰り返します。
登録を終了するときは、〈ストップ〉を押します。

転送条件を消去する

1 〈機能〉、ワンタッチキー〈Q〉、〈セット〉を押します。

```
Q１　ＦＡＸワープ゜　セット
　　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 〈セット〉を押します。

3 〈機能〉を押して、消去したい転送条件を選択します。

```
３：テンソウ　バ゛ンゴ゛ウ
６５４－３２１０，［０１］，Ｓ００１■
```

4 〈クリア〉を押します。

5 続けて消去するときは、手順３から操作を繰り返します。
登録を終了するときは、〈ストップ〉を押します。

FAX ワープリストをプリントする

1 〈機能〉、ワンタッチキー〈Q〉、ダイヤルキー〈2〉を押します。

```
Ｑ２　ＦＡＸワープ゜　リスト
　　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 〈セット〉を押します。

プリント例

ABC商事(株)　　　Fax:123-456-7890

＊＊ FAXワープ リスト ＊＊

P.1　　　2008年 6月17日(火) 13:30

No.	ダイヤル番号	指定時刻	同時プリント
1	[01]	(金)21:00 ～ (月)06:00	ON
2	G1	(-)22:00 ～ (-)07:00	OFF
3	S001	(-)22:00 ～ (-)07:30	ON

No.
転送先の番号です。

ダイヤル番号
転送先として登録したダイヤル番号です。

指定時刻
転送を開始する日時と転送を終了する日時です。

同時プリント
ON… 本商品でも転送先でも受信原稿をプリントします。
OFF…本商品では転送した原稿をプリントしません。

FAX ワープを設定する

FAX ワープを設定する前に、転送条件の登録を行ってください。

1 **〈機能〉、ワンタッチキー〈Q〉、ダイヤルキー〈3〉を押します。**

```
Ｑ３　ＦＡＸワーフ゜　セッテイ
　　　　　　　キノウ／セット
```

2 **〈セット〉を押します。**

3 **〈機能〉で ON または OFF を選択します。**

```
ＦＡＸワーフ゜：　　　　ＯＦＦ
　　　　　　　キノウ／セット
```

4 **〈セット〉を押します。**

FAX ワープが設定されます。

補 足

- 操作を中止するときは、〈ストップ〉を押します。
- 操作を中断してから 1 分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

ポーリング通信をする

- 相手に蓄積されているポーリング原稿を、こちら側から指示して送信させる機能です。電話料金はこちら側（受信側）の負担になります。
- パスコードを登録すると、相手機とパスコードが一致する場合のみポーリング送信できるようになります。（→ 4-4 ページ）
- 一度の操作で最大 240 宛先の相手からポーリングする指示もできます。

相手の原稿を取り出す（ポーリング）

- 〈スタート〉を押す前に送信時刻を指定することができます。（→ 3-7 ページ）
- 検索ポーリングは、相手が当社の検索ポーリング機能を持った機種に限定されます。
- パスコードを相互に決めて、一致する場合のみポーリング送信できるように設定できます。パスコードの設定は（→ 4-4 ページ）を参照してください。（パスコードを使ったポーリング、検索ポーリングは、相手機種が限定されます。詳しくは当社のサービス取扱所にお問い合わせ下さい。）

1 **〈応用通信〉を 4 回押します。**

```
4. ホ゜ーリンク゛
         オウヨウツウシン／セット
```

2 **〈セット〉を押します。**

3 **検索ポーリングのときは、ダイヤルキーでファイル番号（0 〜 9999）を入力します。**

通常ポーリングのときはファイル番号を入力せずに、手順 4 に進みます。

```
ホ゜ーリンク゛
ファイル　ハ゛ンコ゛ウ：■
```

続けてファイル番号を入力するときは、〈応用通信〉を押してファイル番号を入力します。

```
ホ゜ーリンク゛
ファイル　ハ゛ンコ゛ウ：0，■
```

4 **〈セット〉を押します。**

5 **相手のファクス番号を入力します。**

```
スタートキー　ヲ　ト゛ウソ゛
123−4567■
```

・ハイフン、ポーズなどのダイヤル記号を入力できます。（→ 2-17 ページ）
・ダイヤルキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループが使用できます。
・〈応用通信〉を押して「ジコクシテイ ツウシン」を登録することで、送信時刻を指定することができます。（→ 3-7 ページ）

・複数の相手を入力するには、〈同報〉を押して相手を区切ります。

```
スタートキー ヲ ド゛ウゾ゛
123−4567, [01], G1■
```

・最大 240 宛先まで指定できます。(ダイヤルキー入力による指定は 20 宛先までです。)

6 **〈スタート〉を押します。**

ポーリングが開始されます。

補足

・検索ポーリングにて相手の原稿を取り出すと、受信原稿の先頭に「D01」のように取り出したファイル番号がプリントされます。
・ポーリングは送信文書として扱われます。〈ストップ〉を押した後は、〈ファクス中止 / 確認〉で消去、確認できます。(→ 2-19 ページ)
・操作を中止するときは、〈ストップ〉を押します。
・番号を間違えて入力したときは、〈クリア〉を押して訂正してください。

ポーリング原稿を蓄積する

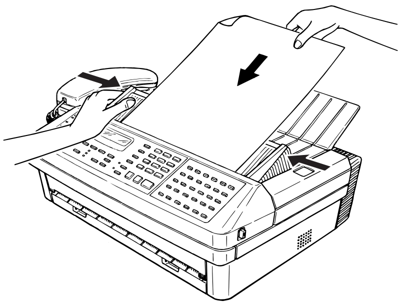
原稿をあらかじめメモリーに蓄積しておくと、相手からの操作で自動的に送信できます。料金は相手の負担となります。

● ポーリングは 2 種類あります。ファイル番号を入力したときは検索ポーリングに、入力しないときは通常ポーリングになります。
・検索ポーリング(何件もメモリーするとき) :送信してもメモリーに蓄積した原稿が残るので、何回も送信できます。
・通常ポーリング(1 件だけメモリーするとき):送信するとメモリーに蓄積された原稿は自動的に消去されます。

● 検索ポーリングは、相手が当社の検索ポーリング機能を持った機種に限定されます。

● パスコードを相互に決めて、一致する場合のみポーリング送信できるように設定できます。(当社機種間のポーリングに限定されます。パスコードの設定は(→ 4-4 ページ)を参照してください。)

1 **送信する面を下に向け原稿をセットします。**



2 **画質や濃度を設定します。(→ 2-6 ページ)**

3 〈機能〉、ワンタッチキー〈D〉、〈セット〉を押します。

```
D1  ホ゜ーリンク゛ケ゛ンコウ  チクセキ
                キノウ/セット
```

4 〈セット〉を押します。

5 検索ポーリングのときは、ダイヤルキーでファイル番号（00 ～ 99）を入力します。
通常ポーリングのときはファイル番号を入力せずに、手順 6 に進みます。

```
ホ゜ーリンク゛  ケ゛ンコウ  チクセキ
ファイル  ハ゛ンコ゛ウ:      00■
```

ファイル番号を間違えて入力したときは、〈クリア〉を押して正しい番号を入力してください。

6 〈セット〉を押します。

ポーリング原稿が蓄積され、待機画面に戻ります。

補 足

操作を中止するとき、読み取りを中止するときは、〈ストップ〉を押します。

ポーリング原稿をプリントする

1 〈機能〉、ワンタッチキー〈D〉、ダイヤルキー〈3〉を押します。

```
D3  ホ゜ーリンク゛ケ゛ンコウフ゜リント
                キノウ/セット
```

2 〈セット〉を押します。

3 検索ポーリングの原稿プリントのときは、ダイヤルキーでファイル番号（00 ～ 99）を入力します。
通常ポーリングのときはファイル番号を入力せずに、手順 4 に進みます。

```
ホ゜ーリンク゛  ケ゛ンコウ  フ゜リント
ファイル  ハ゛ンコ゛ウ:      00■
```

ファイル番号を間違えて入力したときは、〈クリア〉を押して正しい番号を入力してください。

4 〈セット〉を押します。

プリントを開始します。

ポーリング原稿を消去する

1 〈機能〉、ワンタッチキー〈D〉、ダイヤルキー〈2〉を押します。

```
D2　ホ゜ーリンク゛ケ゛ンコウ　クリア
　　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 〈セット〉を押します。

3 検索ポーリングの原稿消去のときは、ダイヤルキーで、ファイル番号（00～99）を入力します。
通常ポーリングのときはファイル番号を入力せずに、手順4に進みます。

```
ホ゜ーリンク゛　ケ゛ンコウ　クリア
ファイル　ハ゛ンコ゛ウ：　　　00■
```

・ファイル番号を間違えて入力したときは、〈クリア〉を押して正しい番号を入力してください。
・消去を中止するときは〈クリア〉を押します。

4 〈セット〉を押します。

・ポーリング原稿が消去され、待機画面に戻ります。
・消去を中止するときは、〈ストップ〉を押します。

補足

操作を中止するとき、読み取りを中止するときは、〈ストップ〉を押します。

F コード通信をする

F コード通信とは

ITU-T（国際電気通信連合）の規格にしたがったサブアドレスやパスワードを利用して、通信する機能です。サブアドレスやパスワードが登録された F コードボックスを作成することで、メーカーや機種の枠を超えて親展通信、掲示板通信、中継指示通信を利用できます。

・F コードボックスは 50 ボックス登録できます。（「F コードボックスを登録 / 変更する」（→ 3-39 ページ））
・1 つのボックスには 30 件まで原稿を蓄積できます。

サブアドレスとパスワード

● サブアドレスは、メモリー内に設定された F コードボックスを区別するための番号です。（必ず登録します）
● パスワードは、原稿を間違って送受信しないための鍵となるものです。（必要に応じて登録します）

F コード通信で使用できる機能

サブアドレスやパスワードを利用すると、次のような機能を使用することができます。

■ F コード親展通信

通信相手に F コード親展ボックスが設定されているとき、そのボックスのサブアドレスと必要に応じてパスワードを指定することにより、親展通信ができるようになります。親展受信側では、特定の暗証番号を入力しなければ受信文書をプリントできませんので、機密保護が必要な文書を送信する場合に便利です。

・**F コード親展送信をする場合**…… サブアドレスを使用した送信（→ 3-46 ページ）
・**F コード親展受信した場合**……… 蓄積原稿のプリント（→ 3-52 ページ）

■ F コード掲示板通信

通信相手に F コード掲示板が設定されているとき、掲示板のサブアドレスを指定することにより、掲示板へ原稿を送信したり、掲示板に蓄積されている原稿を取り出したり（ポーリング）することができます。（必要に応じてパスワードを指定できます）

・**相手の掲示板へ送信する場合**………………………… サブアドレスを使用した送信（→ 3-46 ページ）
・**相手の掲示板に蓄積された原稿を取り出す場合**…… サブアドレスを使用した受信（→ 3-48 ページ）
・**自分の掲示板へ原稿を蓄積する場合**…………………… 掲示板への原稿蓄積（→ 3-50 ページ）

■ F コード中継指示通信

中継機に F コード中継指示ボックスが設定されているとき、そのボックスのサブアドレスを指定することにより、中継指示通信ができるようになります。（必要に応じてパスワードを指定できます）

中継機側では、ボックスに登録されている相手（配信先）に、指示された原稿を送信（配信）します。

・**中継指示送信する場合**………あらかじめ通信相手のファクスのメモリー内に設定されている、中継指示通信用のボックスのサブアドレスやパスワードを確認して、F コード送信をしてください。（→ 3-46 ページ）

・**本商品が中継機となる場合**…F コードボックス登録（→ 3-39 ページ）で中継用のボックスを設定してください。

F コードボックスを登録 / 変更する

● F コード通信を利用するために F コードボックスを登録します。F コードボックスにはそれぞれのサブアドレスとパスワードを登録します。

● サブアドレスは必ず登録してください。パスワードは必要に応じて登録してください。

● 暗証番号は、F コードボックスの操作が誰でもできないようにするために設定します。

● すでに登録されている F コードボックスの内容を変更する場合は、F コードボックスの登録手順の中で、変更したい登録内容を〈クリア〉で消去してから、新しく入力します。

1 **〈機能〉、ワンタッチキー〈P〉、〈セット〉を押します。**

```
P1　ホ゛ックス　セット
　　　　　　　キノウ／セット
```

2 **〈セット〉を押します。**

3 **ダイヤルキーで、登録したい F コードボックス番号（01 ～ 50）を入力します。**

〈◀〉、〈▶〉を押してボックス番号を選択することもできます。

```
ホ゛ックス　ヲ　エランテ゛クタ゛サイ
01：セット　サレテイマセン
```

すでに F コードボックスが登録されている場合は、ボックス名を表示します。

4 **〈セット〉を押します。**

5 **ボックス名を入力します。**

・16 文字まで登録できます。
・文字入力については「文字入力のしかた（→5-3ページ）」を参照してください。
・漢字・全角文字は登録できません。

```
02：ホ゛ックスメイ　：カタカナ
ナコ゛ヤシテン■
```

6 〈セット〉を押します。

```
02:サブ アド レス バ ンゴ ウ
■
```

7 ダイヤルキーで、サブアドレス番号を入力します。

サブアドレスは20桁まで登録できます。数字のみ登録できます。

```
02:サブ アド レス バ ンゴ ウ
0123456789■
```

8 〈セット〉を押します。

すでに他のFコードボックスに登録されているサブアドレスを入力した場合は、「バンゴウ ガ トウロクサレテイマス」と表示します。違う番号を入力し直してください。

9 ダイヤルキーで、パスワードを登録します。

・パスワードは20桁まで登録できます。数字、#、*が登録できます。
・パスワードは必ずしも登録する必要はありません。他のボックスに同じパスワードを登録することもできます。

```
02:パ スワード  バ ンゴ ウ
##0101##■
```

10 〈セット〉を押します。

```
ボ ックス シュベ ツ:ケイジ バ ン
            キノウ/セット
```

11 〈機能〉でボックス種別を選択します。

```
ボ ックス シュベ ツ:ケイジ バ ン
            キノウ/セット
```

▼

```
ボ ックス シュベ ツ:シンテン
            キノウ/セット
```

▼

```
ボ ックス シュベ ツ:チュウケイ
            キノウ/セット
```

12 〈セット〉を押します。

・ボックス種別で掲示板を選んだ場合は手順13へ進みます。(→3-41ページ)
・ボックス種別で親展を選んだ場合は手順19へ進みます。(→3-41ページ)
・ボックス種別で中継を選んだ場合は手順22へ進みます。(→3-42ページ)

F コード掲示板ボックスの登録

「F コードボックスを登録 / 変更する」（→ 3-39 ページ）の続きの手順です。

13 **〈機能〉で受信禁止設定の ON または OFF を選択し、〈セット〉を押します。**

ON にした場合は送信のみできます。

```
ジ゛ュシン　キンシ　　　　　　　：ＯＦＦ
　　　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

14 **〈機能〉で受信原稿プリント許可の ON または OFF を選択し、〈セット〉を押します。**

ON にした場合は、掲示板に受信した原稿をプリントします。

```
ト゛ウシ゛　　プ゜リント　　　　：ＯＦＦ
　　　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

15 **〈機能〉で受信原稿上書き許可の ON または OFF を選択し、〈セット〉を押します。**

ON にした場合は受信原稿は上書きされます。

```
ケ゛ンコウ　ウワカ゛キ　　　　　：ＯＦＦ
　　　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

16 **〈機能〉で送信原稿消去許可の ON または OFF を選択します。**

ON にした場合はポーリング送信後、原稿を消去します。

```
ソウシン　ケ゛ンコウ　クリア　：ＯＦＦ
　　　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

17 **〈セット〉を押します。**

18 **手順 27 に進みます。**

F コード親展ボックスの登録

「F コードボックスを登録 / 変更する」（→ 3-39 ページ）の続きの手順です。

19 **ダイヤルキーで、親展原稿の保持期間（0 ～ 31 日）を入力します。**

0 を入力した場合は無制限に原稿を保持します。

```
ケ゛ンコウ　メモリーキカン
メモリーキカン　　（０－３１）：　　００
```

間違えて入力したときは正しい番号を上書きで入力してください。

20 〈セット〉を押します。

21 手順 27 に進みます。

F コード中継指示ボックスの登録

「F コードボックスを登録 / 変更する」（→ 3-39 ページ）の続きの手順です。

22 配信先を入力します。

・ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループが使用できます。（ダイヤルキーは使用できません。）
・複数の宛先を指定するときは、〈同報〉を押して区切ります。

```
ハイシンサキ　ヲ　ト゛ウソ゛
［０１］，Ｓ００１，Ｇ２■
```

23 〈セット〉を押します。

24 〈機能〉で配信したときの発信元の設定を選択し、〈セット〉を押します。

```
ハイシンシ゛　　ハッシンモト：ソトツ゛ケ
　　　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

▼

```
ハイシンシ゛　　ハッシンモト：ウワカ゛キ
　　　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

▼

```
ハイシンシ゛　　ハッシンモト：ツケナイ
　　　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

・ツケナイ …配信する原稿に、自機の発信元名をつけません。
・ソトヅケ …配信する原稿に、中継指示先の発信元名と並べて、自機の発信元名をつけます。
・ウワガキ …配信する原稿に、自機の発信元名をつけます。（中継指示先の発信元名を自機の発信元名に上書きします。）

25 〈機能〉で同時プリント許可の ON または OFF を選択し、〈セット〉を押します。

ON にした場合は、中継指示先より送信された原稿を自機でもプリントします。

```
ト゛ウシ゛フ゜リント　　　　　：ＯＦＦ
　　　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

26 手順 27 に進みます。

27 **ダイヤルキーで、暗証番号を登録します。**

・親展の場合は必ず暗証番号を登録してください。暗証番号に 0000 は使用できません。
・掲示板・中継の場合は必要に応じて暗証番号を登録してください。暗証番号を登録しない場合は、手順 28 に進んでください。
・暗証番号を間違えたときは正しい番号を上書きで入力してください。

```
０２：ホ゛ックス　セット
アンショウ　ハ゛ンコ゛ウ　　　：０ ０ ０ ０
```

ここで登録した暗証番号は蓄積原稿のプリントなどをするとき入力が必要です。忘れないように控えておいてください。

28 **〈セット〉を押します。**

29 **続けて F コードボックスを登録するときは、手順 3 から操作を繰り返します。終了するときは、〈ストップ〉を押します。**

補 足

ボックス種別を変更するときは、変更したい F コードボックスを消去してから登録し直してください。

F コードボックスを消去する

1 **〈機能〉、ワンタッチキー〈P〉、ダイヤルキー〈5〉を押します。**

```
Ｐ５　ホ゛ックス　クリア
　　　　　　キノウ／セット
```

2 **〈セット〉を押します。**

3 **ダイヤルキーで、消去したいボックス番号（1 ～ 50）を入力します。**

〈◀〉、〈▶〉を押してボックス番号を選択することもできます。

```
ホックス　ヲ　エランデ゛クダ゛サイ
０２：ナコ゛ヤシテン
```

4 **〈セット〉を押します。**

5 **ダイヤルキーで、暗証番号（4 桁）を入力します。**

暗証番号が設定されていないときは、手順 7 に進みます。

```
０２：ホ゛ックス　クリア
アンショウ　ハ゛ンコ゛ウ　　　：１ ２ ３ ４
```

6 **〈セット〉を押します。**

7 **消去してよければ、もう一度〈セット〉を押します。**

・F コードボックスに原稿が蓄積されているときは消去できません。
・F コードボックスが、プログラムワンタッチ（F コード蓄積）にて使用されているときは消去できません。
・消去を中止するときは、〈機能〉を押します。

8 **続けて消去を行うときは、手順 3 から操作を繰り返します。**
終了するときは、〈ストップ〉を押します。

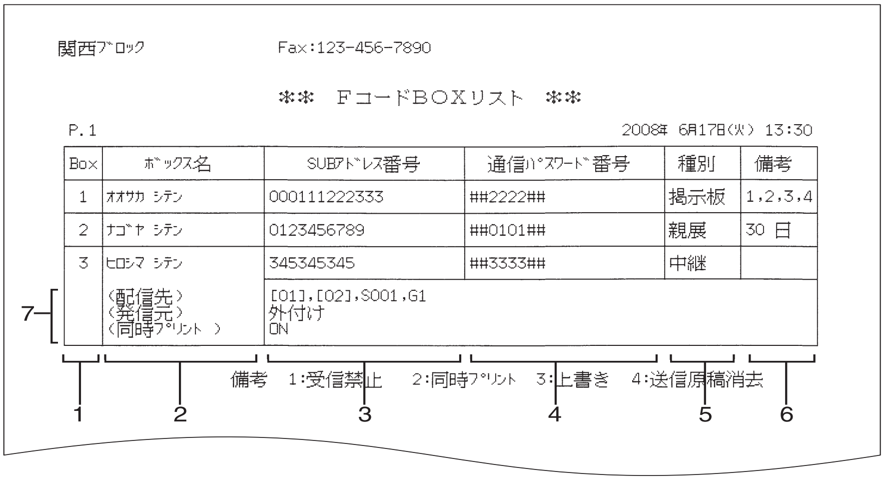
F コードボックスリストをプリントする

1 〈機能〉、ワンタッチキー〈P〉、ダイヤルキー〈2〉を押します。

```
P２　ボ゛ックス　リスト
　　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 〈セット〉を押します。

F コードボックスリストがプリントされます。



関西ﾌﾞﾛｯｸ　　　Fax:123-456-7890

＊＊　ＦコードＢＯＸリスト　＊＊

P.1　　　2008年 6月17日(火) 13:30

Box	ﾎﾞｯｸｽ名	SUBｱﾄﾞﾚｽ番号	通信ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ番号	種別	備考
1	ｵｵｻｶ ｼﾃﾝ	000111222333	##2222##	掲示板	1,2,3,4
2	ﾅｺﾞﾔ ｼﾃﾝ	0123456789	##0101##	親展	30 日
3	ﾋﾛｼﾏ ｼﾃﾝ	345345345	##3333##	中継	
	〈配信先〉 〈発信元〉 〈同時ﾌﾟﾘﾝﾄ 〉	[01],[02],S001,G1 外付け ON			

備考　1:受信禁止　2:同時ﾌﾟﾘﾝﾄ　3:上書き　4:送信原稿消去

1. Box
   F コードボックスの番号です。

2. ボックス名
   F コードボックスに登録したボックスの名前です。

3. SUB アドレス番号
   登録した F コードボックスのサブアドレスです。

4. 通信パスワード番号
   登録した F コードボックスの通信パスワードです。

5. 種別
   F コードボックスの種類です。
   ・親展……親展ボックスとして登録されています。
   ・中継……中継指示ボックスとして登録されています。
   ・掲示板…掲示板ボックスとして登録されています。

6. 備考
   親展ボックス、掲示板ボックスのそれぞれのオプション設定を表します。

   親展ボックス
   ・30 日…親展ボックスに原稿を記憶しておく期間（日）

   掲示板ボックス
   ・1…受信禁止設定 ON
   ・2…受信原稿同時プリント許可 ON
   ・3…受信原稿上書き許可 ON
   ・4…送信原稿消去許可 ON

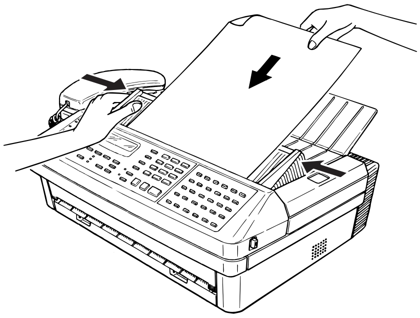
7. 配信先、発信元、同時プリント
   中継指示ボックスのオプション設定を表します。

サブアドレスを使用した送信（F コード送信）

サブアドレスとパスワードを入力することにより、F コード親展送信、F コード掲示板送信、F コード中継送信ができます。

● あらかじめ、相手機に登録されている使用したい機能のサブアドレスとパスワードを確認してください。

1 送信する面を下に向け原稿をセットします。



2 画質や濃度を設定します。（→ 2-6 ページ）

3 〈応用通信〉を 6 回押します。

```
6. Fコート゛   ソウシン
          オウヨウツウシン／セット
```

4 〈セット〉を押します。

5 ダイヤルキーで、相手機に登録されている使用したい機能のサブアドレス番号を入力します。

```
サフ゛アト゛レス ヲ ト゛ウソ゛
123456789■
```

サブアドレスは 20 桁以内の数字です。

6 〈セット〉を押します。

7 ダイヤルキーで、パスワードを入力します。

```
ハ゜スワート゛  ヲ ト゛ウソ゛
＊＃9876543210■
```

・パスワードは 20 桁以内の数字、＊、＃が使用できます。
・パスワードの必要がないときは、何も入力しないで〈セット〉を押し、手順 9 に進みます。

8 〈セット〉を押します。

9 相手のファクス番号入力します。

```
スタートキー　ヲ　ド゛ウゾ゛
１２３－４５６－７８９０■
```

・ハイフン、ポーズなどのダイヤル記号を入力できます。(→ 2-17 ページ)
・ダイヤルキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループが使用できます。
・〈同報〉で区切ることにより最大 240 宛先まで指定できます。(ダイヤルキー入力による指定は 20 宛先までです。)
・〈応用通信〉を押して「ジコクシテイ ツウシン」を登録することで、送信時刻を指定することができます。(→ 3-7 ページ)

10 〈スタート〉を押します。原稿の読み取りが始まります。

補 足

・ 操作を中止するとき、読み取りを中止するときは、〈ストップ〉を押してください。
・ 番号を間違えて入力したときは、〈クリア〉を押して訂正してください。
・ 原稿読み取り後は、〈ファクス中止 / 確認〉で消去、確認できます。(→ 2-19 ページ)
・ 操作を中断してから 1 分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

サブアドレスを使用した受信（F コードポーリング）

● 相手機の掲示板に蓄積された原稿をサブアドレスとパスワードを入力することにより、取り出すこと（ポーリング）ができます。

● あらかじめ相手機の掲示板のサブアドレスとパスワードを確認してください。

1 〈応用通信〉を 7 回押します。

```
7. Fコート゛  ホ゜ーリンク゛
        オウヨウツウシン／セット
```

2 〈セット〉を押します。

3 ダイヤルキーで、掲示板のサブアドレス番号を入力します。

```
サフ゛アト゛レス ヲ ト゛ウソ゛
1234567890■
```

サブアドレスは 20 桁以内の数字です。

4 〈セット〉を押します。

5 ダイヤルキーで、パスワードを入力します。

```
ハ゜スワート゛  ヲ ト゛ウソ゛
＊＃9876543210■
```

・パスワードは 20 桁以内の数字、＊、＃が使用できます。
・パスワードが必要ないときは、何も入力しないで〈セット〉を押し、手順 7 に進みます。

6 〈セット〉を押します。

7 相手のファクス番号入力します。

```
スタートキー ヲ ト゛ウソ゛
123－456－7890■
```

・ハイフン、ポーズなどのダイヤル記号を入力できます。（→ 2-17 ページ）
・ダイヤルキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループが使用できます。
・〈同報〉で区切ることにより最大 240 宛先まで指定できます。（ダイヤルキー入力による指定は 20 宛先までです。）
・〈応用通信〉を押して「ジコクシテイ ツウシン」を登録することで、送信時刻を指定することができます。（→ 3-7 ページ）

8 〈スタート〉を押します。F コードポーリングが始まります。

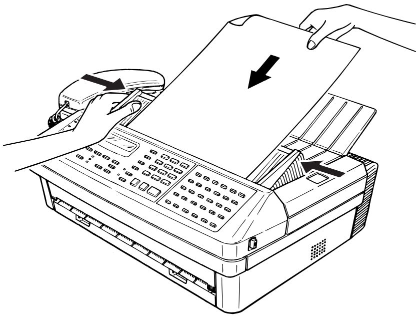
補 足

- 番号を間違えて入力したときは、〈クリア〉を押して正しい番号を入力してください。
- 操作を中止するときは、〈ストップ〉を押してください。
- Fコードポーリングは送信文書として扱われます。〈スタート〉を押した後は、〈ファクス中止 / 確認〉で消去、確認できます。(→ 2-19 ページ)
- 操作を中断してから 1 分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

掲示板へ原稿を蓄積する

●F コードを利用した掲示板に原稿を蓄積します。
●1 つのボックスには 30 件まで原稿を蓄積できます。
●F コードボックスに掲示板ボックスの登録が必要です。(→ 3-39 ページ)

1 送信する面を下に向け原稿をセットします。



2 画質や濃度を設定します。(→ 2-6 ページ)

3 〈機能〉、ワンタッチキー〈P〉、ダイヤルキー〈7〉を押します。

```
P７　ゲ゛ンコウ　チクセキ
　　　　　　　　　キノウ／セット
```

4 〈セット〉を押します。

```
ホ゛ックス　ヲ　エランデ゛クダ゛サイ
０１：カイシャアンナイ
```

登録されている F コードボックス名が表示されます。

5 ダイヤルキーで、原稿を蓄積する F コードボックス番号（掲示板ボックスの番号）を入力します。

```
ホ゛ックス　ヲ　エランデ゛クダ゛サイ
０４：シザ゛イブ゛レンラク
```

・掲示板ボックスに設定した F コードボックス番号を指定してください。(→ 3-39 ページ)
・〈◀〉、〈▶〉を押してボックス番号を選択することもできます。

6 〈セット〉を押します。

7 ダイヤルキーで、暗証番号（4 桁）を入力します。

```
０４：ケ゛ンコウ　チクセキ
アンショウ　ハ゛ンコ゛ウ　　　　：１２３４
```

・掲示板ボックスに暗証番号を登録していない場合は、手順９に進みます。
・暗証番号が間違っていると「バンゴウ　ガ　チガイマス」と表示されます。
　操作をやり直してください。

8 〈セット〉を押します。

9 〈機能〉で原稿を上書きするか（ON）、追加するか（OFF）を選択します。

```
ケ゛ンコウ　ウワカ゛キ　　　　　：ＯＦＦ
　　　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

10 〈セット〉を押します。
蓄積する原稿のファイル番号が表示されます。

```
ケ゛ンコウ　チクセキ　　　ファイル：　１
Ａ４　→→→→→→→→→メモリー　７５％
```

・ファイル番号は蓄積した原稿を確認したり消去するときに必要です。
・原稿をメモリーに読み取り中は、矢印がスクロールします。

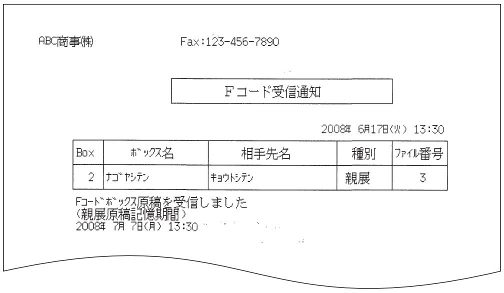
補 足

・番号を間違えて入力したときは、〈クリア〉を押して正しい番号を入力してください。
・操作を中止するときは、〈ストップ〉を押してください。
・操作を中断してから１分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

蓄積原稿をプリントする

- 親展受信原稿、掲示板に受信した原稿および、掲示板に蓄積した原稿をプリントします。
- F コードボックスに原稿を受信した場合は、F コード受信通知がプリントされます。記載されているボックス番号を確認し、蓄積原稿をプリントします。

・親展受信の場合



ABC商事㈱　　Fax:123-456-7890

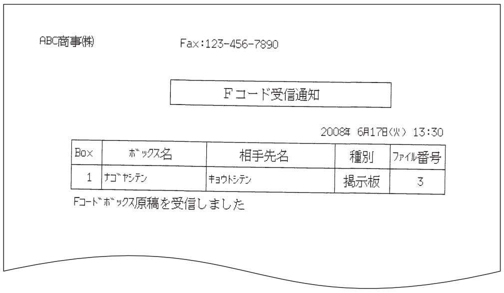
Fコード受信通知

2008年 6月17日(火) 13:30

Box	ﾎﾞｯｸｽ名	相手先名	種別	ﾌｧｲﾙ番号
2	ﾅｺﾞﾔｼﾃﾝ	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ	親展	3

Fｺｰﾄﾞﾎﾞｯｸｽ原稿を受信しました
(親展原稿記憶期間)
2008年 7月 7日(月) 13:30

・掲示板に受信した場合



ABC商事㈱　　Fax:123-456-7890

Fコード受信通知

2008年 6月17日(火) 13:30

Box	ﾎﾞｯｸｽ名	相手先名	種別	ﾌｧｲﾙ番号
1	ﾅｺﾞﾔｼﾃﾝ	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ	掲示板	3

Fｺｰﾄﾞﾎﾞｯｸｽ原稿を受信しました

・掲示板に受信および蓄積した原稿をプリントする場合は、ファイルを指定してプリントします。

・ファイル番号は「F コードボックス蓄積原稿リスト」で確認してください。

---

1 **〈機能〉、ワンタッチキー〈P〉、ダイヤルキー〈4〉を押します。**

```
P４　チクセキ　ゲ゛ンコウ　フ゜リント
　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 **〈セット〉を押します。**

```
ホ゛ックス　ヲ　エランデ゛クダ゛サイ
０１：カイシャアンナイ
```

登録されている F コードボックス名が表示されます。

3 **ダイヤルキーで、取り出したい原稿が蓄積されている、F コードボックス番号を入力します。**

〈◀〉、〈▶〉を押してボックス番号を選択することもできます。

```
ホ゛ックス　ヲ　エランデ゛クダ゛サイ
０３：ケイリブ゛
```

4 **〈セット〉を押します。**

掲示板ボックスに暗証番号を登録していない場合は、手順 7 に進みます。

5 ダイヤルキーで、暗証番号（4 桁）を入力します。

```
０３：チクセキ　ゲ゛ンコウ　フ゜リント
アンショウ　バ゛ンゴ゛ウ　　　：1２３４
```

親展受信原稿をプリントする場合は、手順 8 に進みます。

6 〈セット〉を押します。

```
０３：チクセキ　ゲ゛ンコウ　フ゜リント
ファイル　バ゛ンゴ゛ウ：　　　　■
```

7 ダイヤルキーでファイル番号を入力します。

0 を入力するとすべてのファイルをプリントします。

```
０３：チクセキ　ゲ゛ンコウ　フ゜リント
ファイル　バ゛ンゴ゛ウ：　　　　１■
```

8 〈セット〉を押します。

蓄積された指定原稿をプリントします。

・ 親展受信原稿はプリントすると自動的に消去されます。
・ 掲示板に受信および蓄積した原稿はプリントしても消去されません。

蓄積原稿を消去する

掲示板ボックスに蓄積されている原稿を消去します。あらかじめ消去したい原稿のファイル番号を、蓄積原稿リストで確認してください。

1 **〈機能〉、ワンタッチキー〈P〉、ダイヤルキー〈6〉を押します。**

```
P6　チクセキ　ゲ゛ンコウ　クリア
　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 **〈セット〉を押します。**

3 **ダイヤルキーで、消去したい原稿があるボックス番号を入力します。**

〈◀〉、〈▶〉を押してボックス番号を選択することもできます。

```
ボ゛ックス　ヲ　エランデ゛クダ゛サイ
02：ナゴ゛ヤシテン
```

4 **〈セット〉を押します。**

5 **ダイヤルキーで、暗証番号（4桁）を入力します。**

掲示板ボックスに暗証番号を登録していない場合は、手順7に進みます。

```
02：チクセキ　ゲ゛ンコウ　クリア
アンショウ　バ゛ンゴ゛ウ　　　：■234
```

暗証番号が間違っているときは「バンゴウ　ガ　チガイマス」と表示されます。

6 **〈セット〉を押します。**

7 **ダイヤルキーで、ファイル番号を入力します。**

・ファイル番号はFコードボックス蓄積原稿リストで確認できます。
・0を入力するとすべてのファイルを消去します。

```
02：チクセキ　ゲ゛ンコウ　クリア
ファイル　バ゛ンゴ゛ウ：　　　　1■
```

8 **〈セット〉を押します。**

```
02：チクセキ　ゲ゛ンコウ　クリア
カクニン　　　　　　キノウ／セット
```

消去を中止するときは、〈機能〉を押します。

9 **〈セット〉を押します。**

蓄積された原稿が消去されます。

蓄積原稿リストをプリントする

Ｆコードボックスに蓄積されている原稿の一覧リストをプリントします。

1 〈機能〉、ワンタッチキー〈P〉、ダイヤルキー〈3〉を押します。

```
Ｐ３　チクセキ　ゲ゛ンコウ　リスト
　　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 〈セット〉を押します。

蓄積原稿リストがプリントされます。

ABC商事㈱　　　Fax:123-456-7890

＊＊　ＦコードBOX蓄積原稿リスト　＊＊

P.1　　　　2008年 6月17日(火) 13:30

Box	ボックス名	種別	ファイル番号
1	オオサカ シテン	親展	6
2	ナゴヤ シテン	親展	1，2，9
3	ヒロシマ シテン	親展	1，2，6
4	キョトウシテン	掲示板	1，2，7

種　別

親展 …… 親展ボックスとして登録されています。
中継 …… 中継指示ボックスとして登録されています。
掲示板 … 掲示板ボックスとして登録されています。

ファイル番号

受信した場合はＦコード受信通知の原稿番号、蓄積した場合は蓄積時のファイル番号を表します。

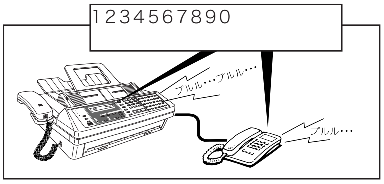
相手の番号を表示する（ナンバー・ディスプレイ）

当社のナンバー・ディスプレイ（発信電話番号表示サービス）を利用すると、相手の番号がディスプレイに表示されます。このサービスをご利用になれば、電話に出る前に誰からかかってきた電話なのかわかります。また、よくかかってくる相手の名前を登録しておくと、番号の代わりに名前が表示されます。

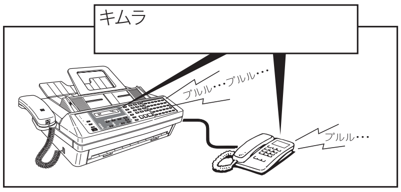
- ナンバー・ディスプレイをご利用いただくには、次の準備が必要です。
  ①ナンバー・ディスプレイの申し込みをする。
  ②ナンバー・ディスプレイを開始する日（当社の工事が完了する日）をご確認の上、本商品のナンバー・ディスプレイ設定を「ON」にしてください。（→ 3-62 ページ）
- ダイヤルインサービスとナンバー・ディスプレイの両方をご使用になる場合は、**モデムダイヤルインサービス**の契約を行ってください。

電話がかかってくると…

- かけてきた相手の番号を表示します。ナンバー・ディスプレイ対応電話機を接続した場合は、電話機でも同サービスを利用することができます。



- 名前の登録をしている相手のときは名前を表示します。



- 相手先名の登録といっしょに転送番号を登録すると、登録した相手から受信した原稿を転送することができます。**（ナンバー・ディスプレイワープ）**
  転送する時刻を指定することもできます。



ディスプレイ表示について

- 相手が自分の番号を「通知する」にしているとき、または、186 をつけてダイヤルしているときに表示します。

（例）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

- 相手が自分の番号を「通知する」にしているとき、または、186 をつけてダイヤルしているときで、名前の登録をしている相手のときには、その登録している名前を表示します。

（例）

キムラ

- 相手が自分の番号を「通知しない」にしているとき、または、184 をつけてダイヤルしているときに表示します。

ヒツウチ

- 相手がサービスを行っていない地域より電話をかけたときに表示します。

ヒョウシ゛　ケンカ゛イ

- 相手が公衆電話から電話をかけているときに表示します。公衆電話からでも相手が 184 をつけてダイヤルした場合は「ヒツウチ」になります。

コウシュウ　テ゛ンワ

※地域によっては、ナンバー・ディスプレイをご利用できない場合もあります。詳しくは当社窓口へお問い合わせください。

名前と転送先（ナンバー・ディスプレイワープ先）を登録する

- 名前を登録した相手から、かかってきたときは、番号表示のかわりに相手先名を表示するようになります。一目で相手が確認でき便利です。転送番号を入力すると、登録した相手から受信した原稿を転送することもできます。（ナンバー・ディスプレイの設定にて、ナンバー・ディスプレイワープを ON に設定してください。（→ 3-62 ページ））
- 名前は 20 件まで登録できます。

1 〈機能〉、ワンタッチキー〈R〉、〈セット〉を押します。

```
R１　ナンバ゛ーデ゛ィスプ゜レイ　セット
　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 〈セット〉を押します。

3 はじめて名前を登録するとき

→手順 4 に進み、相手のダイヤル番号を入力します。

```
０１：ダ゛イヤル　バ゛ンゴ゛ウ
■
```

すでに名前が登録されているとき

→〈機能〉で登録されていない番号を選択し、〈セット〉を押します。

```
バ゛ンゴ゛ウ　ヲ　エランデ゛クダ゛サイ
０１：１２３－４５６－７８９０
```

```
０３：ダ゛イヤル　バ゛ンゴ゛ウ
■
```

4 ダイヤルキーで、相手のダイヤル番号を市外局番から入力します。（最大 20 桁）

```
０３：ダ゛イヤル　バ゛ンゴ゛ウ
０７５－１２３－４５６７■
```

番号を間違えて入力したときは、〈クリア〉を押して正しい番号を入力してください。

5 〈セット〉を押します。

6 相手先名を入力します。

・24 文字まで登録できます。
・文字入力については「文字入力のしかた（→5-3ページ）」を参照してください。
　漢字・全角文字は登録できません。

```
０３：アイテサキメイ　：カタカナ
キョウトシテン■
```

7 〈セット〉を押します。

8 転送番号を入力します。

（転送番号を入力しないときは〈セット〉を押して手順 14 へ進みます）
・ダイヤルキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループを使用できます。
・転送番号は 221 ケ所まで登録できます。〈同報〉を押して相手を区切ります。
・ダイヤルキーによる入力は 1 ケ所のみです。

```
０３：テンソウ　バ゛ンゴ゛ウ
６５４－３２１０，［０１］，Ｓ００１■
```

番号を間違えて入力したときは、〈クリア〉を押して正しい番号を入力し直してください。

9 〈セット〉を押します。

```
０３：シテイ　ジ゛コク
（＊）　＊＊：＊＊－－（＊）　＊＊：＊＊
```

10 ダイヤルキーで転送する時刻を指定します。

（時刻を指定しないときは〈セット〉を押して手順 12 へ進みます）
【例】金曜日 16:45 ～月曜日 7:00 まで転送するとき

```
０３：シテイ　ジ゛コク
（金）　１６：４５－－（月）　０７：００
```

転送開始　転送終了

転送時刻の入力のしかたは、次のページを参照してください。

11 〈セット〉を押します。

12 〈機能〉で、同時プリントの OFF または ON 選択します。

・OFF … 本商品では転送した原稿をプリントしません。
・ON … 本商品でも転送先でも受信原稿をプリントします。

```
０３：ト゛ウジ゛　フ゜リント：　ＯＦＦ
　　　　　　　　キノウ／セット
```

▼

```
０３：ト゛ウジ゛　フ゜リント：　ＯＮ
　　　　　　　　キノウ／セット
```

13 〈セット〉を押します。

次の名前の登録に移ります。

14 続けて名前の登録をするときは、手順 3 から操作を繰り返します。
登録を終了するときは、〈ストップ〉を押します。

転送時刻の入力のしかた

・「＊」は指定されていないという表示です。
・曜日はダイヤルキーで入力します。

ダイヤルキー〈0〉…（日）	ダイヤルキー〈4〉…（木）
ダイヤルキー〈1〉…（月）	ダイヤルキー〈5〉…（金）
ダイヤルキー〈2〉…（火）	ダイヤルキー〈6〉…（土）
ダイヤルキー〈3〉…（水）	

・ダイヤルキー〈＊〉を押すと 1 文字を消去（＊に戻す）します。
※〈クリア〉を押すと、指定時刻を消去します。
※入力を間違えた場合は、〈◀〉、〈▶〉を押してカーソルを移動し入力し直してください。
・曜日または時刻を指定しないこともできます。

【例】曜日を指定しないとき
毎日 16:45 〜次の日の 7:00 まで転送

```
０３：シテイ　ジ゛コク
(＊)　１６：４５−−（＊）　０７：００
```

【例】時刻を指定しないとき
土曜日の 0:00 〜日曜日の 23:59 まで転送

```
０３：シテイ　ジ゛コク
(土)　＊＊：＊＊−−（日）　＊＊：＊＊
```

※片方が曜日、もう片方が時刻という指定はできません。

補 足

・登録されている内容を変更する場合は手順 3 にて変更したい番号を選択し、登録手順の中で変更したい登録内容を〈クリア〉で消去してから、新しく入力してください。
・登録されている内容を消去する場合は手順 3 にて消去したい番号を選択し、〈クリア〉を押します。登録内容が消去され、次の登録内容が繰り上がり表示されます。

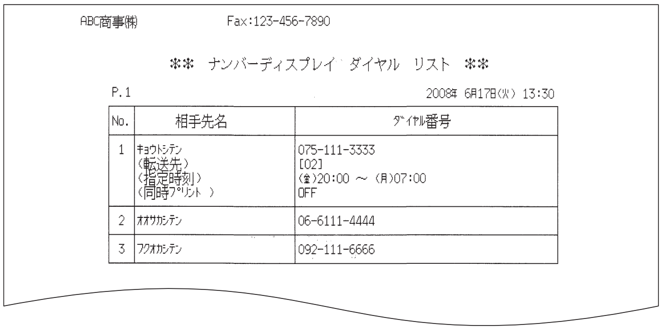
ナンバー・ディスプレイダイヤルリストをプリントする

1 〈機能〉、ワンタッチキー〈R〉、ダイヤルキー〈2〉を押します。

```
R２　ナンバ゛ーデ゛ィスプ゜レイ　リスト
　　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 〈セット〉を押します。

ナンバー・ディスプレイダイヤルリストがプリントされます。



ABC商事(株)　　Fax:123-456-7890

＊＊　ナンバーディスプレイ゛ダイヤル　リスト　＊＊

P.1　　2008年 6月17日(火) 13:30

No.	相手先名	ダイヤル番号
1	キョウトシテン (転送先) (指定時刻) (同時プリント)	075-111-3333 [02] (金)20:00 ～ (月)07:00 OFF
2	オオサカシテン	06-6111-4444
3	フクオカシテン	092-111-6666

相手先名

ディスプレイに表示させる名前です。

ダイヤル番号

転送の設定内容と相手のダイヤル番号です。この番号から通信があると、番号の代わりに登録した相手先名を表示します。

ナンバー・ディスプレイを設定する

- ナンバー・ディスプレイを利用するときに設定を ON にします。また、サービスを利用する電話機の設定も行ってください。
- ナンバー・ディスプレイワープを利用するときは、転送番号の設定が必要です。(→ 3-58 ページ)

1 **〈機能〉、ワンタッチキー〈R〉、ダイヤルキー〈3〉を押します。**

```
R３　ナンバ゛ーデ゛ィスプ゜レイセッテイ
　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 **〈セット〉を押します。**

3 **〈機能〉で OFF または PHONE2 を選択します。**

・OFF ………接続する電話機がナンバー・ディスプレイ未対応の場合、または電話機を接続しない場合。
・PHONE2…ナンバー・ディスプレイ対応の電話機を PHONE2 端子に接続する場合。

```
デ゛ンワキ　セツゾ゛ク：　ＯＦＦ
　　　　　　　　キノウ／セット
```

▼

```
デ゛ンワキ　セツゾ゛ク：　ＰＨＯＮＥ２
　　　　　　　　キノウ／セット
```

4 **〈セット〉を押します。**

5 **〈機能〉でナンバー・ディスプレイの OFF または ON を選択します。**

・OFF…ナンバー・ディスプレイサービスを利用しないとき。
・ON …ナンバー・ディスプレイサービスを利用するとき。

```
ナンバ゛ーデ゛ィスプ゜レイ：　　ＯＦＦ
　　　　　　　　キノウ／セット
```

▼

```
ナンバ゛ーデ゛ィスプ゜レイ：　　ＯＮ
　　　　　　　　キノウ／セット
```

6 **〈セット〉を押します。**

7 〈機能〉でナンバー・ディスプレイワープの OFF または ON を選択します。

・OFF …受信した原稿を転送しないとき。
・ON …受信した原稿を転送するとき。

ＮＤワーフ゜　：　　　　　　　　ＯＦＦ キノウ／セット

▼

ＮＤワーフ゜　：　　　　　　　　ＯＮ キノウ／セット

8 〈セット〉を押します。

ナンバー・ディスプレイが設定されます。

補足

・PHONE2 端子に接続する増設電話がナンバー・ディスプレイ対応の場合、増設電話でもディスプレイに番号を表示します。増設電話でナンバー・ディスプレイ設定を「ON」にしてください。詳しくはご使用の増設電話の取扱説明書をご覧ください。
・当社での工事が完了する前に設定を変更したり、工事完了後に設定を変更せずに本商品を使用したりすると、正常に電話やファクスを受けることができません。（ファクスの送信や電話をかけることはできます。）
・操作を中止するときは、〈ストップ〉を押します。
・操作を中断してから 1 分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

ナンバー・ディスプレイ通信履歴を確認する

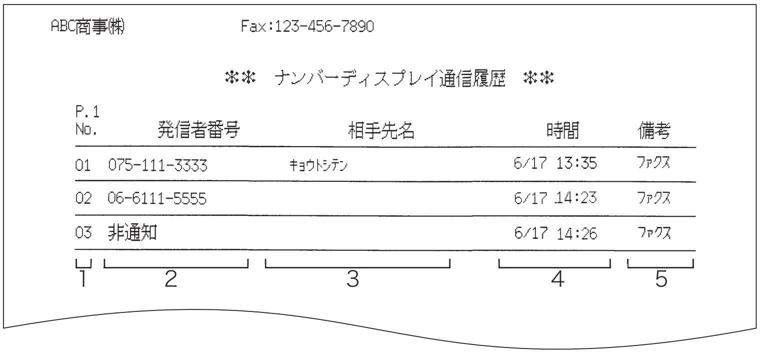
最新の着信を記憶しておき、20 件分の着信状況をプリントできます。それ以前の着信履歴は順次自動消去します。過去の着信状況を確認するのに便利です。

1 〈機能〉、ワンタッチキー〈G〉、ダイヤルキー〈5〉を押します。

```
G５　ナンバ゛ーデ゛ィスプ゜レイ　リレキ
　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 〈セット〉を押します。

ナンバーディスプレイ通信履歴がプリントされます。



ABC商事㈱　　Fax:123-456-7890

＊＊　ナンバーディスプレイ通信履歴　＊＊

P.1

No.	発信者番号	相手先名	時間	備考
01	075-111-3333	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ	6/17 13:35	ﾌｧｸｽ
02	06-6111-5555		6/17 14:23	ﾌｧｸｽ
03	非通知		6/17 14:26	ﾌｧｸｽ
1	2	3	4	5

1. No.

着信件数です。

2. 発信者番号

・相手が自分の番号を「通知する」にしているとき、または「186」をつけてダイヤルしたときは、発信側の番号がプリントされます。

・非通知……相手が自分の番号を「通知しない」にしているとき、または、「184」をつけてダイヤルしているとき。

・表示圏外…相手がサービスを行っていない地域より電話をかけたとき。

・公衆電話…相手が公衆電話から電話をかけているときに表示します。公衆電話からでも相手が「184」をつけてダイヤルした場合は「非通知」になります。

・F 網………ファクシミリ通信網より着信しました。

3. 相手先名

相手先名を登録している場合は名前を表示します。相手を登録していない場合や、相手が「184」で番号表示をしない場合は空白になります。

4. 時間

着信した時刻です。

5. 備考

ファクス……ファクスの受信です。

部門ごとの使用を管理する（部門管理）

通信した部門の総通信枚数と総通信時間をプリントし（→ 3-70 ページ）、通信の使用状況を部門ごとに管理する機能です。

送信操作のたびに部門コードを入力する必要がありますので、使用者を限定することもできます。

- 部門管理を有効にするときは、部門管理コードを登録してから部門管理の設定を ON にしてください。
- 部門管理プロテクトが ON になっていると、部門管理を設定することはできません。部門管理プロテクトを OFF にしてください。（→ 3-67 ページ）

部門管理コードを登録する

1 **〈機能〉、ワンタッチキー〈M〉、ダイヤルキー〈2〉を押します。**

```
M2  ブ゛モンカンリ  コード゛  セット
                    キノウ／セット
```

2 **〈セット〉を押します。**

```
フ゛モンカンリ  コード゛  ヲ  ド゛ウゾ゛
001：■
```

すでに登録されてる部門管理コードが表示されているときは、〈機能〉押して、登録されていない番号を表示し〈セット〉を押します。

3 **部門管理コードを入力します。**

4 桁のコードを入力してください。

```
フ゛モンカンリ  コード゛  ヲ  ド゛ウゾ゛
001：1234
```

コードを修正するときは、上書きしてください。

4 **〈セット〉を押します。**

```
フ゛モンカンリ  コード゛  ヲ  ド゛ウゾ゛
002：■
```

・続けて部門管理コードを登録できます。
・部門管理コードは 001 ～ 100 まで登録できます。

5 **終了するときは、〈ストップ〉を押してください。**

部門管理コードを消去する

1 **〈機能〉、ワンタッチキー〈M〉、ダイヤルキー〈2〉を押します。**

2 **〈セット〉を押します。**

3 **消去したい部門管理コードが表示されるまで、〈機能〉を押します。**

```
バ゛ンゴ゛ウ ヲ エランデ゛クダ゛サイ
002:2345
```

4 **〈クリア〉を押します。**

5 **消去される番号を確認し、消去するときは〈セット〉を押します。**

〈機能〉を押すと手順 3 に戻ります。

6 **終了するときは、〈ストップ〉を押してください。**

補 足

- 部門管理コードを消去すると、後に登録されているコードが繰り上がります。
  002 に "2345"、003 に "3456" と登録されているとき、002 の "2345" を消去すると、"002:3456" と 003 の部門管理コードが繰り上がります。
- 部門管理コードの変更はできません。変更したい場合は、変更したい部門管理コードを消去し、あらためて登録し直してください。

登録内容を保護する（部門管理プロテクト）　初期設定：OFF

- 部門管理プロテクトを ON にすると、部門管理コードの登録（→ 3-65 ページ）や部門管理セット（→ 3-68 ページ）が操作できません。
- 操作する前にプロテクトコードを登録してください。（→ 5-29 ページ）

1 **〈機能〉、ワンタッチキー〈M〉、〈セット〉を押します。**

```
M１　フ゛モンカンリフ゜ロテクト　セット
　　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 **〈セット〉を押します。**

プロテクトコードが登録されていないと「プロテクトコード ミトウロクデス」と表示されます。

3 **ダイヤルキーで、プロテクトコードを入力します。**

【例】1234 と入力したとき

```
フ゛モンカンリ　フ゜ロテクト　セット
フ゜ロテクトコート゛　　　　　：１２３４
```

4 **〈セット〉を押します。**

プロテクトコードが間違っていると「プロテクトコード　ガ　チガイマス」と表示されます。

5 **〈機能〉で ON または OFF を選択します。**

```
フ゛モンカンリ　フ゜ロテクト：　ＯＮ
　　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

▼

```
フ゛モンカンリ　フ゜ロテクト：　ＯＦＦ
　　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

6 **〈セット〉を押します。**

部門管理プロテクトがセットされます。

補足

部門管理コードの登録、部門管理セットを操作するには、部門管理プロテクトを OFF にしてください。

部門管理を設定する　　初期設定：OFF

1 **〈機能〉、ワンタッチキー〈M〉、ダイヤルキー〈3〉を押します。**

```
Ｍ３　フ゛モンカンリ　セット
　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 **〈セット〉を押します。**

```
フ゛モンカンリ：　　　　ＯＦＦ
　　　　　　　キノウ／セット
```

部門コードが登録されていない場合は、〈セット〉を押した後、「ブモンコード　ガ　ミトウロクデス」と表示されます。

3 **〈機能〉で ON または OFF を選択します。**

```
フ゛モンカンリ：　　　　ＯＮ
　　　　　　　キノウ／セット
```

▼

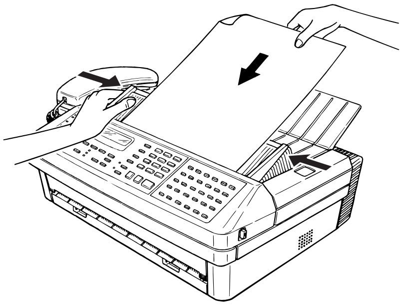
```
フ゛モンカンリ：　　　　ＯＦＦ
　　　　　　　キノウ／セット
```

4 **〈セット〉を押します。**

部門管理が設定されます。

部門管理 ON のときの送信

1 送信する面を下に向け原稿をセットします。



2 相手のファクス番号を入力します。

```
スタートキー　ヲ　ト゛ウゾ゛
１２３−４５６−７８９０■
```

・ハイフン、ポーズなどのダイヤル記号を入力できます。（→ 2-17 ページ）
・ダイヤルキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループが使用できます。
・〈同報〉で区切ることにより最大 240 宛先まで指定できます。（ダイヤルキー入力による指定は 20 宛先までです。）

3 〈スタート〉を押します。

```
フ゛モンカンリ　コート゛　ヲ　ト゛ウゾ゛
■
```

4 部門管理コード（4 桁）を入力します。

```
フ゛モンカンリ　コート゛　ヲ　ト゛ウゾ゛
１２３４■
```

部門管理コードはあらかじめ登録する必要があります。（→ 3-65 ページ）

5 〈スタート〉を押します。
入力した部門コードが登録されていない場合は、〈スタート〉を押した後、「ブモンコード　ガ　ミトウロクデス」と表示されます。

補 足

・操作を中止するときは、〈ストップ〉を押します。
・操作を中断してから 1 分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。
・手動送信時には、部門管理機能は働きません。

部門管理リストをプリントする

部門管理コード別に通信時間、通信枚数の総数をプリントします。

1 **〈機能〉、ワンタッチキー〈M〉、ダイヤルキー〈4〉を押します。**

```
Ｍ４　　フ゛モンカンリリスト　　フ゜リント
　　　　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 **〈セット〉を押します。**

部門管理リストがプリントされます。

関西ﾌﾞﾛｯｸ　　　Fax:123-456-7890

＊＊　部門管理リスト　＊＊

P.1　　2008年 6月17日(火) 10:00 --> 2008年 7月15日(金) 13:30

部門	時間	通信枚
1234	0:25:30	100
5678	0:17:13	75
9000	0:07:20	30

通信時間は 999 時間 59 分 59 秒（999:59:59）まで表示されます。それ以上通信しても加算されません。通信枚数は 65535 枚を超えると 0 枚に戻ります。

部門管理リストの内容を消去する

通信時間、通信枚数の総数を 0 にします。

1 **〈機能〉、ワンタッチキー〈M〉、ダイヤルキー〈5〉を押します。**

```
Ｍ５　　フ゛モンカンリリスト　　ショウキョ
　　　　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 **〈セット〉を押します。**

```
フ゛モンカンリリスト　　ショウキョ
カクニン　　　　　　　　　キノウ／セット
```

3 **消去してよければ、もう一度〈セット〉を押します。**

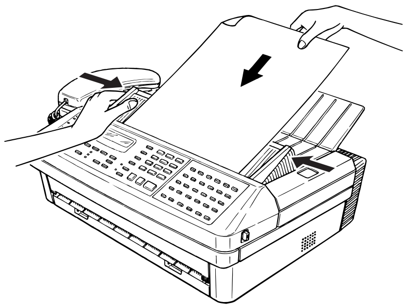
消去を中止するときは、〈機能〉を押します。

原稿の枚数を確認する（原稿枚数セット）

原稿の読み取り枚数をチェックするため、送信漏れを防止します。

- 一括送信、ポーリング、F コードポーリング、手動送信では、原稿枚数を設定することはできません。
- 同報通信や応用通信などの設定後は、原稿枚数の設定はできません。原稿枚数の設定を先に行ってください。
- セットした枚数に対して、読み取り枚数が足りないときにはアラームが鳴ります。そのときにはもう一度操作し直してください。
- 原稿枚数セットで設定した枚数よりも実際に原稿トレイにセットした枚数が多いときは、原稿枚数セットで設定した枚数分だけ送信します。

1 送信する面を下に向け原稿をセットします。



2 〈機能〉、ワンタッチキー〈L〉、〈セット〉を押します。

```
ゲ゛ンコウ　マイスウ　ヲ　ト゛ウゾ゛
ゲ゛ンコウ　マイスウ　（１－３０）：01
```

3 原稿枚数（2 桁）を入力します。（1 ～ 30 枚）

【例】05 枚と入力したとき

```
ゲ゛ンコウ　マイスウ　ヲ　ト゛ウゾ゛
ゲ゛ンコウ　マイスウ　（１－３０）：05
```

4 〈セット〉を押します。

```
アイテサキ　ハ゛ンゴ゛ウ　ヲ　ト゛ウゾ゛
■
```

5 **相手のファクス番号を入力します。**

【例】123-456-7890 と入力したとき

```
スタートキー　ヲ　ト゛ウソ゛
１２３－４５６－７８９０■
```

6 **〈スタート〉を押します。**

原稿をメモリーに蓄積し、送信を開始します。

補 足

・操作を中止するときは、〈ストップ〉を押します。
・メモリーがいっぱいのとき原稿の読み取りはできません。その場合、リアルタイム送信に設定し送信してください。(→ 2-16 ページ)
・操作を中断してから 1 分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

通信を管理する

通信を管理するために以下の機能があります。

通信管理レポート

最新の送信、受信合わせて 125 通信分の通信状況をプリントできます。

本商品は最新の送信・受信の合計 125 通信の通信管理記録を記録しており、それ以前の通信管理記録は順次自動消去します。

通信日報

常に最新の通信状況だけプリントしたい場合は、通信日報をプリントします。通信日報で一度プリントした通信状況は、再度通信日報をプリントしても記載されません。

例えば、月曜日から金曜日までは毎日終業時に日報としてプリント、月曜日の始業時には、金曜日にプリントした以降（金曜終業時から月曜始業時まで）の通信状況をプリント、という使いかたができます。

通信証

- 1 送信ごとの通信枚数や通信モードなどの通信結果をプリントして確認できます。
- 送信確認証は送信のたびに毎回プリントすることもできます。また、 1 通信ごとにプリントする・しないを切り替えることもできます。（→ 3-79 ページ）

通信予約リスト

通信予約リストをプリントできます。（→ 2-24 ページ）

通信予約原稿のプリント

時刻指定通信など、通信予約している原稿をプリントすることができます。（→ 2-25 ページ）

通信管理レポートをプリントする

1 〈機能〉、ワンタッチキー〈G〉、ダイヤルキー〈2〉を押します。

```
G 2　ツウシンカンリ　プ゜リント
　　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 〈セット〉を押します。

通信管理レポートがプリントされます。

補 足

通信結果をプリントせずに確認するには、「ディスプレイ上で通信結果を確認する」を参照してください。（→ 2-23 ページ）

通信管理レポートの自動プリントを設定する

自動プリントをセットすると、最新の送信・受信があわせて125通信になった場合に、送信管理レポート・受信管理レポートを同時にプリントします。

1 **〈機能〉、ワンタッチキー〈G〉、〈セット〉を押します。**

```
G 1　ツウシンキロク　ジ゛ト゛ウセット
　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 **〈セット〉を押します。**

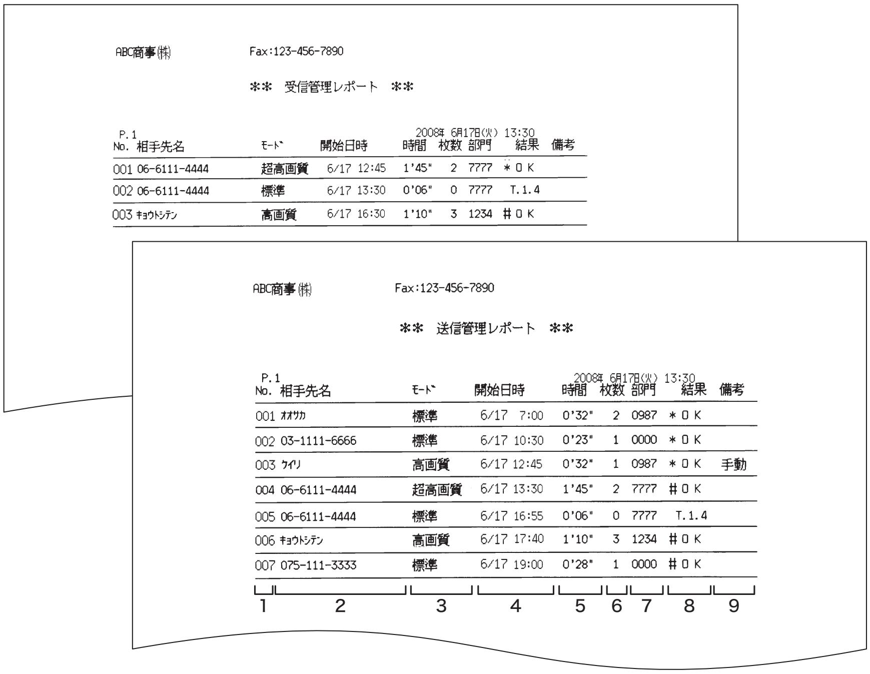
3 **〈機能〉でONまたはOFFを選択します。**

```
シ゛ト゛ウ　フ゜リント：　　　OFF
　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

4 **〈セット〉を押します。**

自動プリントが設定されます。

レポートのみかた



ABC商事㈱　Fax:123-456-7890

＊＊　受信管理レポート　＊＊

P.1　2008年 6月17日(火) 13:30

No.	相手先名	ﾓｰﾄﾞ	開始日時	時間	枚数	部門	結果	備考
001	06-6111-4444	超高画質	6/17 12:45	1'45"	2	7777	＊ＯＫ	
002	06-6111-4444	標準	6/17 13:30	0'06"	0	7777	T.1.4	
003	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ	高画質	6/17 16:30	1'10"	3	1234	＃ＯＫ	

ABC商事㈱　Fax:123-456-7890

＊＊　送信管理レポート　＊＊

P.1　2008年 6月17日(火) 13:30

No.	相手先名	ﾓｰﾄﾞ	開始日時	時間	枚数	部門	結果	備考
001	ｵｵｻｶ	標準	6/17 7:00	0'32"	2	0987	＊ＯＫ	
002	03-1111-6666	標準	6/17 10:30	0'23"	1	0000	＊ＯＫ	
003	ｹｲﾘ	高画質	6/17 12:45	0'32"	1	0987	＊ＯＫ	手動
004	06-6111-4444	超高画質	6/17 13:30	1'45"	2	7777	＃ＯＫ	
005	06-6111-4444	標準	6/17 16:55	0'06"	0	7777	T.1.4	
006	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ	高画質	6/17 17:40	1'10"	3	1234	＃ＯＫ	
007	075-111-3333	標準	6/17 19:00	0'28"	1	0000	＃ＯＫ	
1	2	3	4	5	6	7	8	9

1. No.
日ごとの通信件数です。

2. 相手先名
以下の順に記録されます。
（1）ワンタッチダイヤルなどに登録されている相手先名（送信のみ）
（2）ワンタッチダイヤルなどに登録されている電話番号、またはダイヤルボタンで指定した電話番号（送信のみ）
（3）相手の自局名
（4）相手の自局 ID*
（5）空白（相手で自局名・自局 ID が登録されていない場合など）
* ナンバー・ディスプレイサービスにより通知された番号ではありません。相手に登録された番号です。

3. モード
通信した画質です。

4. 開始日時
通信を開始した時刻です。

5. 時間
通信の開始から終了までの所要時間です。

6. 枚数
通信した枚数です。

7. 部門
部門管理を設定しているときに、部門番号が記録されます。

8. 結果
通信結果です。
- OK …………… 正常終了しました。
- ＊ ………………ECM モードで通信しました。
- ＃ ………………スーパー G3 で通信しました。
- エラーコード… 異常終了です。もう一度送信してください。（エラーコードについては （→ 6-16 ページ））

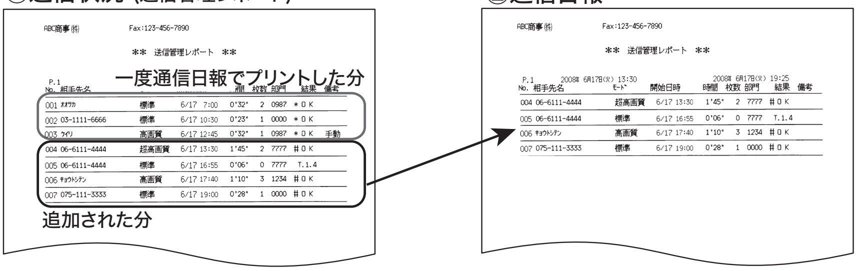
9. 備考
- 親　　展…… 親展送信、親展受信です。
- 中　　継…… 中継指示送信です。
- ポーリング…… ポーリングです。
- 同　　報…… 同報送信です。
- 手　　動…… 手動送信です。
- 検索ポー…… 検索ポーリングです。
- F コード…… F コード送信です。
- F ポー……… F コードポーリングです。
- F 親展……… F コード親展通信です。
- F 中継……… F コード中継指示通信です。
- F 掲示板…… F コード掲示板通信です。
- 一　　括…… 一括送信です。

通信日報をプリントする

通信管理記録は 125 通信を超えると古い記録から消去されてしまいます。そのため、日報をプリントする間隔が長い場合は、通信管理レポートの自動プリントを ON に設定してください。

例：通信管理レポートの自動プリントを ON にすると、前回の通信日報をプリントした後に 129 通信された場合、125 通信終了した時点で通信管理レポートの自動プリントが実行されます。その後、通信日報をプリントすると 4 通信分の記録がプリントされます。

①通信状況 (通信管理レポート)　　②通信日報



1 〈機能〉、ワンタッチキー〈G〉、ダイヤルキー〈3〉を押します。

```
G３　ツウシンニッポ゜ウ　プ゜リント
　　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 〈セット〉を押します。

最新の通信状況を記載した、送信管理レポートと受信管理レポートをプリントします。

補 足

- 操作を中止するときは、〈ストップ〉を押します。
- 操作を中断してから 1 分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

通信日報の自動プリントを設定する

通信日報の自動プリントをセットすると、毎日設定した時刻に通信日報をプリントします。

1 **〈機能〉、ワンタッチキー〈G〉、ダイヤルキー〈6〉を押します。**

```
G6　ツウシンニッポ゜ウジ゛コクシテイ
　　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 **〈セット〉を押します。**

3 **〈機能〉で OFF または ON を選択します。**

```
ツウシンニッポ゜ウジ゛コクシテイ：OFF
　　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

4 **〈セット〉を押します。**

OFF を選択した場合は、この手順で終了です。

5 **ダイヤルキーで、時刻を入力します。**

```
ツウシンニッポ゜ウジ゛コクシテイ
ジ゛コクヲ　ド゛ウゾ゛　　　　00：00
```

6 **〈セット〉を押します。**

自動プリントが設定されます。

通信証を設定する　　初期設定：送信証 /OFF

- 1 送信ごとの通信枚数、通信モードなどの通信結果が確認できます。
  - ・通信証には受領証と送信証の 2 種類があり、どちらかを選びます。
  - ・送信証とは、本商品による送信結果のプリントです。
  - ・受領証は相手が受信したことを証明するプリントです。相手ファクスは受領証発行機能がある当社機に限定されます。詳しくは当社のサービス取扱所にお問い合わせください。
- 通信証セットを ON にすると、送信するたびに通信証をプリントします。1 通信ごとにプリントの ON/OFF 切り換えもできます。

---

1 〈機能〉、ワンタッチキー〈G〉、ダイヤルキー〈4〉を押します。

```
Ｇ４　ツウシンショウ　セット
　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 〈セット〉を押します。

3 〈機能〉で送信証または受領証を選択します。

```
ソウシンショウ　ヲ　センタク
　　　　　　　　キノウ／セット
```

▼

```
ジュリョウショウ　ヲ　センタク
　　　　　　　　キノウ／セット
```

4 〈セット〉を押します。

5 〈機能〉で ON または OFF を選択します。

```
ジ゛ト゛ウ　フ゜リント：　　　ＯＦＦ
　　　　　　　　キノウ／セット
```

6 〈セット〉を押します。

通信証が設定されます。

一時的な通信証の発行　　初期設定：OFF

● 通信証セットで設定した状態にかかわらず、一時的に通信証の発行を ON、OFF することができます。

● セットした直後の通信 1 回のみに有効です。直後の通信が完了すると通信証セットで設定した状態に戻ります。

1 〈ファクス中止 / 確認〉を 3 回押します。

```
ツウシンショウ　　　　　　　　：ＯＦＦ
　　　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 〈機能〉で ON または OFF を選択します。

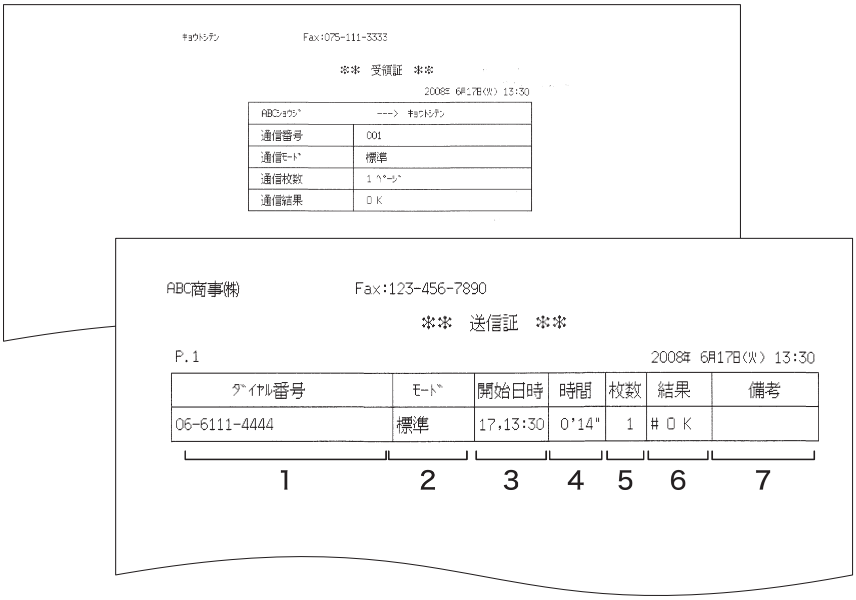
```
ツウシンショウ　　　　　　　　：ＯＦＦ
　　　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

3 〈セット〉を押します。

補 足

・ 操作を中止するときは、〈ストップ〉を押します。
・ 操作を中断してから 1 分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

通信証のみかた



1. ダイヤル番号

以下の順に記録されます。

（1）ワンタッチダイヤルなどに登録されている相手先名（送信のみ）

（2）ワンタッチダイヤルなどに登録されている電話番号、またはダイヤルボタンで指定した電話番号（送信のみ）

（3）相手の自局名

（4）相手の自局 ID

（5）空白（相手で自局名・自局 ID が登録されていない場合など）

2. モード

通信した画質です。

3. 開始日時

通信を開始した日時です。

4. 時間

通信の開始から終了までの所要時間です。

5. 枚数

通信した枚数です。

6. 結果

通信結果です。

- OK ……………正常終了しました。
- ＊ ………………ECM モードで通信しました。
- ＃ ………………スーパー G3 で通信しました。
- エラーコード…異常終了です。もう一度送信してください。（エラーコードについては（→ 6-16 ページ））

7. 備考

- 親　　展……親展送信、親展受信です。
- 中　　継……中継指示送信です。
- ポーリング……ポーリングです。
- 同　　報……同報送信です。
- 手　　動……手動送信です。
- 検索ポー……検索ポーリングです。
- F コード……F コード送信です。
- F ポー………F コードポーリングです。
- 一　　括……一括送信です。

第 4 章

セキュリティ編

ファクス通信する相手を限定する（閉域通信）

閉域通信を設定すると、本機能搭載機の場合にのみファクスの送受信が可能になります。パスコードも設定しておくと相手機が本機能搭載機であっても、セキュリティ機能を持ち、なおかつ同じパスコードが登録されている相手機としかファクスの送受信をしないようにすることもできます。閉域通信は、送受信別々に設定することができます。

閉域送信を設定する　　初期値：OFF

閉域送信を設定すると、セキュリティ機能を持つ相手機にのみファクスが送信できます。またパスコードを設定すると、パスコードが一致しなかった場合は送信を中断するので、相手にファクスの内容が送信されることを防止します。ファクスを送れる相手が限られるため、相手番号の入力間違いによって間違った宛先にファクスを送信してしまうことを防止します。

- あらかじめプロテクトコード登録が必要です。（→ 5-29 ページ）
- パスコードを設定するときは、「パスコードを登録する」（→ 4-4 ページ）を参照してください。
- 閉域通信とパスコードによる通信範囲の詳細については、「パスコードの通信と範囲」（→ 4-5 ページ）を参照してください。
- 「セキュリティキーセット」機能を有効にすると、閉域送信機能と ID チェック送信機能をパネルキーに割り当てることができます。（→ 4-7 ページ）

補 足

対応機種については、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

1 〈機能〉、ワンタッチキー〈S〉、〈セット〉を押します。

```
S　セキュリティ　キノウ
プ゜ロテクトコート゛　　　　　：****
```

2 ダイヤルキーでプロテクトコードを入力します。

3 〈セット〉を押します。

```
S１　ヘイイキ　ソウシン
　　　　　　　　キノウ／セット
```

4 〈セット〉を押します。

5 〈機能〉で ON または OFF を選択します。

```
ヘイイキ　ソウシン：　　　　ＯＦＦ
　　　　　　　　キノウ／セット
```

6 〈セット〉を押します。

閉域受信を設定する　初期値：OFF

閉域受信を設定すると、セキュリティ機能を持つ相手機からのみ、ファクスを受信できます。またパスコードを設定すると、パスコードが一致しなかった場合は受信を拒否し、通信を中断させます。ファクスを受け取る相手が限られるため、相手番号の間違いによるファクスの受け取りが防止できます。

あらかじめプロテクトコード登録が必要です。(→ 5-29 ページ)

- パスコードを設定するときは、「パスコードを登録する」(→ 4-4 ページ) を参照してください。
- 閉域通信とパスコードによる通信範囲の詳細については、「パスコードの通信と範囲」(→ 4-5 ページ) を参照してください。

補 足

対応機種については、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

1 〈機能〉、ワンタッチキー〈S〉、ダイヤルキー〈2〉を押します。

```
S　セキュリティ　キノウ
フ゜ロテクトコート゛　　　　：****
```

2 ダイヤルキーでプロテクトコードを入力します。

3 〈セット〉を押します。

```
S 2　ヘイイキ　シ゛ュシン
　　　　　　　　　キノウ／セット
```

4 〈セット〉を押します。

5 〈機能〉で ON または OFF を選択します。

```
ヘイイキ　シ゛ュシン：　　　　OFF
　　　　　　　　　キノウ／セット
```

6 〈セット〉を押します。

パスコードを登録する　　初期値：0000

閉域送信および閉域受信、パスコードポーリングに利用するパスコードを登録します。

パスコードを登録しなかった場合でも閉域受信および閉域送信は利用できますが、セキュリティ機能を強化するためにはパスコードの登録を行ってください。

- あらかじめプロテクトコードの登録が必要です。（→ 5-29 ページ）
- パスコードを設定するときは、“0000” 以外の番号を入力してください。“0000” を入力すると、パスコード設定が解除されます。
- パスコードは忘れないようにしてください。
- 閉域通信とパスコードによる通信範囲の詳細については、「パスコードの通信と範囲」（→ 4-5 ページ）を参照してください。

1 〈機能〉、ワンタッチキー〈S〉、ダイヤルキー〈3〉を押します。

```
S　セキュリティ　キノウ
フ゜ロテクトコート゛　　　　　　：＊＊＊＊
```

2 ダイヤルキーでプロテクトコードを入力します。

3 〈セット〉を押します。

```
S３　ハ゜スコート゛　　セット
　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

4 〈セット〉を押します。

5 ダイヤルキーでパスコードを入力（４桁）します。

```
ハ゜スコート゛　　セット
ハ゜スコート゛　　　　　　　：１２３４
```

6 〈セット〉を押します。

補 足

パスコードを解除するときは、0000 を入力します。

パスコードの通信と範囲

■ 閉域送信の通信範囲

・閉域送信を設定すると、本機能非搭載機のファクスには送信できません。

・パスコードを登録した場合は、自機に登録されたパスコードと相手機に登録されているパスコードが一致しない場合はファクス送信しません。以下の表（パスコードを1234にした場合の例）を参照してください。

本体パスコード	相手機（受信機）	相手機 パスコード	結果
設定なし （0000）	本機能非搭載機	-	通信エラー
	本機能搭載機 （セキュリティ機能なし）	-	通信ＯＫ
	本機能搭載機 （セキュリティ機能あり）	0000	通信ＯＫ
		1234	通信ＯＫ
		5678	通信ＯＫ
設定あり （1234）	本機能非搭載機	-	通信エラー
	本機能搭載機 （セキュリティ機能なし）	-	通信エラー
	本機能搭載機 （セキュリティ機能あり）	0000	通信エラー
		1234	通信ＯＫ
		5678	通信エラー

通信エラーになった場合は、エラーメッセージがプリントされ、エラーコード「T.2.2」が記載されます。

■ 閉域受信の通信範囲

・閉域受信を設定すると、本機能非搭載機のファクスからは受信しません。

・パスコードを登録した場合は、自機に登録されたパスコードと相手機に登録されているパスコードが一致しない場合はファクス受信しません。以下の表（パスコードを1234にした場合の例）を参照してください。

本体パスコード	相手機（送信機）	相手機 パスコード	結果
設定なし （0000）	本機能非搭載機	-	通信エラー
	本機能搭載機 （セキュリティ機能なし）	-	通信ＯＫ
	本機能搭載機 （セキュリティ機能あり）	0000	通信ＯＫ
		1234	通信ＯＫ
		5678	通信ＯＫ
設定あり （1234）	本機能非搭載機	-	通信エラー
	本機能搭載機 （セキュリティ機能なし）	-	通信エラー
	本機能搭載機 （セキュリティ機能あり）	0000	通信エラー
		1234	通信ＯＫ
		5678	通信エラー

■パスコードポーリングの通信範囲

・パスコードなし（0000）の場合は、相手機に関係なくポーリング送信できます。

・パスコードを登録した場合は、同じパスコードを設定した相手機にのみポーリング送信できます。

相手機番号を確認してから送信する（ID チェック送信）

ID チェック送信を設定する　　初期値：OFF

ID チェック送信を設定すると、ダイヤルしたファクス番号の下 4 桁と相手機に登録されているファクス番号の下 4 桁を照合し、一致した場合のみファクス送信します。回線障害などにより相手番号と違ったファクスに間違って送信されるトラブルを減らすことができます。

- あらかじめプロテクトコードの登録が必要です。（→ 5-29 ページ）
- 「セキュリティキーセット」機能を有効にすると、閉域送信機能と ID チェック送信機能をパネルキーに割り当てることができます。（→ 4-7 ページ）

1 〈機能〉、ワンタッチキー〈S〉、ダイヤルキー〈4〉を押します。

```
S　セキュリティ　キノウ
プ゜ロテクトコート゛　　　　　：＊＊＊＊
```

2 ダイヤルキーでプロテクトコードを入力します。

3 〈セット〉を押します。

```
S 4　ＩDチェック　ソウシン
　　　　　　　　キノウ／セット
```

4 〈セット〉を押します。

5 〈機能〉で ON または OFF を選択します。

```
ＩDチェック　ソウシン：　　　OFF
　　　　　　　　キノウ／セット
```

6 〈セット〉を押します。

セキュリティキーセット機能

閉域送信と ID チェック送信の 2 つの機能をパネルキーに割り当てることができます。この機能をよく ON/OFF する場合は、操作の手間が省けます。

● この機能を有効にすると、〈メモリー送信〉と〈済スタンプ〉は使用できません。

セキュリティキーをセットする　初期値：OFF

1 〈機能〉、ワンタッチキー〈J〉、ダイヤルキー〈1〉、〈6〉を押します。

```
J16　セキュリティキーセット
　　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 〈セット〉を押します。

3 〈機能〉で ON または OFF を選択します。

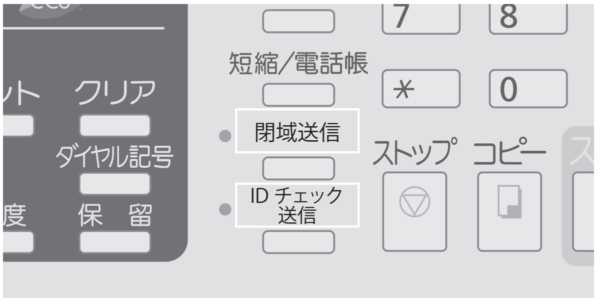
```
セキュリティキーセット　　　：OFF
　　　　　　　　キノウ／セット
```

4 〈セット〉を押します。

セキュリティキー機能が設定されます。

5 パネルキーの〈メモリー送信〉の上に、〈閉域送信〉のラベルを貼ります。

6 パネルキーの〈済スタンプ〉の上に、〈ID チェック送信〉のラベルを貼ります。



4
セキュリティ編

セキュリティキーを利用する

1 **〈閉域送信〉または〈ID チェック送信〉を押します。**

2 **ダイヤルキーでプロテクトコードを入力します。**

【例】〈閉域送信〉を押して、プロテクトコードを「1234」と入力した場合

```
ヘイイキ　ソウシン　セット
フ゜ロテクトコート゛　　　　：1234
```

3 **〈セット〉を押します。**

・ランプが点灯している場合は、その機能が有効になっていることを示しています。
・ランプが消灯している場合は、その機能が無効になっていることを示しています。

補 足

原稿の読み取りが終了したときや〈ストップ〉を押したときは、「閉域送信を設定する」（→ 4-2 ページ）や「ID チェック送信を設定する」（→ 4-6 ページ）で設定した内容に戻ります。

入力した番号を確認してから送信する（ダイヤル2度押し）

ダイヤル２度押しを設定する　　初期値：OFF

ダイヤルキーで相手ファクス番号を入力した場合に、入力したファクス番号の再入力画面が表示されます。番号を再入力することで入力間違いがないかを確認でき、間違った相手にファクス送信するのを防ぎます。ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルを使って入力した場合には、この機能は働きません。

● あらかじめプロテクトコード登録が必要です。（→ 5-29 ページ）

1 〈機能〉、ワンタッチキー〈S〉、ダイヤルキー〈5〉を押します。

```
S　セキュリティ　キノウ
フ゜ロテクトコート゛　　　　　：＊＊＊＊
```

2 ダイヤルキーでプロテクトコードを入力します。

3 〈セット〉を押します。

```
S５　ダ゛イヤル　２ド゛オシ
　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

4 〈セット〉を押します。

5 〈機能〉で ON または OFF を選択します。

```
ダ゛イヤル　２ド゛オシ：　　　ＯＦＦ
　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

6 〈セット〉を押します。

ダイヤル２度押し送信のしかた

ダイヤルキーを使って宛先番号を入力したとき、番号の再入力画面が表示されます。

- 〈リダイヤル / ポーズ〉を使って入力した宛先は、再入力する必要があります。
- 短縮ダイヤルやワンタッチキーを使って宛先を入力した場合は再入力する必要はありません。

1 **送信する面を下に向けて原稿をセットします。**

2 **ダイヤルキーで宛先を入力します。**

```
スタートキー　ヲ　ト゛ウソ゛
１２３−４５６−７８９０，　１１１−２２■
```

3 **〈スタート〉を押します。**

メッセージが表示されてから、ダイヤル２度押しの画面が表示されます。

```
［ハ゛ンコ゛ウ　カクニン］　　０１／０２
モウイチト゛　　ハ゛ンコ゛ウヲ　ト゛ウソ゛
```

・メッセージの表示時間は約２秒です。
・メッセージは最初は「モウイチド　バンゴウヲ　ドウゾ」と表示されます。宛先が２件以上ある場合は、２件目以降のメッセージは「ツギノ　バンゴウヲ　ドウゾ」と表示されます。
・画面右上の分数は、分母がダイヤル２度押しの対象総数、分子は入力してる宛先の数です。

```
［ハ゛ンコ゛ウ　カクニン］　　０１／０２
■
```

4 **ダイヤルキーで入力した宛先を再度入力し、１宛先ごとに〈スタート〉を押します。**

```
［ハ゛ンコ゛ウ　カクニン］　　０１／０２
１２３４５６７８９０■
```

・２度目に入力した番号が間違っていた場合には、「バンゴウガ　イッチシテイマセン」と表示され、上の画面に戻ります。
・すでに２度入力した宛先を入力してしまった場合には、「ステ゛ニ　ニュウリョク　サレテイマス」と表示され、上の画面に戻ります。

5 **すべての宛先が２度入力されるまで、手順３〜４を繰り返します。**

最初に入力したファクス番号が間違っていた場合は、〈ストップ〉を押して現在の通信を取り消してから、もう一度送信をやり直してください。

6 **すべての宛先が２度入力されると、送信が始まります。**

補足

・ハイフン（−）は再入力の必要がありません。
・ポーズ（−／）などのダイヤル記号を使って宛先を入力した場合は、ダイヤル記号も含めて再度入力してください。

受信した原稿を他人に読まれないようにする（セキュリティ受信）

セキュリティ受信開始時刻以降に受信した原稿をメモリーに蓄積し、プリントアウトしないようにします。この機能を活用すると、夜間などオフィスが無人になる時間帯に受信した原稿を、メモリーに記憶させておくことができます。受信した原稿は、特定の操作を行うことでプリントできます。

- あらかじめプロテクトコードを設定してください。（→ 5-29 ページ）
- プロテクトコードが解除されると、セキュリティ受信も解除されます。
- セキュリティ受信を ON に設定すると、毎日開始時刻にセキュリティ受信が設定されます。
- セキュリティ受信中に受信原稿がある場合は代行受信ランプが点灯します。プリントアウトした時点で自動的に通常の受信動作に戻ります。

セキュリティ受信を設定する　　初期設定：OFF

1 **〈機能〉、ワンタッチキー〈O〉、〈セット〉を押します。**

```
O１　セキュリティ　ジ゛ュシン　セット
　　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 **〈セット〉を押します。**

プロテクトコードが登録されていないと「プロテクトコード ミトウロクデス」と表示されます。

3 **ダイヤルキーで、プロテクトコードを入力します。**

【例】「1234」と入力した場合

```
セキュリティ　ジ゛ュシン　セット
フ゜ロテクトコート゛　　　　　：１２３４
```

4 **〈セット〉を押します。**

5 **〈機能〉で ON または OFF を選択します。**

```
セキュリティ　ジ゛ュシン：　　　OFF
　　　　　　　　　キノウ／セット
```

6 **〈セット〉を押します。**

OFF を選択した場合は、この手順で終了です。

7 **ダイヤルキーで、セキュリティ受信を開始する時刻を入力します。**

```
セキュリティ　ジ゛ュシン　セット
シ゛コクヲ　ト゛ウソ゛　　　　１８：００
```

4
セキュリティ編

8 〈セット〉を押します。

セキュリティ受信がセットされます。

補足

- 操作を中止するときは、〈ストップ〉を押します。
- セキュリティ受信を解除する時は、手順5でOFFにセットします。（セキュリティ受信した原稿があるときは解除できません。）
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

受信した原稿をプリントする

受信した原稿をプリントすると、通常の受信動作に戻ります。

1 〈機能〉、ワンタッチキー〈0〉、ダイヤルキー〈2〉を押します。

```
02　ジ゛ュシン　ゲ゛ンコウ　プ゜リント
　　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 〈セット〉を押します。

3 ダイヤルキーで、プロテクトコードを入力します。

【例】「1234」と入力した場合

```
ジ゛ュシン　ゲ゛ンコウ　プ゜リント
プ゜ロテクトコート゛　　　　　：1234
```

4 〈セット〉を押すと、受信した原稿をプリントします。

```

　　＊＊　プ゜リントチュウ　＊＊
```

受信した原稿がないときは「ゲンコウ ガ アリマセン」と表示されます。

補足

- 操作を中止するときは、〈ストップ〉を押します。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

ダイレクトメールを防止する

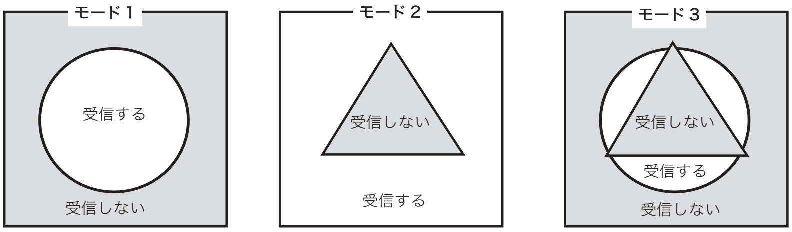
ダイレクトメール防止には３種類の方法があります。

モード１：ワンタッチ、短縮ダイヤルに登録されている相手からのファクスのみを受信する方法です。登録されているファクス番号の下４桁と相手IDを照合し、一致したときのみ受信します。

モード２：ダイレクトメール防止専用の番号登録を行い、登録された相手からの受信を拒否する方法です。登録桁数はファクス番号の下４〜８桁を登録します。最大50件まで登録できます。

モード３：モード１、２を合わせた方法です。ワンタッチ、短縮に登録されていない番号からの受信は拒否します。ダイレクトメール防止専用に登録された相手からの受信も拒否します。

OFF　　：ダイレクトメール防止を行いません。



□の部分：着信した番号
○の部分：ワンタッチ・短縮ダイヤルに登録されている番号
△の部分：ダイレクトメール防止用に登録した番号

登録する　初期値：OFF

1 **〈機能〉、ワンタッチキー〈J〉、ダイヤルキー〈0〉、〈7〉を押します。**

```
J07　ダ゛イレクトメール　ホ゛ウシ
　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 **〈セット〉を押します。**

3 **〈機能〉で OFF またはモード 1 〜 3 を選択します。**

```
タ゛イレクトメール　ホ゛ウシ：ＯＦＦ
　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

▼

```
タ゛イレクトメール　ホ゛ウシ：モート゛　１
　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

▼

```
タ゛イレクトメール　ホ゛ウシ：モート゛　２
　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

▼

```
タ゛イレクトメール　ホ゛ウシ：モート゛　３
　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

4 **〈セット〉を押します。**

OFF またはモード 1 を選んだ場合は、この手順で終了です。

5 **〈セット〉を押します。**

```
タ゛イヤル　ハ゛ンコ゛ウ　ヲ　ト゛ウソ゛
０１：■
```

すでに番号が登録されてる場合は、〈機能〉で登録されていない番号を選択し、〈セット〉を押してください。

6 **ダイヤルキーで登録する番号の下 4 〜 8 桁を入力します。**

```
タ゛イヤル　ハ゛ンコ゛ウ　ヲ　ト゛ウソ゛
０１：９８７６５４３２
```

ハイフンを入力するときは、〈ダイヤル記号〉を押します。（→ 2-17 ページ）

7 **〈セット〉を押します。**

```
タ゛イヤル　ハ゛ンコ゛ウ　ヲ　ト゛ウソ゛
０２：■
```

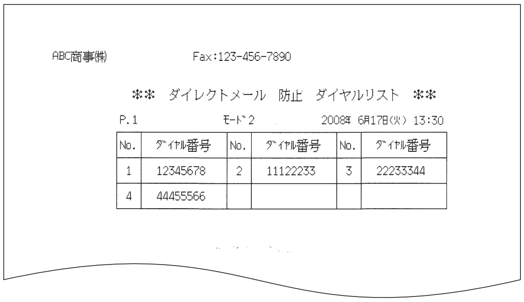
他の番号を登録するときは、続けて番号を登録します。

8 **登録モードを終了するときは、〈ストップ〉を押します。**

```
タ゛イレクトメール　タ゛イヤル　リスト
　　　　　　　　　　セット／ストッフ゜
```

ダイレクトメールダイヤルリストをプリントしない場合は、再度〈ストップ〉を押して終了します。

9 〈セット〉を押して、リストをプリントします。


ABC商事(株)　Fax:123-456-7890

＊＊　ダイレクトメール　防止　ダイヤルリスト　＊＊

P.1　モード2　2008年 6月17日(火) 13:30

No.	ダイヤル番号	No.	ダイヤル番号	No.	ダイヤル番号
1	12345678	2	11122233	3	22233344
4	44455566				

変更 / 消去する

1 「登録する」の手順 1 ～ 4 を行います。（→ 4-13 ページ）

2 〈セット〉を押します。

3 変更 / 消去したい番号が表示されるまで〈機能〉を押します。

```
ハ゛ンコ゛ウ ヲ エランテ゛クタ゛サイ
02：11122233
```

■ 変更する場合

4 番号を変更する場合は〈セット〉を押します。

5 〈◀〉、〈▶〉で変更する数字にカーソルを移動させ、上書き入力します。

6 再度〈セット〉を押します。

■ 消去する場合

7 番号を消去する場合は、〈クリア〉を押します。

8 変更 / 消去を終了するときは、〈ストップ〉を押します。

```
タ゛イレクトメール タ゛イヤル リスト
          セット／ストップ゜
```

ダイレクトメールダイヤルリストをプリントしない場合は、再度〈ストップ〉を押して終了します。

9 リストをプリントするときは、〈セット〉を押します。

補 足

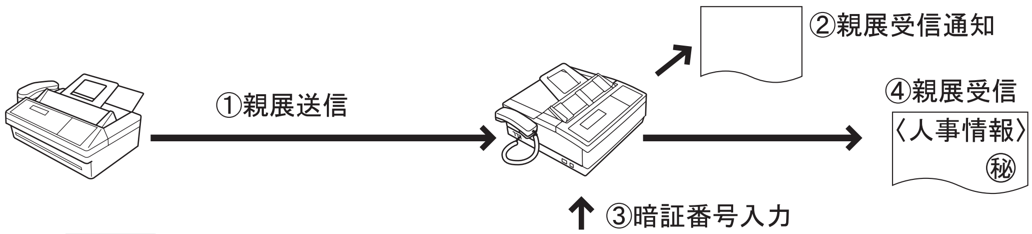
ダイレクトメール防止番号を消去すると、後に登録されている番号が繰り上がります。
002 に “2345”、003 に “3456” と登録されているとき、002 の “2345” を消去すると、002 に “3456” のダイレクトメール防止番号が繰り上がります。

親展通信をする

受信側の特定の人だけがプリントできるように送信する機能で、機密保護の必要な文書を送信する場合に便利です。受信側に原稿が届くと、いったんメモリーに蓄積され、「親展受信通知」がプリントされます。受取人はこの通知を見て受信原稿をプリントします。

親展通信には 2 種類の方法があります。（ここでは親展通信について説明しています。）

・ 親展通信…………… 当社の親展機能を持つファクシミリ専用の機能です。
・ F コード親展通信… 他社を含む F コード通信に対応したファクシミリで使用できる機能です。（→ 3-46 ページ）



補 足

対応機種については、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

親展ボックスを登録する

- 親展として送られてきた文書を受信するために、メモリー内に親展ボックスを登録します。
- 親展ボックスは 10 個まで登録できます。
- 親展者名と暗証番号は必ず両方とも登録してください。
- 暗証番号は、設定後どこにも表示されませんので、忘れないようにメモ等に書き留めておくことをおすすめします。

1 〈機能〉、ワンタッチキー〈E〉、〈セット〉を押します。

```
E 1　シンテン　セット
　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 〈セット〉を押します。

```
シンテン　セット
シンテン　バ゛ンゴ゛ウ：　　　　■
```

3 ダイヤルキーで、登録したい親展ボックスの番号を入力します。

【例】親展番号 1 を入力するとき

```
シンテン　セット
シンテン　バ゛ンゴ゛ウ：　　　　1■
```

4 〈セット〉を押します。

5 ダイヤルキーで暗証番号（0000）を入力します。

新規登録のときは暗証番号（0000）を入力します。

```
シンテン　バ゛ンゴ゛ウ：　　　　　　1
アンショウ　バ゛ンゴ゛ウ　　　　：0000
```

既に親展ボックスが登録されているときは「バンゴウ　ガ　チガイマス」と表示されます。

6 〈セット〉を押します。

7 親展者名を入力します。

・16 文字まで登録できます。
・文字入力については「文字入力のしかた（→ 5-3 ページ）」を参照してください。漢字・全角文字は登録できません。

【例】ケイリブと入力するとき

```
1 ：シンテンシャメイ　：カタカナ
ケイリブ゛■
```

8 〈セット〉を押します。

9 ダイヤルキーで、暗証番号（4 桁）を入力します。

・暗証番号に 0000 は使用できません。0000 は消去用の暗証番号として使用されます。
・暗証番号を間違えた場合は正しい番号を上書きで入力してください。

【例】1234 と入力するとき

```
シンテン　バ゛ンゴ゛ウ：　　　　　　1
アンショウ　バ゛ンゴ゛ウ　　　　：1234
```

ここで登録した暗証番号は、親展文書をプリントするときや、親展ボックスを変更、消去するときに入力が必要です。
忘れないように控えておいてください。

10 〈セット〉を押し、終了します。

補 足

・操作を中止するときは、〈ストップ〉を押します。
・操作を中断してから 1 分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

親展ボックスを変更する

登録した暗証番号が一致しないときは変更できません。

1 「親展ボックスを登録する」の手順1〜4を行います。(→ 4-17 ページ)

2 ダイヤルキーで、暗証番号（4 桁）を入力します。

暗証番号が一致しない場合は変更できません。

3 〈セット〉を押します。

4 親展者名を変更する場合は、〈クリア〉で表示されている親展者名を消去し、新しい親展者名を入力します。

・親展者名を変更しない場合は、手順5に進みます。
・16 文字まで登録できます。
・文字入力については「文字入力のしかた(→5-3ページ)」を参照してください。

5 〈セット〉を押します。

6 暗証番号を変更する場合は、新しい暗証番号（4 桁）を上書き入力します。

・暗証番号を変更しない場合は、手順7に進みます。
・暗証番号に 0000 は使用できません。0000 は消去用の暗証番号として使用されます。
・暗証番号を間違えた場合は正しい番号を上書きで入力してください。
・変更した暗証番号は、親展文書をプリントするときや、親展ボックスを変更、消去するときに入力が必要です。忘れないように控えておいてください。

7 〈セット〉を押し、終了します。

親展ボックスを消去する

- 親展ボックスに親展受信文書が蓄積されている場合は消去できません。親展受信文書をプリントしてから操作してください。
- 登録した暗証番号が一致しないときは消去できません。

1 「親展ボックスを登録する」の手順 1 〜 4 を行います。(→ 4-17 ページ)

2 ダイヤルキーで、暗証番号(4 桁)を入力します。

・ 暗証番号が一致しない場合は消去できません。
・ 暗証番号を間違えた場合は正しい番号を上書きで入力してください。

3 〈セット〉を押します。

4 消去したい親展ボックスを確認し、もう一度〈セット〉を押します。

5 ダイヤルキーで、消去用の暗証番号(0000)を入力します。

```
シンテン バ゛ンコ゛ウ:          1
アンショウ バ゛ンコ゛ウ      :0000
```

6 〈セット〉を押し、消去します。

親展ボックスが消去され、待機画面に戻ります。

補 足

・ 操作を中止するときは、〈ストップ〉を押します。
・ 操作を中断してから 1 分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

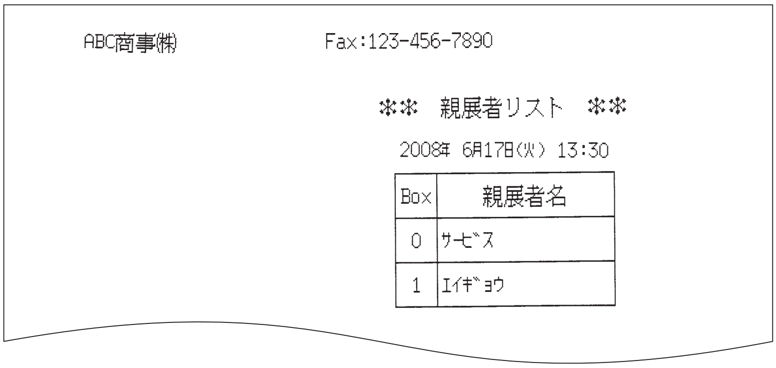
親展者リストをプリントする

登録した親展者名をプリントして、親展通信を送信してこられる関係先へ配布しておいてください。

1 〈機能〉、ワンタッチキー〈E〉、ダイヤルキー〈2〉を押します。

```
Ｅ２　シンテンシャ　リスト
　　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 〈セット〉を押します。


ABC商事㈱　　　　Fax:123-456-7890

＊＊　親展者リスト　＊＊

2008年 6月17日(火) 13:30

Box	親展者名
0	ｻｰﾋﾞｽ
1	ｴｲｷﾞｮｳ

親展文書の記憶期間を設定する　　　初期設定：1 日

親展ボックスに受信した親展文書を記憶しておく期間（日）を、1 ～ 31 日の間で設定します。休日や出張などのために内容を長期保存しておく必要がある場合に便利です。

1 **〈機能〉、ワンタッチキー〈E〉、ダイヤルキー〈4〉を押します。**

```
E４　シンテンシ゛ュシン　メモリーキカン
　　　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 **〈セット〉を押します。**

```
シンテンシ゛ュシン　メモリーキカン
メモリーキカン　　　（１－３１）：　　01
```

3 **ダイヤルキーで、記憶期間（01 ～ 31）を入力します。**

【例】30 日と入力するとき

```
シンテンシ゛ュシン　メモリーキカン
メモリーキカン　　　（１－３１）：　　30
```

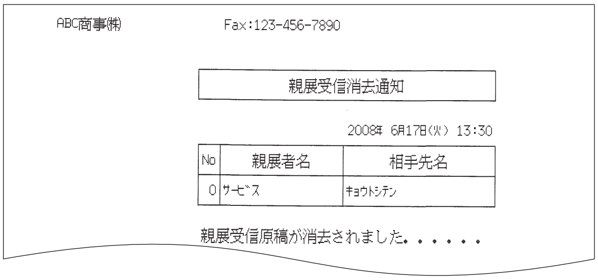
・1 桁の時は先頭に 0 を付けます。
・01 ～ 31 日を入力できます。
・間違えて入力した場合は正しい数字を上書きで入力してください。

4 **〈セット〉を押します。**

記憶期間が登録され、待機画面に戻ります。

■ 親展受信期間が過ぎた場合

親展受信記憶期間を過ぎると親展受信消去通知がプリントされます。


ABC商事㈱　　Fax:123-456-7890

親展受信消去通知

2008年 6月17日(火) 13:30

No	親展者名	相手先名
0	ｻｰﾋﾞｽ	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ

親展受信原稿が消去されました。.....

メモリーバックアップされなかった場合もプリントされます。

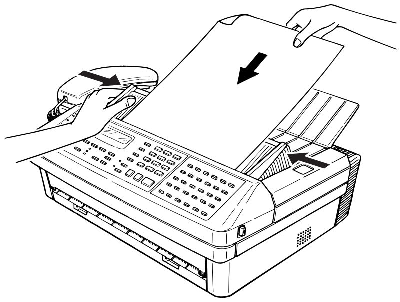
補足

・停電や電源スイッチを切るなどして長い時間電源が切れた状態が続くと、メモリー内の受信情報が消えてしまいます。（→ 6-25 ページ）
・一旦、受信した原稿のメモリー期間を延長することはできません。
・操作を中止するときは、〈ストップ〉を押します。
・操作を中断してから 1 分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

親展送信

- 親展送信は、相手機が当社の親展機能を持った機種の場合に使用できます。(一部、親展通信が不可能の機種があります。対応機種については、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。)
- あらかじめ相手の親展ボックス番号を確認しておきます。
- 〈スタート〉を押す前に、送信時刻を指定することができます。(→ 3-7 ページ)

1 送信する面を下に向け原稿をセットします。



2 〈応用通信〉を 2 回押します。

2. シンテン　ソウシン 　　　　　　　オウヨウツウシン／セット

3 〈セット〉を押します。

4 ダイヤルキーで、親展番号（1 桁）を入力します。

【例】親展番号 8 を入力したとき

シンテン　ソウシン シンテン　バ゛ンゴ゛ウ：　　　　8■

5 〈セット〉を押します。

6 相手のファクス番号を入力します。

スタートキー　ヲ　ド゛ウゾ゛ １２３－４５６７■

・ハイフン、ポーズなどのダイヤル記号を入力できます。(→ 2-17 ページ)
・ダイヤルキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループが使用できます。
・〈同報〉で区切ることにより最大 240 宛先まで指定できます。(ダイヤルキー入力による指定は 20 宛先までです。)
・〈応用通信〉を押して「ジコクシテイ ツウシン」を登録することで、送信時刻を指定することができます。(→ 3-7 ページ)

7 〈スタート〉を押します。

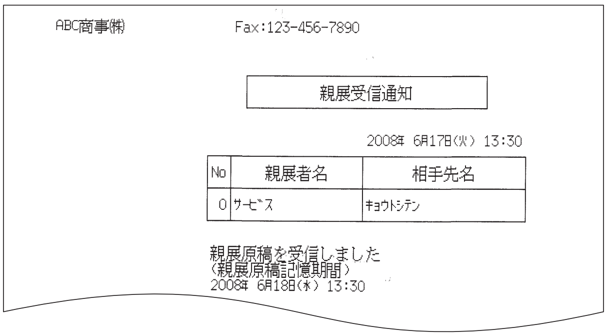
原稿の読み取りが始まります。

補足

- 操作を中止するとき、読み取りを中止するときは〈ストップ〉を押してください。
- 番号を間違えて入力したときは〈クリア〉を押して訂正してください。
- 原稿読み取り後は、〈ファクス中止 / 確認〉で消去、確認できます。(→ 2-19 ページ)
- 操作を中断してから 1 分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

親展受信

- 親展受信したときは、まず親展受信通知がプリントされます。親展受信通知に記載されている期間までに、親展受信した原稿をプリントしてください。プリントしなかった場合は自動的に消去されますので、ご注意ください。
- 親展受信は、相手機が当社の親展機能を持った機種の場合にのみ使用できます。(一部、親展通信が不可能の機種があります。対応機種については、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。)
- あらかじめ親展ボックスの登録が必要です。(→ 4-17 ページ)
- 親展受信文書をプリント後、文書は自動的にメモリーから消去されます。


ABC商事㈱　　Fax:123-456-7890

親展受信通知

2008年 6月17日(火) 13:30

No	親展者名	相手先名
0	ｻｰﾋﾞｽ	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ

親展原稿を受信しました
〈親展原稿記憶期間〉
2008年 6月18日(水) 13:30

1 〈機能〉、ワンタッチキー〈E〉、ダイヤルキー〈3〉を押します。

```
E３　シンテンジ゛ュシン　フ゜リント
　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 〈セット〉を押します。

3 ダイヤルキーで、親展ボックス番号（0～9）を入力します。

```
シンテンジ゛ュシン　フ゜リント
シンテン　バ゛ンゴ゛ウ：　　　　　１■
```

番号を間違えて入力したときは〈クリア〉を押して正しい番号を入力してください。

4 〈セット〉を押します。

5 **ダイヤルキーで、暗証番号（4 桁）を入力します。**

【例】暗証番号 1234 を入力したとき

シンテンジ゛ュシン　プ゜リント アンショウ　バ゛ンゴ゛ウ　：1 2 3 4

6 **〈セット〉を押します。**

親展受信文書がプリントされ、待機画面に戻ります。

暗証番号が間違っていると、「バンゴウ　ガ　チガイマス」と表示されます。
操作をやり直してください。

補 足

・ 操作を中止するときは、〈ストップ〉を押します。
・ 操作を中断してから 1 分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

操作を保護する（オペレーションプロテクト）

プロテクトコードを知らない人に対し、操作や各種設定を禁止します。

● あらかじめプロテクトコードを設定してください。（→ 5-29 ページ）

1 **〈機能〉、ワンタッチキー〈J〉、ダイヤルキー〈1〉、〈3〉を押します。**

```
Ｊ１３　オヘ゜レーション　フ゜ロテクト
　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 **〈セット〉を押します。**

プロテクトコードが登録されていないと「プロテクトコード ミトウロクデス」と表示されます。

3 **ダイヤルキーでプロテクトコード（4 桁）を入力します。**

【例】「1234」と入力した場合

```
オヘ゜レーション　フ゜ロテクト　セット
フ゜ロテクトコート゛　　　　　：１２３４
```

4 **〈セット〉を押します。**

プロテクトコードが間違っていると「プロテクトコード　ガ　チガイマス」と表示されます。

5 **〈機能〉で OFF または ON を選択します。**

```
オヘ゜レーション　フ゜ロテクト：ＯＦＦ
　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

▼

```
オヘ゜レーション　フ゜ロテクト：ＯＮ
　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

6 **〈セット〉を押します。**

オペレーションプロテクトが設定されます。

補 足

オペレーションプロテクトを ON に設定すると、本商品に登録されているプロテクトコードを入力しないと操作できないようになります。

第 5 章

登録 / 設定編

文字入力

ファクス機能に関する設定

文字入力のしかた

● 発信元セットやワンタッチ、短縮ダイヤルを登録するときなど、文字を入力するときに参照してください。
● 文字や記号はともに 1 文字ずつ入力します。
● カタカナ、アルファベット、数字、 #、 *、記号は半角文字で入力されます。
● ひらがなや漢字などの全角文字は、漢字コードで入力します。

漢字・全角文字を入力する

● 漢字やひらがななど全角の文字を入力できます。
● 漢字やひらがなは、発信元名の登録とメッセージの登録にのみ利用できます。

1 **操作の前に文字のコードを確認します。**
「全角文字・記号コード一覧」を参照し、全角文字コードを確認します。
(→ 7-3 ページ)

2 **漢字コード入力に切り替えます。**
ワンタッチキー〈P3 日本語〉を押し、「カンジ コード」に切り替えます。

```
ハッシンモト　メイ　　　：カンシ゛　コート゛
■
```

3 **コードを 4 桁で入力します。**

```
ハッシンモト　メイ　　　：カンシ゛　コート゛
［３４５■］
```

4 **コードが正しいときは漢字コードがカッコで囲まれます。**
【例】「関西」と入力したとき

```
ハッシンモト　メイ　　　：カンシ゛　コート゛
（３４５８）（４０３Ｅ）■
```

5 **〈セット〉を押します。**

カタカナ（半角）を入力する

全角のカタカナの入力方法は「漢字・全角文字を入力する」を参照してください。
（→ 5-3 ページ）

1 日本語に切り替えます。

ワンタッチキー〈P3 日本語〉を押し、「カタカナ」に切り替えます。

```
ハッシンモト　メイ　　　：カタカナ
■
```

2 入力したい文字をローマ字変換で入力します。

ローマ字変換表を参照してください。（→ 7-11 ページ）
【例】「ブ」と入力するとき

```
ハッシンモト　メイ　　　：カタカナ
フ゛■
```

3 小文字を入力するときは、入力する文字の先頭に「L」をつけて入力します。

【例】「ッ」と入力するときは、「L T U」と入力します。

```
ハッシンモト　メイ　　　：カタカナ
フ゛ロッ■
```

アルファベット（半角）を入力する

全角のアルファベットの入力方法は「漢字・全角文字を入力する」を参照してください。
（→ 5-3 ページ）

1 アルファベットに切り替えます。

ワンタッチキー〈P4 アルファベット〉を押します。

```
ハッシンモト　メイ　：エイスウ　タ゛イ
■
```

もう一度〈P4 アルファベット〉を押すと、大文字 / 小文字が切り替わります。

2 文字を入力します。

入力したいアルファベットのワンタッチキーを押します。
【例】A を入力するとき

```
ハッシンモト　メイ　：エイスウ　タ゛イ
A■
```

数字、#、＊（半角）を入力する

全角の数字や＃、＊の入力方法は「漢字・全角文字を入力する」を参照してください。(→ 5-3 ページ)

1 **ダイヤルキーで直接入力します。**

【例】5 を入力するとき

```
ハッシンモト　メイ　　　：カタカナ
5■
```

記号（半角）を入力する

全角の記号の入力方法は「漢字・全角文字を入力する」を参照してください。(→ 5-3 ページ)

1 **記号に切り替えます。**

ワンタッチキー〈P5 記号 / コード〉を押します。

```
ハッシンモト　メイ　　　：キゴ゛ウ
■
```

2 **入力したい記号のワンタッチキーを押します。**

【例】＋を入力するとき

```
ハッシンモト　メイ　　　：キゴ゛ウ
＋■
```

コード（半角）で入力する

全角のコードの入力方法は「漢字・全角文字を入力する」を参照してください。(→ 5-3 ページ)

1 **操作の前に文字のコードを確認します。**

「半角文字・記号コード一覧」を参照し、半角文字・記号コードを確認します。(→ 7-2 ページ)

2 **コード入力に切り替えます。**

ワンタッチキー〈P5 記号 / コード〉を 2 回押します。

```
ハッシンモト　メイ　　　：コート゛
■
```

3 **コードを 2 桁で入力します。**

【例】「¥」を入力するとき

```
ハッシンモト　メイ　　　：コート゛
¥■
```

電話帳から入力する

- 文字入力のとき、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルにセットした相手先名を、本商品の電話帳から検索して入力することができます。
- 同じ文字を何度も登録するときに便利です。

1 **文字登録のときに、〈短縮 / 電話帳〉を押します。**

【例】ワンタッチダイヤルの登録時

```
ハッシンモト　メイ　　　：［ア］
アキタシテン　　　　　　　　　：［０１］
```

2 **ダイヤルキーで、入力したい相手先名を検索し、表示させます。**

```
ハッシンモト　メイ　　　：［ア］
アキタシテン　　　　　　　　　：［０１］
```

▼

```
ハッシンモト　メイ　　　：［カ］
カイカ゛イキ゛ョウム　　　　　：［０１］
```

・相手先名の右側には、この相手先名が登録されているワンタッチ番号・短縮番号が表示されます。
・検索方法については、2-11ページの補足を参照してください。

3 **〈セット〉を押します。**

```
ハッシンモト　メイ　　　：カタカナ
カイカ゛イキ゛ョウム■
```

検索した文字を修正したいときは〈クリア〉を押して不要な文字を消去し、入力し直してください。

```
ハッシンモト　メイ　　　：カタカナ
カイカ゛イエイキ゛ョウム■
```

文字を削除する

■ 文字を削除するには

1 〈◀〉、〈▶〉を押し、削除したい文字にカーソルを移動します。

```
ハッシンモト　メイ　　　：カタカナ
（３４５８）（４０３Ｅ）フ゛ロック■
```

漢字コードへの移動のとき、カーソルは先頭のカッコに移動します。

2 〈クリア〉を押します。

```
ハッシンモト　メイ　　　：カタカナ
（３４５８）フ゛ロック
```

漢字コードの削除は、４桁のコード全体が削除されます。

■ 直前に入力した文字を削除するには

```
ハッシンモト　メイ　　　：カタカナ
（３４５８）（４０３Ｅ）フ゛ロック■
```

1 〈クリア〉を押します。

```
ハッシンモト　メイ　　　：カタカナ
（３４５８）（４０３Ｅ）フ゛ロッ■
```

直前に入力された文字が削除されます。

文字を挿入する

1 〈◀〉、〈▶〉を押し、挿入したい場所の次の文字にカーソルを移動します。

```
ハッシンモト　メイ　　　：カタカナ
（３４５８）（４０３Ｅ）フ゛ツク
```

漢字コードへの移動のとき、カーソルは先頭のカッコに移動します。

2 文字を入力します。

ワンタッチキーで挿入したい文字を入力します。

```
ハッシンモト　メイ　　　：カタカナ
（３４５８）（４０３Ｅ）フ゛ロツク
```

文字が挿入されます。

文字入力例「関西ブロック」と入力するには

1 **操作の前に「関」「西」の文字コードを確認しておきます。**

7-4 ページを参照し、「関」が文字コード「3458」、「西」が文字コード「403E」であることを確認しておきます。

2 **漢字コード入力に切り替えます。**

ワンタッチキー〈P3 日本語〉を押します。

```
ハッシンモト　メイ　　　：カンシ゛コート゛
■
```

3 **「関」の文字コードを入力します。**

```
ハッシンモト　メイ　　　：カンシ゛コート゛
（３４５８）■
```

コードが間違っている場合は「ピピピピッ」とアラームが鳴ります。

4 **続けて「西」の文字コードを入力します。**

```
ハッシンモト　メイ　　　：カンシ゛コート゛
（３４５８）（４０３Ｅ）■
```

5 **カタカナ入力に切り替えます。**

ワンタッチキー〈P3 日本語〉をもう一度押します。

```
ハッシンモト　メイ　　　：カタカナ
（３４５８）（４０３Ｅ）■
```

6 **「ブ」をローマ字で「BU」と入力します。**

ワンタッチキーの〈02 B〉と〈21 U〉を押します。

```
ハッシンモト　メイ　　　：カタカナ
（３４５８）（４０３Ｅ）フ゛■
```

7 **「ロ」をローマ字で「RO」と入力します。**

ワンタッチキーの〈18 R〉と〈15 O〉を押します。

```
ハッシンモト　メイ　　　：カタカナ
（３４５８）（４０３Ｅ）フ゛ロ■
```

8 **「ック」をローマ字で「KKU」と入力します。**

```
ハッシンモト　メイ　　　：カタカナ
（３４５８）（４０３Ｅ）フ゛ロック■
```

「ッ」と「ク」に分けても入力できます。「ッ」は「LTU」と入力します。

ワンタッチダイヤルを登録 / 変更する

よく通信する相手を､24 か所までワンタッチキーに登録することができます。ワンタッチダイヤルには、相手のファクス番号や相手先名のほかに、転送番号やグループ番号も登録しておくことができます。

- ダイヤル番号　：40 桁まで登録できます。
- 相手先名　：半角 24 文字まで登録できます。
- 転送番号　：設定回数のリダイヤル（→ 5-32 ページ）を行っても、相手ファクスが通信中などで送信できないときに、別のファクス番号へ送信します。転送番号はワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルを合わせ、10 カ所まで登録できます。
- グループ番号　：多数の相手に送信するときに、グループ単位でダイヤルすることができます。

お願い

・間違い電話や誤送信を防ぐために、ダイヤル番号を登録する際は番号間違いのないよう液晶ディスプレイ表示を見ながら正確に行ってください。また、登録後はワンタッチダイヤルリスト（→ 5-12 ページ）で正しく登録されていることを確認してください。
・本商品に一般電話の電話番号を誤って登録しますと、自動リダイヤル機能により、相手を何度も呼び出し大変ご迷惑をおかけすることになりますのでご注意ください。

登録 / 変更する

登録内容を変更する場合は｢登録 / 変更する｣の手順の中で、変更したい箇所を表示させ、〈クリア〉で消去してから新しく入力してください。

1 **〈機能〉、〈セット〉を押します。**

```
A1　ワンタッチダ゛イヤル　セット
　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 **〈セット〉を押します。**

3 **登録したいワンタッチキーを押します。**

・〈◀〉、〈▶〉を押してワンタッチキーを選択することもできます。
・ 登録できるワンタッチキーは 01 ～ 24 です。

4 **〈セット〉を押します。**

```
10：ダ゛イヤル　バ゛ンゴ゛ウ
■
```

すでに登録されている番号を変更する場合は、〈クリア〉を押して、表示されている番号を消去し、新しい番号を入力してください。

5 ダイヤルキーで相手のダイヤル番号を入力します。（最大 40 桁）

・ ポーズ、ハイフンなどのダイヤル記号も入力できます。（→ 2-17 ページ）
・ 番号を間違えて入力したときは、〈クリア〉を押して正しい番号を入力してください。

```
10：ダ゛イヤル　バ゛ンゴ゛ウ
123−456−7890■
```

6 〈セット〉を押します。

7 ダイヤルキーで転送番号を入力します。（最大 40 桁）

転送番号を入力しないときは、〈セット〉を押して手順 9 へ進みます。

```
10：テンソウ　バ゛ンゴ゛ウ
987−654−3210■
```

8 〈セット〉を押します。

9 相手先名を入力します。

・半角 24 文字まで登録できます。
・文字入力については「文字入力のしかた(→5-3ページ)」を参照してください。漢字・全角文字は登録できません。

```
10：アイテサキメイ　：カタカナ
キョウトシテン■
```

10 〈セット〉を押します。

11 ダイヤルキーでグループ番号を入力します。

・グループ番号を入力しないときは、〈セット〉を押して手順 13 へ進みます。
・グループ番号は 1 から 32 までです。0 を入力すると全てのグループを指定することができます。
・複数のグループ番号を入力するときは、〈グループ〉を押します。
・グループ番号は 32 カ所まで登録できます。

```
10：ク゛ループ゜　バ゛ンゴ゛ウ
1，2■
```

12 〈セット〉を押します。

```
ワンタッチキー　ヲ　エランデ゛クダ゛サイ
11：セット　サレテイマセン
```

次のワンタッチ番号の登録に移ります。

13 続けてワンタッチダイヤルを登録するときは、手順 3 から操作を繰り返します。終了するときは、〈ストップ〉を押します。

補 足

・プログラムワンタッチキー（P1 ～ P5）をワンタッチダイヤルとして使用する場合は、5-23ページの補足を参照してください。
・操作を中止するときは、〈ストップ〉を押します。
・操作を中断してから 1 分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。
・番号を間違えて入力したときは、〈クリア〉を押して訂正してください。

消去する

1 **〈機能〉、ダイヤルキー〈2〉を押します。**

```
Ａ２　ワンタッチダ゛イヤル　クリア
　　　　　　　　　キノウ／クリア
```

2 **〈セット〉を押します。**

3 **消去したいワンタッチキーを押します。**

〈◀〉、〈▶〉を押してワンタッチキーを選択することもできます。

```
ワンタッチキー　ヲ　エランデ゛クダ゛サイ
０９：０６－１１１－４４４４
```

4 **〈セット〉を押します。**

```
ワンタッチダ゛イヤル　クリア
カクニン　　　　　　キノウ／セット
```

5 **消去してよければ、もう一度〈セット〉を押します。**

・消去を中止するときは、〈機能〉を押します。
・続けて消去を行うときは、手順 3 から操作を繰り返します。

6 **終了するときは、〈ストップ〉を押します。**

ワンタッチダイヤルリストをプリントする

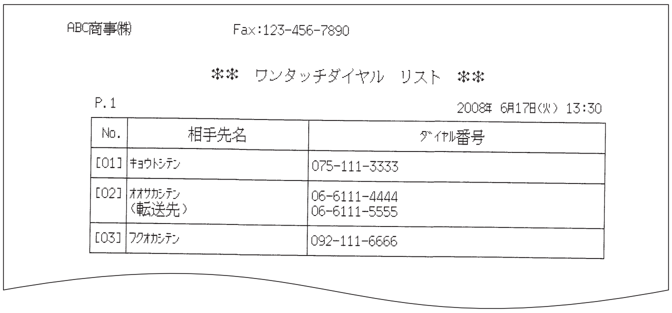
1 **〈機能〉、ダイヤルキー〈3〉を押します。**

```
Ａ３　ワンタッチタ゛　イヤル　リスト
　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 **〈セット〉を押します。**

ワンタッチダイヤルリストがプリントされます。

プリント例



ABC商事(株)　　Fax:123-456-7890

＊＊　ワンタッチダイヤル　リスト　＊＊

P.1　　2008年 6月17日(火) 13:30

No.	相手先名	ﾀﾞｲﾔﾙ番号
[01]	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ	075-111-3333
[02]	ｵｵｻｶｼﾃﾝ (転送先)	06-6111-4444 06-6111-5555
[03]	ﾌｸｵｶｼﾃﾝ	092-111-6666

短縮ダイヤルを登録 / 変更する

よく通信する相手を、196 カ所まで短縮ダイヤルに登録することができます。短縮ダイヤルには、相手のファクス番号や相手先名のほかに、転送番号やグループ番号も登録しておくことができます。

- ダイヤル番号　：40 桁まで登録できます。
- 相手先名　：半角 24 文字まで登録できます。
- 転送番号　：設定回数のリダイヤル（→ 5-32 ページ）を行っても、相手ファクスが通信中等で送信できないときに、別のファクス番号へ送信します。転送番号はワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルを合わせ、10 カ所まで登録できます。
- グループ番号　：多数の相手に送信するときに、グループ単位でダイヤルすることができます。

お願い

・間違い電話や誤送信を防ぐために、ダイヤル番号を登録する際は番号間違いのないよう液晶ディスプレイ表示を見ながら正確に行ってください。また、登録後は短縮ダイヤルリスト（→ 5-15 ページ）で正しく登録されていることを確認してください。
・本商品に一般電話の電話番号を誤って登録しますと、自動リダイヤル機能により、相手を何度も呼び出し大変ご迷惑をおかけすることになりますのでご注意ください。

登録 / 変更する

登録内容を変更する場合は「登録 / 変更する」の手順の中で、変更したい箇所を表示させ、〈クリア〉で消去してから新しく入力してください。

1 〈機能〉、ワンタッチキー〈B〉、〈セット〉を押します。

```
Ｂ１　タンシュクダ゛イヤル　セット
　　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 〈セット〉を押します。

3 登録したい短縮番号 3 桁をダイヤルキーで入力します。

・〈◀〉、〈▶〉を押して短縮番号を選択することもできます。
・登録できる短縮番号は 001 ～ 196 です。
・すでに短縮ダイヤルが登録されている場合には、相手のダイヤル番号が表示されます。

4 〈セット〉を押します。

```
００７：ダ゛イヤル　ハ゛ンゴ゛ウ
■
```

すでに登録されている番号を変更する場合は、〈クリア〉を押して表示されている番号を消去し、新しい番号を入力してください。

5 ダイヤルキーで相手のダイヤル番号を入力します。（最大 40 桁）

・ポーズ、ハイフンなどのダイヤル記号も入力できます。（→ 2-17 ページ）
・番号を間違えて入力したときは、〈クリア〉を押して正しい番号を入力してください。

```
００７：ダ゛イヤル　バ゛ンゴ゛ウ
１２３－４５６－７８９０■
```

6 〈セット〉を押します。

7 ダイヤルキーで転送番号を入力します。（最大 40 桁）

転送番号を入力しないときは、〈セット〉を押して手順 9 へ進みます。

```
００７：テンソウ　バ゛ンゴ゛ウ
９８７－６５４－３２１０■
```

8 〈セット〉を押します。

9 相手先名を入力します。

・半角 24 文字まで登録できます。
・文字入力については「文字入力のしかた（→5-3ページ）」を参照してください。
・漢字・全角文字は登録できません。

```
００７：アイテサキメイ：カタカナ
オオサカシテン■
```

10 〈セット〉を押します。

11 ダイヤルキーでグループ番号を入力します。

・グループ番号を入力しないときは〈セット〉を押して手順 13 へ進みます。
・グループ番号は 1 から 32 までです。0 を入力すると全てのグループを指定することができます。
・複数のグループ番号を入力するときは、〈グループ〉を押します。
・グループ番号は 32 カ所まで登録できます。

```
００７：グ゛ループ゜　バ゛ンゴ゛ウ
１，２■
```

12 〈セット〉を押します。

```
タンシュク　バ゛ンゴ゛ウ　ヲ　ト゛ウソ゛
００８：セット　サレテイマセン
```

次の短縮ダイヤルの登録に移ります。

13 続けて短縮ダイヤルを登録するときは、手順 3 から操作を繰り返します。終了するときは、〈ストップ〉を押します。

補 足

- 操作を中止するときは、〈ストップ〉を押します。
- 操作を中断してから 1 分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。
- 番号を間違えて入力したときは、〈クリア〉を押して訂正してください。

消去する

1 **〈機能〉、ワンタッチキー〈B〉、ダイヤルキー〈2〉を押します。**

```
Ｂ２　タンシュクダ゛イヤル　クリア
　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 **〈セット〉を押します。**

3 **消去したい短縮番号 3 桁をダイヤルキーで入力します。**

〈◀〉、〈▶〉を押して短縮番号を選択することもできます。

```
タンシュク　バ゛ンゴ゛ウ　ヲ　ド゛ウゾ゛
００２：０８９９－１１－１１３３
```

4 **〈セット〉を押します。**

5 **消去してよければ、もう一度〈セット〉を押します。**

- 消去を中止するときは、〈機能〉を押します。
- 続けて消去を行うときは、手順 3 から操作を繰り返します。

6 **終了するときは、〈ストップ〉を押します。**

短縮ダイヤルリストをプリントする

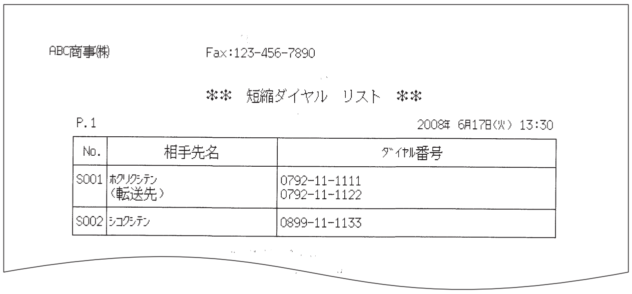
1 **〈機能〉、ワンタッチキー〈B〉、ダイヤルキー〈3〉を押します。**

```
Ｂ３　タンシュクダ゛イヤル　リスト
　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 **〈セット〉を押します。**

短縮ダイヤルリストがプリントされます。

プリント例



ABC商事㈱　　Fax:123-456-7890

＊＊　短縮ダイヤル　リスト　＊＊

P.1　　2008年 6月17日(火) 13:30

No.	相手先名	ﾀﾞｲﾔﾙ番号
S001	ﾎｸﾘｸｼﾃﾝ （転送先）	0792-11-1111 0792-11-1122
S002	ｼｺｸｼﾃﾝ	0899-11-1133

5

登録／設定編

グループリストをプリントする

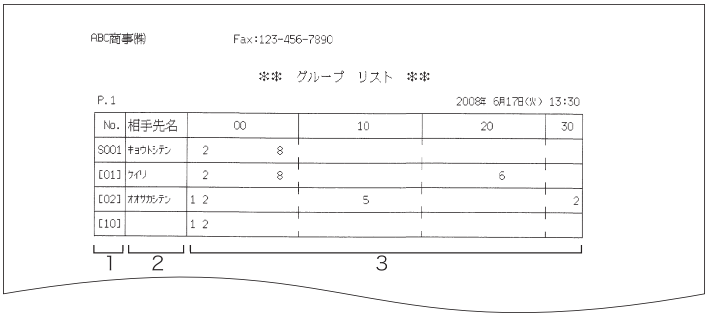
ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録したグループ番号の一覧をプリントできます。

1 **〈機能〉、ワンタッチキー〈H〉を押します。**

H　グ゛ループ゜　リスト キノウ／セット

2 **〈セット〉を押します。**

グループリストがプリントされます。


ABC商事(株)　Fax:123-456-7890

＊＊　グループ　リスト　＊＊

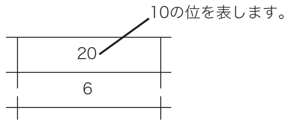
P.1　2008年 6月17日(火) 13:30

No.	相手先名	00	10	20	30
S001	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ	2　8			
[01]	ｹｲﾘ	2　8		6	
[02]	ｵｵｻｶｼﾃﾝ	1 2	5		2
[10]		1 2			

1. No.
   ワンタッチキー番号や、短縮番号です。

2. 相手先名
   ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録されている相手先名です。

3. グループ番号
   登録されているグループ番号です。



【例】グループ番号26

プログラムワンタッチを登録 / 変更する

- 定型操作をプログラムワンタッチに登録しておくと、登録したキーと〈スタート〉を押すだけで、登録した操作を行うことができます。
- プログラムワンタッチに使用できるワンタッチキーは P1 〜 P5 の 5 個です。
- 登録できる内容は以下の通りです。

・通信メニュー：時刻指定、親展送信、中継指示送信、ポーリング、一括送信、F コード送信、F コードポーリングが登録できます。時刻指定は他の 5 つの通信メニュー（親展送信、中継指示送信、ポーリング、F コード送信、F コードポーリング）と組み合わせて登録できます。

時刻指定、親展送信、中継指示送信、一括送信、F コード送信を登録するときは、同時に次の設定を個別設定として登録できます。

画質選択	濃度選択	メモリー送信	済スタンプ	通信証

・リストメニュー：登録したキーと〈スタート〉を押すだけで、リストをプリントすることができます。登録できるリストは以下のリストです。

ワンタッチダイヤルリスト	短縮ダイヤルリスト	プログラムワンタッチリスト
親展者リスト	通信予約リスト	通信管理レポート
通信日報プリント	グループリスト	機器設定リスト
ﾀﾞｲﾚｸﾄﾒｰﾙ防止ﾀﾞｲﾔﾙﾘｽﾄ	メッセージリスト	一括送信ボックスリスト
一括送信原稿リスト	F コードボックスリスト	F ｺｰﾄﾞﾎﾞｯｸｽ蓄積原稿ﾘｽﾄ
部門管理リスト	ﾅﾝﾊﾞｰ・ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲﾀﾞｲﾔﾙﾘｽﾄ	ﾅﾝﾊﾞｰ・ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ通信履歴
FAX ワープリスト		

・蓄積メニュー：ポーリング原稿と F コード原稿の蓄積操作が登録できます。

蓄積メニューを登録するときに、同時に次の設定を登録できます。

画質選択	濃度選択

通信メニューを登録 / 変更する

変更する場合は手順の中で、変更したい内容を上書きして保存してください。

1 〈機能〉、ワンタッチキー〈C〉、〈セット〉を押します。

```
C１　プ゜ログ゛ラムワンタッチ　セット
　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 〈セット〉を押します。

3 **登録したいワンタッチキーを押します。**

〈P2〉に登録するとき

```
ワンタッチキー　ヲ　エランデ゛クダ゛サイ
Ｐ２：セット　サレテイマセン
```

〈◀〉、〈▶〉を押してワンタッチキーを選択することもできます。

4 **〈セット〉を押します。**

5 **「ツウシン」が選択されていることを確認し、〈セット〉を押します。**

```
Ｐ２：ダ゛イヤル　バ゛ンゴ゛ウ
```

「ツウシン」が選択されていないときは、〈機能〉を押して選択します。

- 時刻指定を登録する場合は、手順 6 へ進みます。（→ 5-18 ページ）
- 親展送信を登録する場合は、手順 9 へ進みます。（→ 5-18 ページ）
- 中継指示送信を登録する場合は、手順 12 へ進みます。（→ 5-19 ページ）
- ポーリングを登録する場合は、手順 15 へ進みます。（→ 5-19 ページ）
- 一括送信を登録する場合は、手順 19 へ進みます。（→ 5-20 ページ）
- F コード送信を登録する場合は、手順 22 へ進みます。（→ 5-20 ページ）
- F コードポーリングを登録する場合は、手順 27 へ進みます。（→ 5-21 ページ）

■ 時刻指定を登録する

（時刻指定送信：→ 3-7 ページ）

時刻指定は他の 5 つの通信メニューと組み合わせて登録できます。

6 **〈応用通信〉で「ジコクシテイ　ツウシン」を選択し、〈セット〉を押します。**

```
ジ゛コクシテイ　ツウシン
ジ゛コクヲ　ド゛ウゾ゛　１7／１３：３０
```

7 **送信時刻（日 時 分）をダイヤルキーで入力します。**

【例】21 日　午後 2 時 30 分と入力したとき

```
ジ゛コクシテイツウシン
ジ゛コクヲ　ド゛ウゾ゛　２１／１４：３0
```

- 1 桁のときは先頭に 0 を付けます。
- 日付けを指定しないときは、「00」を入力します。

8 **〈セット〉を押します。**

→手順 32 へ進みダイヤル番号を登録します。（→ 5-21 ページ）

■ 親展送信を登録する

（親展送信：→ 4-23 ページ）

9 **〈応用通信〉で「シンテン　ソウシン」を選択し、〈セット〉を押します。**

```
シンテン　ソウシン
シンテン　バ゛ンゴ゛ウ：　　　　■
```

10 **ダイヤルキーで相手の親展ボックス番号（1 桁）を入力します。**

【例】親展ボックス番号の 1 を入力したとき

```
シンテン　ソウシン
シンテン　バ゛ンゴ゛ウ：　　　　　　1■
```

11 **〈セット〉を押します。**

→手順 32 へ進みダイヤル番号を登録します。（→ 5-21 ページ）

・ 時刻指定を組み合わせるときには、「時刻指定を登録する」へ（→ 5-18 ページ）進みます。

■ 中継指示送信を登録する

（中継指示送信：→ 3-18 ページ）

12 **〈応用通信〉で「チュウケイシジ　ソウシン」を選択し、〈セット〉を押します。**

```
チュウケイシジ゛　ソウシン
ク゛ループ゜　バ゛ンゴ゛ウ：　■
```

13 **ダイヤルキーで中継機に登録されているグループ番号（0 ～ 32）を入力します。**

```
チュウケイシジ゛　ソウシン
ク゛ループ゜　バ゛ンゴ゛ウ：　1，２2■
```

・グループ番号 0 を入力すると、全てのグループ（1-32）を指定することができます。

・複数の番号を入力するときは、〈グループ〉を押して間にコンマ（, ）を入れます。

・グループ番号は 10 カ所まで入力できます。

14 **〈セット〉を押します。**

→手順 32 へ進みダイヤル番号を登録します。（→ 5-21 ページ）

・ 時刻指定を組み合わせるときには、「時刻指定を登録する」へ（→ 5-18 ページ）進みます。

■ ポーリングを登録する

（ポーリング：→ 3-34 ページ）

15 **〈応用通信〉で「ポーリング」を選択し、〈セット〉を押します。**

```
ホ゜ーリング゛
ファイル　バ゛ンゴ゛ウ：■
```

16 **検索ポーリングのときはファイル番号（0 ～ 9999）を入力します。**

通常ポーリングのときはファイル番号を入力せずに、手順 18 に進みます。

17 続けてファイル番号を入力するときは、〈応用通信〉を押してファイル番号を入力します。

```
ポ゜ーリング゛
ファイル　バ゛ンゴ゛ウ：1，２２２２■
```

18 〈セット〉を押します。

→手順 32 へ進みダイヤル番号を登録します。（→ 5-21 ページ）

・ 時刻指定を組み合わせるときには、「時刻指定を登録する」へ（→ 5-18 ページ）進みます。

■ 一括送信を登録する

（一括送信：→ 3-9 ページ）

あらかじめ一括送信ボックスの登録が必要です。

19 〈応用通信〉で「イッカツ　ソウシン」を選択し、〈セット〉を押します。

```
イッカツ　ソウシン
ボ゛ックス　バ゛ンゴ゛ウ：　　　　　■
```

20 ダイヤルキーで一括送信ボックス番号（1 ～ 5）を入力します。

```
イッカツ　ソウシン
ボ゛ックス　バ゛ンゴ゛ウ：　　　　　1■
```

21 〈セット〉を押します。

→手順 34 へ進み個別設定を登録します。（→ 5-22 ページ）

■ F コード送信を登録する

（F コード送信：→ 3-46 ページ）

22 〈応用通信〉で「F コード　ソウシン」を選択し、〈セット〉を押します。

```
サブ゛アド゛レス　ヲ　ド゛ウゾ゛
■
```

23 使用する機能のサブアドレス番号を入力します。

サブアドレスは数字のみ 20 桁まで登録できます。

```
サブ゛アド゛レス　ヲ　ド゛ウゾ゛
123456789■
```

24 〈セット〉を押します。

25 **パスワードを入力します。**

・パスワードは 20 桁以内の数字、＊、＃が使用できます。
・パスワードが必要ないときは、手順 26 に進みます。

```
パ゜スワード゛  ヲ ト゛ウゾ゛
＃＃0101＃＃■
```

26 **〈セット〉を押します。**

→手順 32 へ進みダイヤル番号を登録します。(→ 5-21 ページ)
・ 時刻指定と組み合わせるときには、「時刻指定を登録する」へ(→ 5-18 ページ)進みます。

■ F コードポーリングを登録する

(F コードポーリング：→ 3-48 ページ)

27 **〈応用通信〉で「F コードポーリング」を選択し、〈セット〉を押します。**

```
サフ゛アト゛レス ヲ ト゛ウゾ゛
■
```

28 **使用する機能のサブアドレス番号を入力します。**

サブアドレスは数字のみ 20 桁まで登録できます。

```
サフ゛アト゛レス ヲ ト゛ウゾ゛
111222333■
```

29 **〈セット〉を押します。**

30 **パスワードを入力します。**

・パスワードは 20 桁以内の数字、＊、＃が使用できます。
・パスワードが必要ないときは、手順 31 に進みます。

```
パ゜スワード゛  ヲ ト゛ウゾ゛
＃＃222＃＃■
```

31 **〈セット〉を押します。**

→手順 32 へ進みダイヤル番号を登録します。(→ 5-21 ページ)
・ 時刻指定と組み合わせるときには、「時刻指定を登録する」へ(→ 5-18 ページ)進みます。

32 **ダイヤルキーで相手のダイヤル番号を入力します。(最大 40 桁)**

```
P2：ダ゛イヤル バ゛ンゴ゛ウ
123−456−7890■
```

・ポーズ、ハイフンなどのダイヤル記号を入力できます。(→ 2-17 ページ)
・ダイヤルキー、ワンタッチキー、短縮キー、グループダイヤルが使用できます。
・〈同報〉で区切ることにより最大 240 宛先まで指定できます。(ダイヤルキーによる指定は 20 宛先までです。)
・間違えて入力したときは、〈クリア〉を押して正しい番号を入力してください。

33 〈セット〉を押します。

ポーリング、F コードポーリングを登録したときは、この手順で終了です。続けてプログラムワンタッチを登録するときは、手順3から操作を繰り返します。終了するときは、〈ストップ〉を押します。

■ 個別設定

34 〈機能〉を押して、どの画質で送信するか選択します。

・〈機能〉を押すごとに「ヒョウジュン」→「コウガシツ」→「チョウコウガシツ」→「シャシン」の順に表示が変わります。
・“ ーーー ” を選択すると、原稿をセットしたときに選択されている画質で送信されます。

```
P２：　ガ゛シツ：　ーーー
　　　　　　　　キノウ／セット
```

35 〈セット〉を押します。

36 〈機能〉を押して、どの濃度で送信するか選択します。

・〈機能〉を押すごとに「ウスク」→「フツウ」→「コク」の順に表示が変わります。
・“ ーーー ” を選択すると、原稿をセットしたときに選択されている濃度で送信されます。

```
P２：　ノウド゛：　　　　ーーー
　　　　　　　　キノウ／セット
```

37 〈セット〉を押します。

38 〈機能〉を押して済スタンプを押すか（ON）、押さないか（OFF）選択します。

・“ ーーー ” を選択すると、原稿をセットしたときの〈済スタンプ〉の状態で動作します。

```
P２：　スミスタンプ゜：　ーーー
　　　　　　　　キノウ／セット
```

39 〈セット〉を押します。

・相手のダイヤル番号を複数登録したときや、複数の宛先が登録されているグループダイヤルを入力したときは、手順 42 へ進みます。
・一括送信を登録したときは、この手順で終了です。続けてプログラムワンタッチを登録するときは、手順 3 から操作を繰り返します。終了するときは、〈ストップ〉を押します。

40 **〈機能〉を押して、メモリー送信にするか（ON)、リアルタイム送信にするか（OFF）選択します。**

・ON …メモリー送信
・OFF…リアルタイム送信
・“ ——— ” を選択すると、原稿をセットしたときの〈メモリー送信〉の状態で送信します。

```
P２：　メモリーソウシン：　　　———
　　　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

41 **〈セット〉を押します。**

42 **〈機能〉を押して、通信証を発行するかどうか選択します。**

“ ——— ” を選択すると、原稿をセットしたときに選択されている通信証が発行されます。

```
P２：　ツウシンショウ：　———
　　　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

43 **〈セット〉を押します。**

```
ワンタッチキー　ヲ　エランデ゛クダ゛サイ
P３：セット　サレテイマセン
```

・続けてプログラムワンタッチを登録するときは、手順３から操作を繰り返します。
・終了するときは、〈ストップ〉を押します。

補 足

・別のメニューに変更するときは、変更したいプログラムワンタッチを消去してから、新しく登録し直してください。(→ 5-17 ページ)
・プログラムワンタッチをワンタッチダイヤルのように使用できます。
通信メニューの登録手順にて、手順６～31 を行わず、手順 32 に進むと、時刻指定通信の時刻指定無しとして登録されます。時刻指定通信で時刻の指定が無いときは、即発信するので、プログラムワンタッチがワンタッチダイヤルのように使用できます。
・番号を間違えて入力したときは、〈クリア〉を押して正しい番号を入力してください。
・操作を中止するときは、〈ストップ〉を押します。
・操作を中断してから１分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

リストメニューを登録 / 変更する

● リストメニューとして登録できるリストの一覧は、5-17ページを参照してください。
● 変更する場合は手順の中で、変更したい内容を上書きして保存してください。

1 **〈機能〉、ワンタッチキー〈C〉、〈セット〉を押します。**

```
C１　プ゜ログ゛ラムワンタッチ　セット
　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 **〈セット〉を押します。**

3 **登録したいワンタッチキーを押します。**

〈P2〉に登録するとき

```
ワンタッチキー　ヲ　エランデ゛クダ゛サイ
Ｐ２：セット　サレテイマセン
```

〈◀〉、〈▶〉を押してワンタッチキーを選択することもできます。

4 **〈セット〉を押します。**

5 **〈機能〉を押し、「リスト」を選択します。**

```
Ｐ２：　トウロク　ナイヨウ：　リスト
　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

6 **〈セット〉を押します。**

7 **〈機能〉を押し、登録するリストを選択します。**

```
Ｐ２：タンシュクダ゛イヤル　リスト
　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

登録できるリストの種類は、5-17ページを参照してください。

8 **〈セット〉を押します。**

・続けてプログラムワンタッチを登録するときは、手順３から操作を繰り返します。
・終了するときは、〈ストップ〉を押します。

補 足

・別のメニューに変更するときは、変更したいプログラムワンタッチを消去してから、新しく登録し直してください。(→ 5-17 ページ)
・操作を中止したいときは、〈ストップ〉を押します。
・操作を中断してから１分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

蓄積メニューを登録 / 変更する

変更する場合は手順の中で、変更したい内容を上書きして保存してください。

1 〈機能〉、ワンタッチキー〈C〉、〈セット〉を押します。

```
C１　フ゜ロク゛ラムワンタッチ　セット
　　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 〈セット〉を押します。

3 登録したいワンタッチキーを押します。

〈P2〉に登録するとき

```
ワンタッチキー　ヲ　エランテ゛クタ゛サイ
Ｐ２：セット　サレテイマセン
```

〈◀〉、〈▶〉を押してワンタッチキーを選択することもできます。

4 〈セット〉を押します。

5 〈機能〉を押し、「チクセキ」を選択します。

```
Ｐ２：　トウロク　ナイヨウ：　チクセキ
　　　　　　　　　キノウ／セット
```

6 〈セット〉を押します。

- ポーリング原稿蓄積を登録する場合は、手順 7 へ進みます。（→ 5-25 ページ）
- F コード原稿蓄積を登録する場合は、手順 11 へ進みます。（→ 5-26 ページ）

■ ポーリング原稿蓄積を登録する

（ポーリング原稿を蓄積する：→ 3-35 ページ）

7 〈機能〉を押し、「ポーリングゲンコウ　チクセキ」を選択します。

```
Ｐ２：ホ゜ーリンク゛ケ゛ンコウ　チクセキ
　　　　　　　　　キノウ／セット
```

8 〈セット〉を押します。

9 検索ポーリングのときはファイル番号（0 ～ 99）を入力します。

通常ポーリングのときはファイル番号を入力せずに、手順 10 に進みます。

```
ホ゜ーリンク゛　ケ゛ンコウ　チクセキ
ファイル　ハ゛ンコ゛ウ：　　■
```

10 〈セット〉を押します。

手順 17 へ進みます。（→ 5-26 ページ）

■ F コード原稿蓄積を登録する
（掲示板への原稿蓄積：→ 3-50 ページ）
あらかじめ F コードボックスに掲示板の登録が必要です。

11 〈機能〉を押し、「F コードゲンコウ　チクセキ」を選択します。

```
Ｐ２：Ｆコード゛ゲ゛ンコウ　チクセキ
　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

12 〈セット〉を押します。

13 ダイヤルキーで原稿を蓄積する、F コードボックス番号（掲示板ボックスの番号）を入力します。

```
ホ゛ックス　ヲ　エランテ゛クタ゛サイ
０４：シザ゛イブ゛レンラク
```

・掲示板ボックスに設定した F コードボックス番号を指定してください。（→ 3-41 ページ）
・〈◀〉、〈▶〉を押してボックス番号を選択することもできます。

14 〈セット〉を押します。

15 〈機能〉で原稿を上書きするか（ON）、追加するか（OFF）を選択します。

・ON …原稿上書き
・OFF…原稿追加

```
ゲ゛ンコウ　ウワカ゛キ　　　　：ＯＦＦ
　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

16 〈セット〉を押します。

17 〈機能〉を押して、どの画質で蓄積するか選択します。

・〈機能〉を押すごとに「ヒョウジュン」→「コウガシツ」→「チョウコウガシツ」→「シャシン」の順に表示が変わります。
・“ ––– ” を選択すると、原稿をセットしたときに選択されている画質で蓄積されます。

```
Ｐ２：　カ゛シツ：　–––
　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

18 〈セット〉を押します。

19 **〈機能〉を押して、どの濃度で蓄積するか選択します。**

・〈機能〉を押すごとに「ウスク」→「フツウ」→「コク」の順に表示が変わります。
・"ーーー"を選択すると、原稿をセットしたときに選択されている濃度で蓄積されます。

```
P2：　ノウド　：　　　　　　ーーー
　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

20 **〈セット〉を押します。**

・続けてプログラムワンタッチを登録するときは、手順3から操作を繰り返します。
・終了するときは、〈ストップ〉を押します。

補足

・別のメニューに変更するときは、変更したいプログラムワンタッチを消去してから、新しく登録し直してください。
・操作を中止したいときは、〈ストップ〉を押します。
・操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

消去する

1 **〈機能〉、ワンタッチキー〈C〉、ダイヤルキー〈2〉を押します。**

```
C2　プ゜ログ゛ラムワンタッチ　クリア
　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 **〈セット〉を押します。**

3 **消去したいワンタッチキーを押します。**

〈◀〉、〈▶〉を押してワンタッチキーを選択することもできます。

```
ワンタッチキー　ヲ　エランデ゛クダ゛サイ
P2：シンテン　ソウシン
```

4 **〈セット〉を押します。**

```
プ゜ログ゛ラムワンタッチ　クリア
カクニン　　　　　　キノウ／セット
```

5 **消去してよければ、もう一度〈セット〉を押します。**

・消去を中止するときは、〈機能〉を押します。
・続けて消去を行うときは、手順3から操作を繰り返します

6 **終了するときは、〈ストップ〉を押します。**

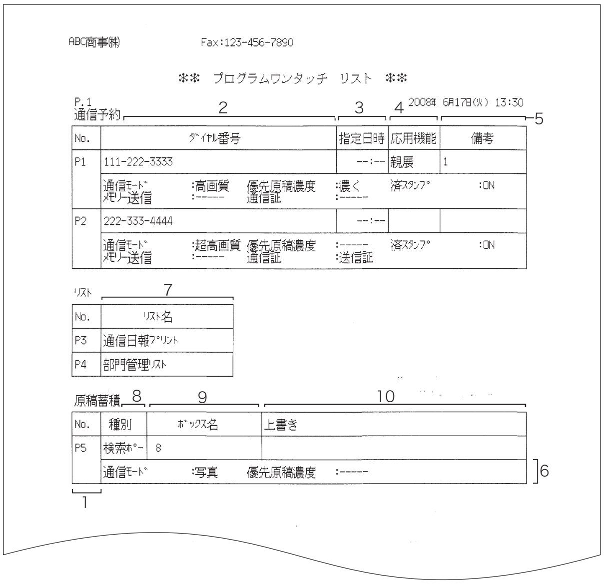
プログラムワンタッチリストをプリントする

1 **〈機能〉、ワンタッチキー〈C〉、ダイヤルキー〈3〉を押します。**

```
C３　プ゜ログ゛ラムワンタッチ　リスト
　　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 **〈セット〉を押します。**

プログラムワンタッチリストがプリントされます。


ABC商事㈱　　Fax:123-456-7890

＊＊　プログラムワンタッチ　リスト　＊＊

P.1　2008年 6月17日(火) 13:30

通信予約

No.	ﾀﾞｲﾔﾙ番号	指定日時	応用機能	備考
P1	111-222-3333	--:--	親展	1
	通信ﾓｰﾄﾞ :高画質 優先原稿濃度 :濃く 済ｽﾀﾝﾌﾟ :ON ﾒﾓﾘｰ送信 :----- 通信証 :-----			
P2	222-333-4444	--:--		
	通信ﾓｰﾄﾞ :超高画質 優先原稿濃度 :----- 済ｽﾀﾝﾌﾟ :ON ﾒﾓﾘｰ送信 :----- 通信証 :送信証			

ﾘｽﾄ

No.	ﾘｽﾄ名
P3	通信日報ﾌﾟﾘﾝﾄ
P4	部門管理ﾘｽﾄ

原稿蓄積

No.	種別	ﾎﾞｯｸｽ名	上書き
P5	検索ﾎﾟｰ	8	
	通信ﾓｰﾄﾞ :写真 優先原稿濃度 :-----		

1. No.
ワンタッチキー番号です。

2. ダイヤル番号
登録した相手の電話番号です。

3. 指定日時
登録した通信の日時です。

4. 応用機能
- 親　　展 ……親展送信です。
- 中　　継 ……中継指示送信です。
- ポーリング ……ポーリングです。
- 検索ポー ……検索ポーリングです。
- 一　　括 ……一括送信です。
- F コード ……F コード送信です。
- F ポー ………F コードポーリングです。

5. 備考
親展ボックス番号、中継同報先などです。

6. 通信設定
登録したときに設定した通信設定です。

7. リスト名
登録したリストです。

8. 種別
原稿蓄積の種別です。

9. ボックス名
F コードに登録したボックスの名前です。

10. 上書き
- ON …原稿蓄積時に上書きします。
- OFF…原稿蓄積時に上書きしません。

プロテクトコード

プロテクトコードは、セキュリティ機能＊（第４章）、部門管理設定（→ 3-65 ページ）の設定を行うときに必要な４桁の番号です。プロテクトコードは任意の番号を登録できます。登録後は番号を控え保管してください。

＊ダイレクトメール防止をのぞく

プロテクトコードを登録する

1 〈機能〉、ワンタッチキー〈J〉、ダイヤルキー〈1〉、〈2〉を押します。

```
J12　プ゜ロテクトコート゛　　セット
　　　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 〈セット〉を押します。

3 ダイヤルキーで「0000」を入力します。

```
プ゜ロテクトコート゛
Old　プ゜ロテクトコート゛　　:0000
```

4 〈セット〉を押します。

5 プロテクトコードを入力します。
ダイヤルキーでプロテクトコード（4 桁）を入力します。

```
プ゜ロテクトコート゛
New　プ゜ロテクトコート゛　　:1234
```

- プロテクトコードに 0000 は使用できません。0000 は消去用の番号として利用されます。
- プロテクトコードを間違えたときは正しい番号を上書きで入力してください。

6 〈セット〉を押します。
プロテクトコードが設定されます。

プロテクトコードを変更する

1 〈機能〉、ワンタッチキー〈J〉、ダイヤルキー〈1〉、〈2〉を押します。

```
J12 プ ロテクトコート゛ セット
              キノウ/セット
```

2 〈セット〉を押します。

3 ダイヤルキーで登録済みのプロテクトコードを入力します。

```
プ ロテクトコート゛
Old プ ロテクトコート゛ :1234
```

4 〈セット〉を押します。

5 ダイヤルキーでプロテクトコード（4 桁）を入力します。

```
プ ロテクトコート゛
New プ ロテクトコート゛ :7890
```

・プロテクトコードに 0000 は使用できません。0000 は消去用の番号として利用されます。
・プロテクトコードを間違えたときは正しい番号を上書きで入力してください。

6 〈セット〉を押します。

プロテクトコードが設定されます。

プロテクトコードを削除する

1 〈機能〉、ワンタッチキー〈J〉、ダイヤルキー〈1〉、〈2〉を押します。

```
J12 プ ロテクトコート゛ セット
              キノウ/セット
```

2 〈セット〉を押します。

3 ダイヤルキーで登録済みのプロテクトコードを入力します。

```
プ ロテクトコート゛
Old プ ロテクトコート゛ :1234
```

4 〈セット〉を押します。

5 ダイヤルキーで「0000」を入力します。

```
プ ロテクトコート゛
New プ ロテクトコート゛ :0000
```

6 〈セット〉を押します。

プロテクトコードが削除されます。

機器設定のしかた

本商品の管理機能や使い勝手をよくする機能が設定できます。また初期設定を変更しておくと、設定の手間が省けます。

設定例

それぞれの機能の設定方法は「機器設定一覧」の「設定方法」の欄に記載されています。
「J01. スキャナーパラメーター」を例に、設定方法の内容を詳しく説明します。

1 〈機能〉、ワンタッチキー〈J〉、〈セット〉を押します。

```
Ｊ０１　スキャナーパ゜ラメーター
　　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 〈セット〉を押します。

3 〈機能〉を押して目的の画質を選択します。

```
ユウセン　モジ゛：　　コウガ゛シツ
　　　　　　　　　キノウ／セット
```

ヒョウジュン ……… 普通の文字のとき
コウガシツ ………… 細かい文字のとき
チョウコウガシツ … 特に細かい文字のとき
シャシン …………… 写真のとき

4 〈セット〉を押します。

5 〈機能〉を押して目的の濃度を選択します。

```
ヨミトリ　ノウト゛　　　　：コク
　　　　　　　　　キノウ／セット
```

コク ……濃く読み取りたいとき（鉛筆書きや、薄い文字のときなど）
フツウ… 普通の原稿のとき
ウスク… 薄く読み取りたいとき

6 〈セット〉を押します。

7 〈機能〉を押して目的の読み取りサイズを選択します。

```
ヨミトリ　サイス゛　　　　：　　　Ａ４
　　　　　　　　　キノウ／セット
```

B4 … B4 幅まで読み取ります
A4 … A4 幅まで読み取ります

8 〈セット〉を押します。

補 足

・操作を中止したいときは、〈ストップ〉を押します。
・操作を中断してから 1 分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

機器設定一覧

初期設定とは、電源を入れたときや、〈ストップ〉を押して待機画面に戻したときの状態を言います。

番号	機能	設定値	機能説明	設定方法
1	スキャナーパラメーター	●画質 ヒョウジュン コウガシツ チョウコウガシツ シャシン ●濃度 コク フツウ ウスク ●読み取りサイズ B4 A4	画質、濃度、読み取り幅の初期値を決めます。	〈機能〉→ワンタッチキー〈J〉→〈セット〉→〈セット〉→〈機能〉で画質を選ぶ→〈セット〉→ 〈機能〉で濃度を選ぶ→〈セット〉→〈機能〉で読み取りサイズを選ぶ→〈セット〉
2	コピー禁止	ON OFF	コピー操作を禁止し、ファクシミリ操作のみに限定する機能です。	〈機能〉→ワンタッチキー〈J〉→〈0〉、〈2〉→〈セット〉→〈機能〉で設定値を選ぶ→〈セット〉
3	ポーズ時間	0～10 秒 3 秒	ポーズを入力した場合に、何秒間隔を空けるかを設定する機能です。	〈機能〉→ワンタッチキー〈J〉→〈0〉、〈3〉→〈セット〉→ダイヤルキーで時間（2 桁）を入力する→〈セット〉
4	呼び出しベル回数	0～10 回 2 回	受信モードが自動受信の場合に、受信動作が開始されるまでの呼び出しベル回数を設定できます。よく電話を受ける場合には回数を多めに設定しておくと、電話が取りやすくなります。	〈機能〉→ワンタッチキー〈J〉→〈0〉、〈4〉→〈セット〉→ダイヤルキーで回数（2 桁）を入力する→〈セット〉
5	リダイヤル	●回数 0～15 回 3 回 ●間隔 0～5 分 1 分	相手が話し中のとき、ここで設定した回数や間隔で再ダイヤルします。 ・リダイヤル回数：自動リダイヤルする回数 ・リダイヤル間隔：自動リダイヤルする間隔	〈機能〉→ワンタッチキー〈J〉→〈0〉、〈5〉→〈セット〉→ダイヤルキーで回数（2 桁）を入力する→〈セット〉→ダイヤルキーで時間を（1 桁）を入力する→〈セット〉

・__のついている値が、出荷時設定です。

番号	機能	設定値	機能説明	設定方法
6	ECM モード	ON OFF	電話回線の影響で正しく送信できなかったときに、その部分を自動的に送信し直します。 ・ON：ＥＣＭモードが働きます。 ・OFF：ＥＣＭモードが働きません。	〈機能〉→ワンタッチキー〈J〉→〈0〉、〈6〉→〈セット〉→〈機能〉で設定値を選ぶ→〈セット〉
7	ダイレクトメール防止	モード 1 モード 2 モード 3 OFF	ワンタッチ、短縮ダイヤルに登録されている番号からのみ受信できるようにしたり、登録した特定の番号からの受信を拒否したりできるので迷惑ファクスを防止できます。	「ダイレクトメールを防止する」（→ 4-13 ページ）
8	サービスモード		設定しないでください。	
9	メモリー送信	ON（メモリー送信優先） OFF（リアルタイム送信優先）	送信するときにメモリー送信を優先にするか、リアルタイム送信を優先するか設定します。（→ 2-16 ページ）	〈機能〉→ワンタッチキー〈J〉→〈0〉、〈9〉→〈セット〉→〈機能〉で設定値を選ぶ→〈セット〉
10	済スタンプ	ON OFF	読み取った原稿の表側に○スタンプを押します。 読み取り完了（または送信完了）した原稿に、スタンプを押して読み取り済み（または送信済み）であることを確認することができます。 コピーの場合は、押されません。	〈機能〉→ワンタッチキー〈J〉→〈1〉、〈0〉→〈セット〉→〈機能〉で設定値を選ぶ→〈セット〉
11	ダイヤルイン		ダイヤルイン契約した電話番号（3 番号分まで）をファクス番号、ハンドセット用番号、増設電話用番号として登録し、その登録に基づいてダイヤルイン着信したときの 4 桁の番号で、ファクス受信および電話を区別することができます。	「1 回線で複数の番号をつける（ダイヤルイン）」（→ 3-24 ページ）
12	プロテクトコード	0000 ～ 9999 0000	セキュリティ機能や部門管理プロテクトを利用するためのプロテクトコードを登録します。	「プロテクトコード」（→ 5-29 ページ）

・__のついている値が、出荷時設定です。

5

登録／設定編

番号	機能	設定値	機能説明	設定方法
13	オペレーションプロテクト	ON OFF	プロテクトコードを知らない人に対し、操作や各種設定を禁止します。	「操作を保護する（オペレーションプロテクト）」（→ 4-26 ページ）
14	保留メロディー	ON OFF	保留したときに、保留メロディーを流す（ON）か、保留メロディーを流さない（OFF）かを設定します。	〈機能〉→ワンタッチキー〈J〉→〈1〉、〈4〉→〈セット〉→〈機能〉で設定値を選ぶ→〈セット〉
15	特定通信	ツウシンツドジョウジ	特定通信の初期値を設定します。	〈機能〉→ワンタッチキー〈J〉→〈1〉、〈5〉→〈セット〉→〈機能〉で設定値を選ぶ→〈セット〉
16	セキュリティキーセット	ON OFF	閉域送信機能と ID チェック送信機能をパネルキーに割り当てることができます。	〈機能〉→ワンタッチキー〈J〉→〈1〉、〈6〉→〈セット〉→〈機能〉で設定値を選ぶ→〈セット〉
17	機器設定リスト		本商品の各種機器の設定状況をプリントすることができます。	〈機能〉→ワンタッチキー〈J〉→〈1〉、〈7〉→〈セット〉

・__のついている値が、出荷時設定です。

機器設定リストのプリント

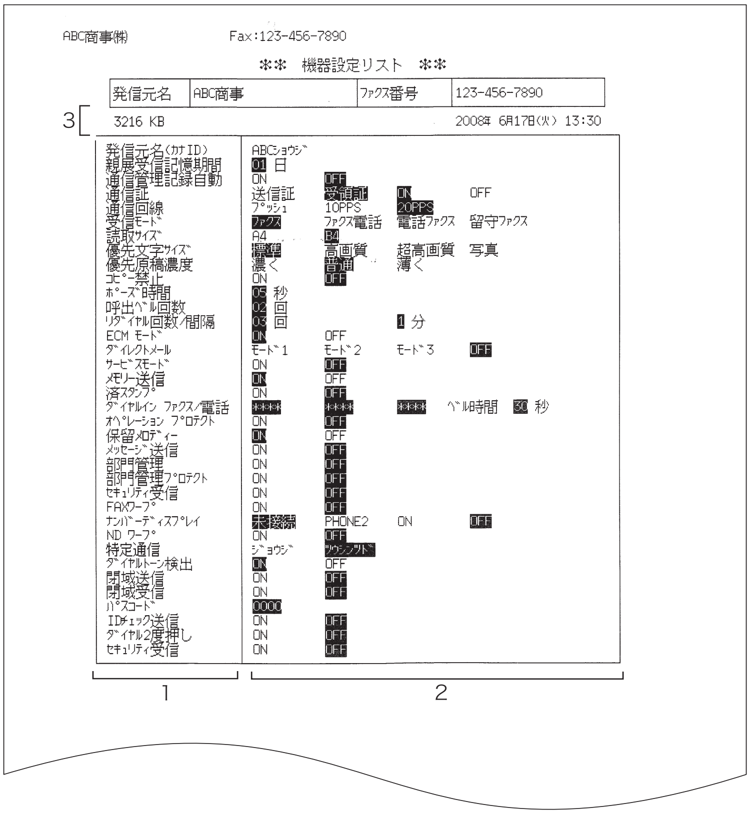
機器設定リストをプリントすると、本商品に設定された各種機能の設定状況を確認することができます。

1 〈機能〉、ワンタッチキー〈J〉、ダイヤルキー〈1〉、〈7〉を押します。

```
J１７　キキセッテイ　リスト
　　　　　　　　　キノウ／セット
```

2 〈セット〉を押します。

機器設定リストがプリントされます。



ABC商事(株)　　Fax:123-456-7890

＊＊　機器設定リスト　＊＊

発信元名	ABC商事	ﾌｧｸｽ番号	123-456-7890

3　3216 KB　　2008年 6月17日(火) 13:30

発信元名(ｶﾅID)	ABCｼｮｳｼﾞ				
親展受信記憶期間	01 日				
通信管理記録自動	ON	OFF			
通信証	送信証	受領証	ON	OFF	
通信回線	ﾌﾟｯｼｭ	10PPS	20PPS		
受信ﾓｰﾄﾞ	ﾌｧｸｽ	ﾌｧｸｽ電話	電話ﾌｧｸｽ	留守ﾌｧｸｽ	
読取ｻｲｽﾞ	A4	B4			
優先文字ｻｲｽﾞ	標準	高画質	超高画質	写真	
優先原稿濃度	濃く	普通	薄く		
ｺﾋﾟｰ禁止	ON	OFF			
ﾎﾟｰｽﾞ時間	05 秒				
呼出ﾍﾞﾙ回数	02 回				
ﾘﾀﾞｲﾔﾙ回数/間隔	03 回		1 分		
ECM ﾓｰﾄﾞ	ON	OFF			
ﾀﾞｲﾚｸﾄﾒｰﾙ	ﾓｰﾄﾞ1	ﾓｰﾄﾞ2	ﾓｰﾄﾞ3	OFF	
ｻｰﾋﾞｽﾓｰﾄﾞ	ON	OFF			
ﾒﾓﾘｰ送信	ON	OFF			
済ｽﾀﾝﾌﾟ	ON	OFF			
ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ ﾌｧｸｽ/電話	****	****	****	ﾍﾞﾙ時間	30 秒
ｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝ ﾌﾟﾛﾃｸﾄ	ON	OFF			
保留ﾒﾛﾃﾞｨｰ	ON	OFF			
ﾒｯｾｰｼﾞ送信	ON	OFF			
部門管理	ON	OFF			
部門管理ﾌﾟﾛﾃｸﾄ	ON	OFF			
ｾｷｭﾘﾃｨ受信	ON	OFF			
FAXﾜｰﾌﾟ	ON	OFF			
ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ	未接続	PHONE2	ON	OFF	
ND ﾜｰﾌﾟ	ON	OFF			
特定通信	ｼﾞｮｳｼﾞ	ﾂｳｼﾝｼﾞﾄﾞ			
ﾀﾞｲﾔﾙﾄｰﾝ検出	ON	OFF			
閉域送信	ON	OFF			
閉域受信	ON	OFF			
ﾊﾟｽｺｰﾄﾞ	0000				
IDﾁｪｯｸ送信	ON	OFF			
ﾀﾞｲﾔﾙ2度押し	ON	OFF			
ｾｷｭﾘﾃｨ受信	ON	OFF			

1　　2

1. 機能名

2. 設定状況

3. メモリー容量

本商品に搭載されているメモリー容量です。

5

登録／設定編

第６章

こんなときには

記録紙を交換する

- 記録品質への悪影響および故障の原因となることがありますので、当社指定の記録紙をおすすめします。
- 記録紙に赤い帯が出ると「まもなく記録紙がなくなります」というお知らせです。新しい記録紙と交換してください。

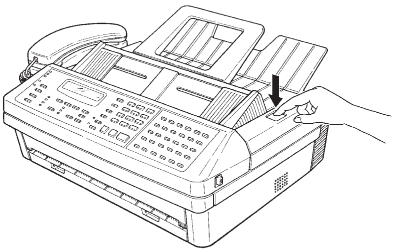
⚠注意

・サーマルヘッド（印字部）付近には触れないでください。動作直後は高温になっており、やけどの原因となります。
・トップカバーはいきおいよく開きますので注意してください。

お願い

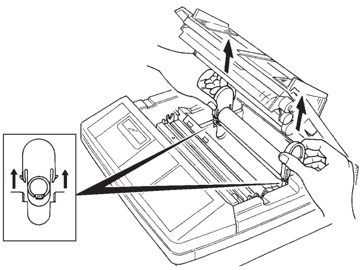
記録紙を交換するときは、電源を切らずに交換してください。電源を切ると蓄積原稿が消えることがあります。

1 **トップカバー開放ボタンを押し、トップカバーを開けます。**

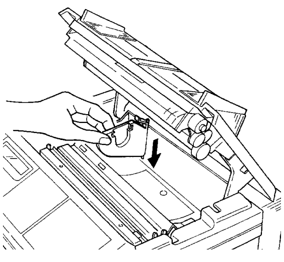


トップカバーを完全に開きます。

2 **記録紙の芯を取り除きます。**

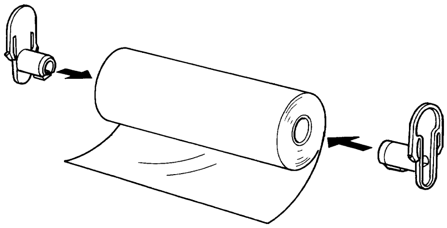


3 **仕切板を記録紙サイズに合わせます。**

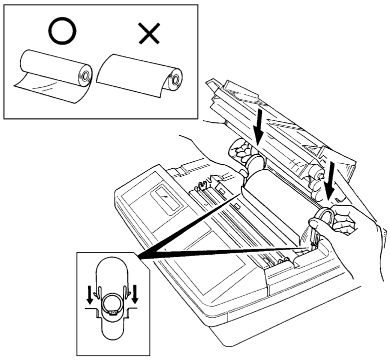


A4 の記録紙を使用するときは、仕切板を内側に移動させます。

4 記録紙に記録紙ホルダーを取り付けます。

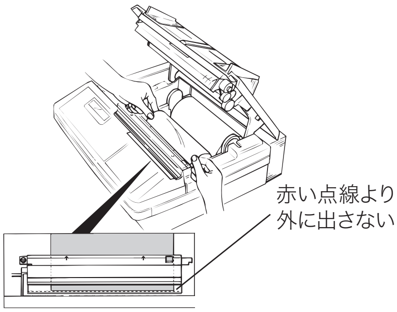


5 記録紙ホルダーを溝に差し込み、記録紙を本体にセットします。



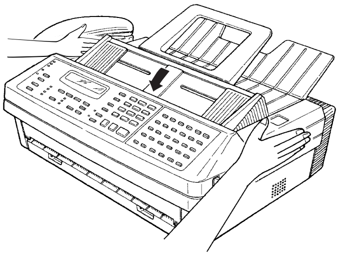
・記録紙ホルダーを図のように差し込んでください。
・記録紙を入れる向きに注意してください。

6 記録紙の先端をペーパーガイドの下（黒い矢印の下）に挿入します。



ペーパーガイドのフィルムから記録紙が見えるまで挿入します。記録紙がフィルムの赤い点線より外に出ないようにします。

7 トップカバーの両端を押さえて閉じます。



トップカバーを閉じると、記録紙の先端をテストカットします。これが行われないときは、もう一度記録紙をセットし直してください。

済スタンプを交換する

済スタンプが薄くなったときは、済スタンプを交換してください。

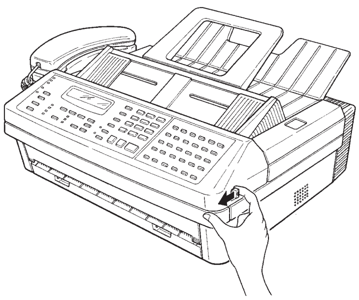
⚠注意

・済スタンプを交換するときは、原稿カバーで手などをはさまないように片方の手で原稿カバーを押さえながら交換してください。
・付属のピンは先がとがっています。指などに刺さらないようご注意ください。

お願い

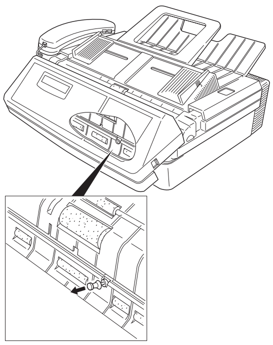
スタンプ印面には、直接手を触れないでください。また、インクが手などに付着したときは、できるだけ早く水で洗ってください。

1 原稿カバーを開けます。

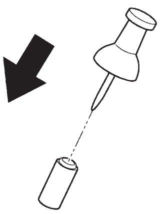


原稿カバー開放レバーを引き、原稿カバーを開けます。

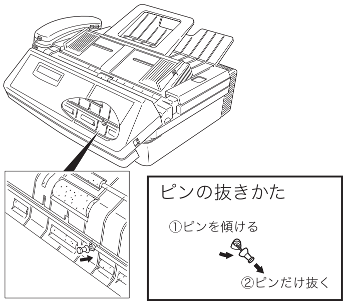
2 交換する済スタンプの印面に付属のピンを刺し、済スタンプを引き抜きます。



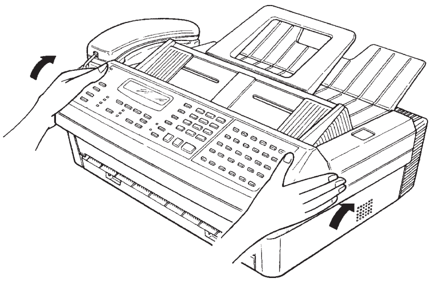
3 交換用済スタンプの印面中央部に、付属のピンを刺します。



4 本体に差し込み、付属のピンだけを斜めに傾けて抜きます。



5 原稿カバーを閉めます。



原稿カバーの左右の端を上から押して閉めてください。

日常のお手入れ

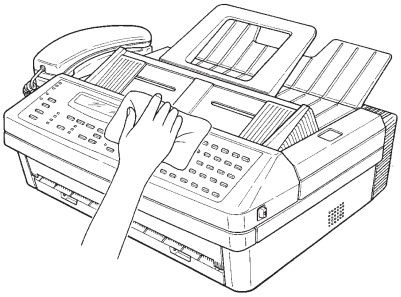
定期的にお手入れしてください。

⚠警告

ぬれた布などは使用しないでください。火災・感電の原因となります。

外装、操作パネルのお手入れ

1 柔らかい布でから拭きします。

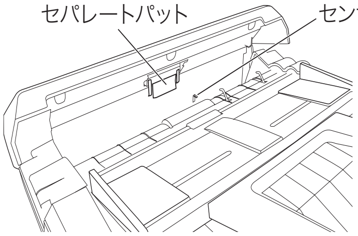


汚れがひどいときは、中性洗剤を水で薄めたものを少量つけて拭き取ります。

読み取り部のお手入れ

⚠注意

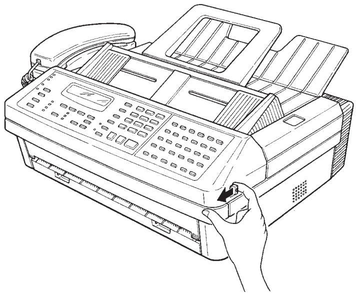
セパレートパットと原稿カバーの内側を清掃するときは、セパレートパットの両脇にある金属に触れないでください。けがをする恐れがあります。



お願い

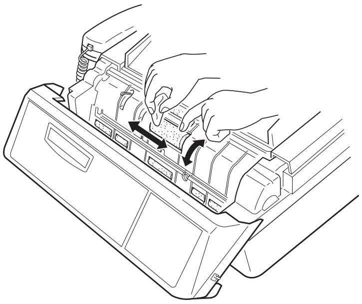
・清掃には水をしみこませてよく絞った柔らかい布をご使用ください。汚れがひどいときは、アルコール（エタノール、メタノール）か薄い中性洗剤をしみこませた柔らかい布をご使用ください。
・ベンジン、シンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。
・清掃するときは、センサー部分に触れないようにご注意ください。

1 **原稿カバーを開けます。**



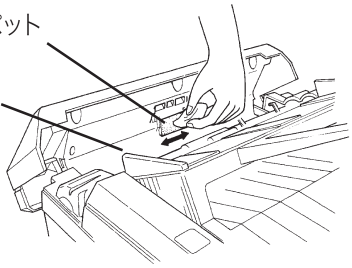
原稿カバー開放レバーを引き、原稿カバーを開けます。

2 **原稿送りローラーを回しながら汚れを拭き取ります。**



水をしみこませてよく絞った柔らかい布をご使用ください。

3 セパレートパットと原稿カバーの内側の汚れを拭き取ります。



水をしみこませてよく絞った柔らかい布をご使用ください。

記録部のお手入れ

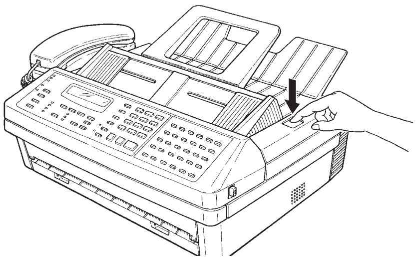
⚠注意

・サーマルヘッド（印字部）付近には触れないでください。動作直後は高温になっており、やけどの原因となります。
・トップカバーはいきおいよく開きますので注意してください。

お願い

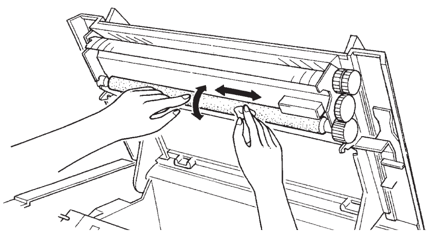
・清掃には水をしみこませてよく絞った柔らかい布をご使用ください。汚れがひどいときは、アルコール（エタノール、メタノール）か薄い中性洗剤をしみこませた柔らかい布をご使用ください。
・ベンジン、シンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。
・サーマルヘッド表面を金属などの硬いものや爪でこすらないでください。また、直接手で触れないでください。

1 トップカバー開放ボタンを押し、トップカバーを開けます。



完全にトップカバーを開けてください。

2 記録紙ローラーを回しながら、汚れを拭き取ります。



水をしみこませてよく絞った柔らかい布をご使用ください。
ローラーを手で回しながら、ローラー全面をふいてください。

記録紙づまりを解除する

記録紙がつまるとアラーム音が鳴り「キロクシ ヲ カクニン　シテクダサイ」と表示されます。以下の手順に従って慎重に取り除いてください。

⚠注意

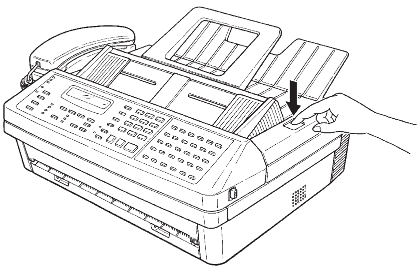
・サーマルヘッド（印字部）付近には触れないでください。動作直後は高温になっており、やけどの原因となります。
・カッター部には絶対に指を入れないでください。けがの原因となります。
・トップカバーはいきおいよく開きますので注意してください。

お願い

・蓄積原稿が消える恐れがありますので、電源を切らずに操作してください。
・記録紙は無理に引き抜かないでください。機器の故障の原因となります。

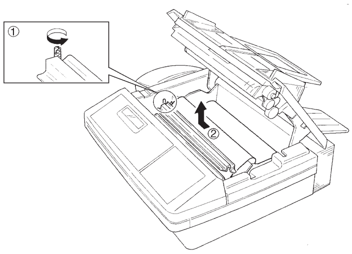
1 **トップカバー開放ボタンを押し、トップカバーを開けます。**

完全にトップカバーを開けてください。



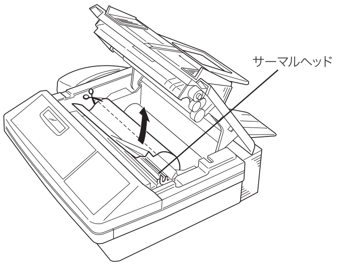
2 **ペーパーガイドを外します。**

ペーパーガイドを外すとカッター部が露出しますので、絶対に触れないでください。



3 つまった記録紙を取り除きます。

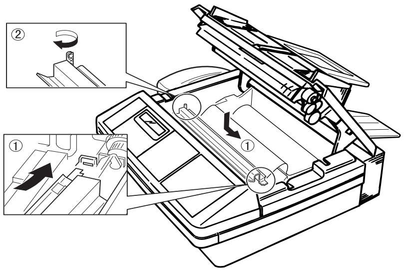
記録紙の破れた部分やしわになった部分をハサミなどでまっすぐに切り取ります。



サーマルヘッドには手を触れないでください。

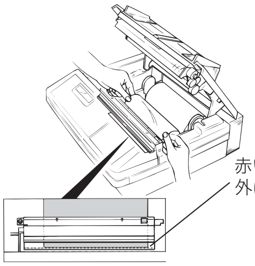
4 ペーパーガイドを取り付けます。

ペーパーガイドの右端の突起部を本体側の四角い穴に入れ、ネジで固定します。



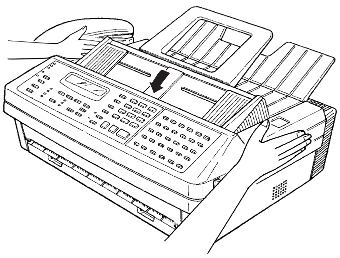
5 記録紙の先端をペーパーガイドの下（黒い矢印の下）に挿入します。

ペーパーガイドのフィルムから記録紙が見えるまで挿入します。記録紙がフィルムの赤い点線より外に出ないようにします。



6 トップカバーの両端を押さえて閉じます。

トップカバーを閉じると、記録紙の先端をテストカットします。これが行われないときは、もう一度記録紙をセットし直してください。

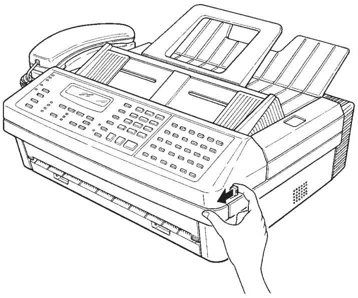


原稿づまりを解除する

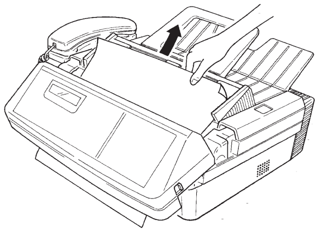
原稿がつまったときは、以下の手順でつまっている原稿を取り除いてください。

1 **原稿カバーを開けます。**

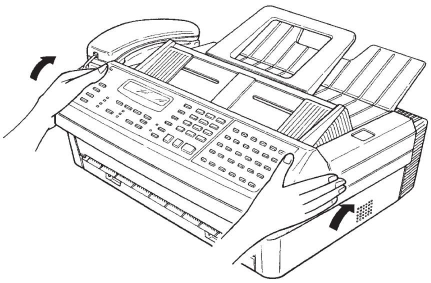
原稿カバー開放レバーを引き、原稿カバーを開けます。



2 **つまっている原稿を取り除きます。**



3 **原稿カバーを閉めます。**



・原稿カバーの左右の端を上から押して閉めてください。
・1 枚目の原稿がつまった場合は始めから原稿セットし直してください。
・メモリーに読み取り中のとき、2 枚目以降の原稿がつまった場合は、手順 4 に進みます。
・リアルタイム送信のときや、コピーで部数を指定しなかったときに、2 枚目以降の原稿がつまった場合は、つまった原稿からセットし直し、再度送信またはコピーしてください。

4 **原稿ガイド、原稿カバーを閉めます。**

原稿カバーの左右の端を上から押して閉めてください。

■ 次のようなメッセージが表示されたときは、原稿の続きを読み取ることができます。

1 **メモリーに読み取り中のとき、2 枚目以降の原稿がつまると、次のような表示が出ます。**

```
ケ゛ンコウカ゛　ツマリマシタ
ツツ゛キノ　ヨミトリ　　セット／クリア
```

・読み取りを続ける場合は手順 2 へ進みます。
・読み取りを中止する場合は〈クリア〉を押します。
　待機状態に戻ります。
・1 分間何も押さないと蓄積した原稿を消去します。

2 **〈セット〉を押します。**

【例】メモリー送信のとき

```
　2ヘ゜ージ゛カラ　セットシナオシテ
スタートキー　ヲ　オシテクダ゛サイ
```

つまったページを表示します。

3 **つまった原稿からセットし直し、表示されたキー（〈スタート〉、〈コピー〉、〈セット〉）を押します。**

原稿の読み取りを再開します。

エラーメッセージ

アラームが鳴ったら

● アラームは約 4 秒間鳴り、同時にアラームランプが点灯します。アラームの内容はエラーメッセージとしてディスプレイに表示されるか、チェックメッセージとして記録紙にプリントされますので、メッセージ内容を確認し対処してください。

※アラームランプは、〈ストップ〉を押すと消灯します。

※記録紙がなくなったり、記録紙がつまったりした場合や、原稿がつまったり、カバーが開いていたりするなどの問題が発生している場合は、〈ストップ〉を押してもアラームランプは消灯しません。

プリントされるメッセージ

● 通信エラーが発生したときは、記録紙にエラーの内容･対処方法のメッセージとエラーコードがプリントされます。エラーコードは通信エラーの原因を表すコードです。メッセージとエラーコードを確認して対処してください。

● ここに示した以外のエラーメッセージが表示またはプリントされた場合は、もう一度送り直していただき、それでも通信できない場合は、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

メッセージ	メッセージの発生状態と対応の方法	エラーコード
ID 番号を確認してください	1. 相手に登録されているファクス番号の下 4 桁と入力した番号の下 4 桁が一致しません。 ▶ID 番号を確認してください。 2. 相手にファクス番号が登録されていません。 ▶ 相手に電話をかけ、相手側機のファクス番号の確認を依頼してください。	T.2.2
パスコードを確認してください	▶ 相手側機の確認を依頼してください。 ▶ パスコードの確認を依頼してください。	T.2.2
相手機を確認してください	▶ 相手に電話をかけ、相手機のモード、ファクス番号、機器の状態、パスコードなどの確認を依頼してください。	T.1.1、T.2.1 T.2.2、T.2.3 T.5.1、T.5.2 T.8.1、R.8.1 T.8.10、R.8.10 T.8.11、R.8.11
受信原稿を確認してください	▶ 相手に電話をかけ、相手機の動作状態の確認を依頼してください。	T.4.2
もう一度送信してください	1. 原稿がスムーズに繰り込まれていない状態になっていることがあります。 ▶ 再度、送信操作をしてください。	T.3.1
	2. 原稿枚数設定をしている場合、「設定枚数」より実際に送信した「実送枚数」のほうが少ないときに、このメッセージが出ます。(2 枚送りなどが発生している可能性があります) ▶ 原稿枚数と相手の受信枚数を確認して、再度送信操作をしてください。	T.1.2
	3. 回線状態が悪いことがあります。 ▶ 再度、送信してください。	T.4.1
	4.「/」「！」の箇所で発信音がかえってきませんでした。 ▶ 「/」「！」の位置を確認して再送信してください。(交換機によってはこれらの記号は不要な場合もあります。)	T.5.3 D.0.8
	5. 内線などダイヤルトーンが送出されない回線では、ダイヤルトーン検出を OFF にしてください。(→ 1-19 ページ)	D.0.2
もう一度ダイヤルしてください	1. 設定してある再ダイヤル回数分の電話をしても、相手に送信できなかった場合です。 ▶ あらためて相手のファクス番号を押し、送信してください。それでも再度このメッセージが出るときは、相手に電話をかけて相手機の状態を確認してください。 2. ダイヤルタイプが正しいか確認してください。(→ 1-19 ページ)	

メッセージ	メッセージの発生状態と対応の方法	エラーコード
メモリーオーバーしました	▶ 受信の場合は再度送信を依頼してください。また、記録紙切れや記録紙づまりが発生し、代行受信でメモリーオーバーしている場合があります。その場合は、記録紙を交換したり、記録紙づまりを解除してください。	R.4.4
メモリーオーバー	▶ 送信の場合はリアルタイム送信に設定して、再度送信してください。 ▶ 原稿の蓄積中にメモリーオーバーが発生しました。蓄積途中の原稿はメモリーから消去されています。再度、蓄積してください。	
ダイヤル番号が登録されていません	▶ ワンタッチ・短縮ダイヤル番号をセットし直して、再度送信してください。	D.0.6
停止しました	▶ 通信がストップしました。再度通信してください。	D.0.3、T.1.4 R.1.4

エラーコード

D：ダイヤル時の異常

ﾓｰﾄﾞ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	コードの内容	対応・処理の方法
G3送信	D.0.1	発信と着信が同時に起きました	▶ 再送信してください。
	D.0.2	相手が話中	▶ 再送信してください。
	D.0.3	〈ストップ〉が押された	▶ 再送信してください。
	D.0.6	オートダイヤル発信したとき、相手ファクス番号が登録されていない	▶ 正しいファクス番号をセット後、再送信してください。
	D.0.7	オートダイヤル発信したとき、相手に着信しない	▶ 正しいファクス番号をセット後、再送信してください。
	D.0.8	「/」「！」の箇所で発信音がかえってこなかった	▶「/」「！」の位置を確認して再送信してください。(交換機によってはこれらの記号は不要な場合もあります。) 内線などダイヤルトーンが送出されない回線では、ダイヤルトーン検出を OFF にしてください。 (→ 1-19 ページ)

T：送信時の異常

ﾓｰﾄﾞ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	コードの内容	対応・処理の方法
G3送信	T.1.1	番号間違い（相手が出て切った）	▶ 相手のファクス番号を確認し、再送信してください。
		相手が手動受信で電話を切った	▶ 相手の受信方法を確認してください。
		相手機種が G3 機でない	▶ 当機では通信できません。
	T.1.2	送信枚数設定の送信で 2 枚送りが発生した	▶ 相手側に受信枚数（ページ数）の確認を依頼し、再送信してください。
	T.1.4	交信開始時に〈ストップ〉を押した（通信管理記録のみ表示）	▶ 再送信してください。
	T.2.1	回線状態が悪く（特に海外）相手機が回線を切った	▶ 再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。
	T.2.2	閉域送信でパスコードが合わない	▶ 相手の設定を確認してください。閉域送信を設定している場合は、パスコードを合わせてください。
		ID チェック送信で ID が合わない	▶ 相手側機の ID（登録している発信元番号）を確認してください。
		親展送信・中継指示送信で相手機にその機能がない、または親展送信で相手機に所定の親展者コードが設定されていない場合	▶ 相手の機種および設定状況を確認してください。
	T.2.3	回線障害などが原因で、最低速度でも交信できない	▶ 再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。
	T.3.1	連続送信時 2 枚目以降が繰り込みエラーとなった	▶ エラーが発生したページより再度送信してください。
		900 mm 以上の原稿を送信した	▶1 ページを 900mm 以内に切って送信してください。
		交信中断の後「ランプ　カクニン」と表示した場合は光源の光量不足	▶ 電源スイッチを OFF → ON してコピーをとってみてください。 「ランプ　カクニン」表示しなければ再度送信してください。コピーでも「ランプ　カクニン」表示となる場合は当社のサービス取扱所にお問い合わせください。
	T.3.2	回線障害などが原因で交信できなかった	▶ 再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。
	T.4.1	原稿を送信中に回線障害などが原因で相手機が回線を切った	▶ 再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。
	T.4.2	相手で画質異常となった（回線障害などが原因）	▶ 送信したページは相手に届いていますが、1 部うつりが悪くなっている可能性があります。相手に受信画質の確認を依頼してください。
	T.4.4	原稿を送信中に回線が切れた（回線障害などが原因）	▶ 再送信してください。
ECM送信	T.5.1、T.5.2 T.5.3	原稿を送信中に回線が切れた（回線障害などが原因）	▶ 再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。
	T.8.10、 T.8.11	回線障害などが原因で交信できなかった	
	T.8.1	受信モードが合わない	▶ 相手を確認してください。相手機がファクスではないことがあります。

R：受信時の異常

ﾓｰﾄﾞ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	コードの内容	対応・処理の方法
G3受信	R.1.1	手動受信または転送受信を行ってファクスが受信状態になったが相手から信号がこない	▶ 送信側の操作ミスが考えられます。 相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。
	R.1.2	送信機とのモードが合わない	▶ 相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。 何度もこのエラーが発生する場合は当社のサービス取扱所にお問い合わせください。
		ダイレクトメール禁止中にダイレクトメールを受信した （通信管理記録のみ表示）	
	R.1.4	受信中に〈ストップ〉を押した （通信管理記録のみ表示）	▶ 相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。
	R.1.5	回線障害などが原因で交信できなかった	▶ 相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。 何度もこのエラーが発生する場合は当社のサービス取扱所にお問い合わせください。
	R.2.3	回線障害などが原因で回線が切れた	
	R.3.1	送信側で原稿を引き抜いた または〈ストップ〉を押した	
	R.3.3	受信中に信号が途切れた （回線障害などが原因）	
	R.3.4	最低のスピードでも受信できない （回線障害などが原因）	
	R.3.5	メモリーオーバーで受信できなかった	▶ メモリー残量を確認してもう一度送信を依頼してください。
	R.4.2	受信中に信号が切れた （回線障害などが原因）	▶ 相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。 何度もこのエラーが発生する場合は当社のサービス取扱所にお問い合わせください。
	R.4.4	メモリー容量オーバー （通信管理記録にのみ記載）	
ECM受信	R.5.1	受信中に信号が途切れた 送信側で〈ストップ〉を押した	▶ 相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。 何度もこのエラーが発生する場合は当社のサービス取扱所にお問い合わせください。
	R.5.2	受信中に信号が途切れた （回線障害などが原因）	
	R.8.10、R.8.11	回線障害などが原因で交信できなかった	
	R.8.1	通信機とのモードが合わない	▶ 相手を確認してください。ポーリングにて、相手に原稿が無いなど。

液晶ディスプレイ上にあらわれるメッセージ

エラーメッセージ	原因	対応方法	参照ページ
数字ー数字　ヲ　ドウゾ （例：1 ー 99　ヲ　ドウゾ）	セットできない数字が入力されました。	▶ 表示されている範囲の数字を入力してください。	―
キロクシ ヲ カクニン　シテクダサイ	記録紙がつまっています。	▶ つまっている記録紙を取り除いてください。	6-10
	記録紙が無くなりました。	▶ 記録紙を補給してください。	6-2
ケタスウ　オーバー　デス	名前や番号入力のとき、最大桁数を超えました。	▶ 最大桁数内で入力し直してください。	―
●原稿 1 枚目でつまったとき ゲンコウカバー　ヲ　カイヘイシテ ゲンコウセット　ヤリナオシテクダサイ ●原稿 2 枚目でつまったとき ゲンコウガ　ツマリマシタ ツヅキノヨミトリ　セット／クリア	原稿の読み取り中に原稿づまりが発生しました。	▶ つまった原稿を取り除き、セットし直してください。 ▶ 原稿カバーを開けて異物がないことを確認します。 ▶〈セット〉を押すと、読み取りを続ける操作を行います。 ▶〈クリア〉を押すと、それまでに蓄積した原稿のデータを消去します。 ▶ 1 分間指示しない場合は、蓄積した原稿のデータを消去します。	6-12
●原稿 1 枚目でメモリー容量オーバー メモリー　オーバー　デス ●原稿 2 枚目以降 メモリー　オーバー　デス メモリー　ブンノミ　スタート／クリア メモリー　オーバー　デス メモリー　ブンノミ　コピー／クリア メモリー　オーバー　デス メモリー　ブンノミ　セット／クリア	原稿の蓄積中にメモリー容量をオーバーしたことを示し、自動的に原稿の読み取りを中止します。	▶ 送信の場合は、リアルタイム送信に切り換えて再度操作してください。 ▶ 表示されたキー（〈スタート〉、〈コピー〉、〈セット〉）を押すと蓄積済みの原稿のうち、前ページまで登録完了とし、与えられた操作を行います。 ▶〈クリア〉を押すと、それまでに蓄積した原稿のデータを消去します。 ▶ 1 分間指示をしない場合 ・メモリー送信または原稿蓄積のときは、蓄積した原稿を消去します。 ・コピーのときは蓄積した分のコピーを開始します。	2-15、 2-42
ゲンコウカバー　ヲ　トジテクダサイ トップカバー　ヲ　トジテクダサイ	表示されたカバーが開いています。	▶ 表示されたカバーを一度開けて、再度閉め直してください。	―
ゲンコウ　ガ　アリマセン	親展受信原稿やポーリング原稿、F コードボックスに原稿がありません。	▶ 親展受信通知・F コードボックス受信通知を確認してください。 ▶ メモリー期間が過ぎており、消去されていることも考えられます。 ▶F コード蓄積原稿リストをプリントして、原稿があるか確認してください。	4-24、 3-52 3-55

エラーメッセージ	原因	対応方法	参照ページ
ゲンコウ　ガ　セット　サレテイマス	リアルタイム送信中または予約中に〈スタート〉が押されました。	▶ 次のいずれかの操作をします。 1.〈ストップ〉を押してセットしてある原稿を排出します。 2. 現在予約中の通信が終了してから再操作を行います。 3. 予約を取り消してから新たに予約します。	2-19
ゲンコウ　ガ　セット　ズミ　デス	ポーリング予約原稿に原稿が蓄積されています。	▶ 通常ポーリング原稿は 1 文書のみ蓄積できます。	3-35
ゲンコウ　ガ　チクセキサレテイマス	親展受信原稿が蓄積されています。	親展受信原稿が蓄積されているときは、ボックスを削除することはできません。	4-24
ゲンコウ　ヨミトリチュウ　デス	原稿読み取り中に右記の操作が行われました。	▶〈コピー〉が押されました。 ▶ 他の宛先で送信が指示された。 ▶ ポーリング予約文書の蓄積が指示された。原稿の読み取りが終了してから、操作をしてください。	―
ゲンコウ　ヲ　セット　シテクダサイ	原稿をセットしないで送信やコピーをしようとしています。	▶ 原稿をセットして再度操作してください。	2-4
コピーキンシ　チュウデス	コピー禁止セットが ON になっているときに、〈コピー〉を押しました。	▶ コピー禁止セットを OFF にすると、コピーできます。	5-32
＊＊　シバラク　オマチクダサイ　＊＊	サーマルヘッドが高温になり、印字を中断しています。	▶ 印字可能状態になると、自動的に表示は消えます。そのままでしばらくお待ちください。	―
ジュシン　ゲンコウ　ガ　アリマス	セキュリティ受信した原稿があるときに、右記の操作が行われました。	▶ セキュリティ受信を解除しようとしました。 ▶ プロテクトコードを消去しようとしました。	4-12
ジュワキ　ガ　アガッテイマス	交信終了時にハンドセットが外れていたり、あがったままです。	▶ ハンドセットを戻します。 ※戻すまでアラームが鳴り続けます。	―
シンテンボックス　デス	F コード原稿蓄積・消去で選択したボックスが親展ボックスです。	▶ 掲示板ボックスを選択してください。 ▶F コードボックスリストをプリントして確認してください。	3-50

エラーメッセージ	原因	対応方法	参照ページ
セット　サレテイマセン	ワンタッチ、短縮に相手番号がセットされていません。 各種リストをプリントしようとしたときに、何もセットされていません。	▶ ワンタッチ・短縮・プログラムワンタッチリストを確認の上、操作してください。 ▶ 各種登録をしてから再度操作をしてください。	5-12、5-15、5-28
ダイヤルイン　セット　サレテイマセン	ダイヤルイン番号が登録されていないのに、ダイヤルインスイッチが ON になっています。	▶ ダイヤルインセットをし直してください。またはダイヤルインスイッチを OFF にしてください。	3-24
タダシイ　バンゴウ　ヲ　ドウゾ	短縮ダイヤル、グループダイヤルで相手を指定するときに、ダイヤルキー以外のキーが押されました。	▶ ダイヤルキーで正しい番号を入力してください。	2-8、3-6
	親展ボックス指定時にボックス番号が入力されませんでした。	▶ ボックス番号を入力してください。	—
チクセキ　デキマセン	F コード原稿蓄積時、選択したボックスには、すでに 30 件蓄積されています。	▶ 原稿を消去するか、他のボックスを選択してください。	3-50
チョクセツダイヤル　1 カショ　イナイ	FAX ワープの転送先登録時、ダイヤルキーによる相手番号の指定が 2 ケ所以上あります。	▶ ダイヤルキーによる相手番号の指定数は 1 ヶ所だけです。	3-28
チョクセツダイヤル　20 カショ　イナイ	同報送信などでダイヤルキーによる相手番号の指定が 20 ヶ所を超えています。	▶ ダイヤルキーによる相手番号の指定数は 20 ヶ所までです。	3-4
ツウシン　エラー	通信エラーが発生しました。	▶ 通信エラーの内容を確認して、再操作してください。 ・アラームランプは〈ストップ〉を押すと消えます。	6-15
ツウシンケッカ　アリマセン	通信は一度も行われていません。		—

エラーメッセージ	原因	対応方法	参照ページ
ツウシン　デキマセン	送信・受信の指示登録が一杯です。	▶ 次のいずれかの操作をします。 1.〈ストップ〉を押してセットしてある原稿を排出します。 2. 現在予約中の通信が終了してから再操作を行います。 3. 予約を取り消してから新たに予約します。 4. 手動送信を行います。	 2-20 2-12
ツウシンチュウ　デス	ポーリング送信中にポーリング原稿消去の操作が行われました。	▶ 通信終了後、再操作してください。	
ツウシンマチ　アリマセン	指定したファイル番号に予約がありません。	▶ 通信予約リストまたは、〈ファクス中止 / 確認〉で予約状況を確認してください。	2-24
バンゴウ　ガ　チガイマス	暗証番号が間違っています。	▶ 正しい暗証番号を入力してください。	―
バンゴウ　ガ　トウロクサレテイマス	すでに同じ番号が登録されています。	▶ リストなどで確認して、異なる番号を登録してください。	―
バンゴウ　10 カショ　イナイ	中継指示のグループ番号、ポーリングのファイル番号の指定など、最大 10 件以内の操作のときに 10 件以上入力しました。	▶10 件以内でセットしてください。	3-18、 3-34
ブモンコード　ガ　ミトウロクデス	部門管理コードが登録されていません。	▶ 部門管理コードを登録してください。	3-65
プリントチュウ　デス	プリント中にプリントさせる操作をしました。	▶ プリントが終了してから再操作してください。	―
プロテクトコード　ガ　チガイマス	プロテクトコードが間違えて入力されました。	▶ 正しいプロテクトコードを入力し直してください。	―
プロテクトコード　ミトウロクデス	プロテクトコードが必要ですが登録されていません。	▶ プロテクトコードを登録してください。	5-29
ボックス　シヨウチュウ	一括送信ボックスの登録・消去のときに、選択したボックスが使用されてます。	▶ 使用されている状態を解除してから、ボックスの登録・消去を行ってください。	3-9、 3-15、 3-17
	F コードの原稿蓄積等で選択したボックスが使用中です。	▶ 使用されている状態を解除してから、原稿蓄積等を行ってください。	3-52、 3-54

エラーメッセージ	原因	対応方法	参照ページ
マイスウ　ヲ　カクニン　シテクダサイ	原稿枚数セットでセットした枚数より、読み取った枚数が少ないとき表示されます。	▶ 正しい枚数をセットしてください。 ▶ 原稿を重ねて読み取っていることがありますのでチェックしてください。	3-71
メモリー　ガ　イッパイデス ジュシン　デキマセン	メモリーがいっぱいになり、受信できない状態です。	▶ メモリーが空くのを待つか、不要な蓄積原稿を削除してください。	―
ヨヤクゲンコウ　ガ　アリマセン	通信予約原稿のプリント指示をした予約番号が、リアルタイム送信またはポーリングの予約でした。	▶ 予約原稿をプリントできるのは、メモリー内に原稿が蓄積される通信予約です。予約状況を確認の上、再操作してください。	2-25
ランプ　カクニン	原稿読み取り用の光源の光量不足または光源が不良です。	▶ 代行受信などメモリーに蓄積されている原稿が無いことを確認してから、一度電源を OFF/ON にしてください。 その後、コピーを行い、光源がつくか確認してください。 ▶ 光源がつかない場合、エラーが消えない場合は、お買いあげの販売店または当社のサービス取扱所にお問い合わせください。	―

停電のとき

本体の動作

●停電になったとき

通話中は ...	引き続き通話ができます。
送信中は ...	送信が途中で切れます。 停電が復旧したら、メモリー送信のときは、送信途中のページから自動的に再送信します。 リアルタイム送信のときは、再送信を行いません。もう一度送信してください。
受信中は ...	受信が途中で切れます。 停電が復旧したら、受信が終了しているページはプリントします。
コピー中は ... リストプリント中は ...	プリントが途中で止まります。
原稿の読み取り中は ...	読み取りが途中で停止します。停電が復旧しても、読み取りは再開しません。 復旧後は〈ストップ〉を押して原稿を排出してください。

●停電中

電話をかける	ハンドセットのダイヤルキーを利用して、電話をかけることができます。保留はできません。
電話を受ける	ハンドセットで、電話を受けることができます。保留はできません。 ダイヤルインサービスやナンバー・ディスプレイをご利用の場合は、特別な操作を行う必要があります。 【PB ダイヤルインをご契約の場合】 ①呼び出しベルが 2 回鳴るまでにハンドセットを上げる。 ② PB 信号「ピッポッパッ」という発信音を聞く。 ③発信音の後、2 秒以内にハンドセットを元に戻す。 ④もう一度、ハンドセットを上げると通話できる。 【モデムダイヤルインまたはナンバー・ディスプレイをご契約の場合】 ①短い間隔の呼び出しベルが鳴り終わるまで待つ。約 6 秒（ベル音約 7 回） ②呼び出しベルの間隔が長くなったときにハンドセットを上げると通話できる。 ・①の呼び出しベルでハンドセットを上げた場合、「ピーガー」という発信音を聞いたらハンドセットを元に戻してください。その後、再び呼び出しベルが鳴りますので、ハンドセットを上げると通話できます。
ファクスの送信	送信できません。
ファクスの受信	受信できません。

メモリーバックアップ

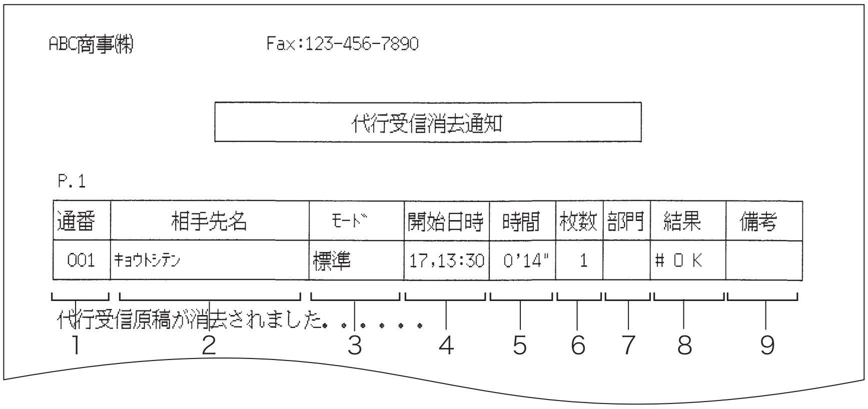
メモリーに蓄積された画像データは、停電や電源を OFF にしたときでも、次のような条件で保持されます。

・メモリーに蓄積された画像データは、約 50 時間保持されます。ただし、あらかじめ 24 時間連続して通電されている必要があります。
・バックアップ電池は本商品に内蔵されており、電源を ON すると自動的に充電されます。また、100%充放電を約 100 回行うと電池寿命となりますので、お客様には夜間等に電源を切っておくような使用は避けるようご注意願います。なお、画情報のバックアップ電池は、電池単体での交換はできません。高価なパッケージの交換となりますので注意してください。
・短縮ダイヤルや発信元名、日付や時刻などの登録内容、各種機能の設定内容は画情報とは別の電池にてバックアップされております。

消去通知

● メモリーに蓄積された画像データが消えてしまった場合は、電源が復旧した時点で消去通知をプリントし、消えてしまった画像データの情報をお知らせします。

● 下記は、代行受信文書が消去された場合の消去通知例です。このほか「親展受信消去通知」「通信予約消去通知」「ポーリング原稿消去通知」「F コードボックス原稿消去通知」がプリントされる場合があります。



ABC商事㈱　　　Fax:123-456-7890

代行受信消去通知

P.1

通番	相手先名	ﾓｰﾄﾞ	開始日時	時間	枚数	部門	結果	備考
001	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ	標準	17,13:30	0'14"	1		# O K	

代行受信原稿が消去されました。. . . . . .

1. 通番
通信の番号です。

2. 相手先名
以下の順に記録されます。
(1) ワンタッチダイヤルなどに登録されている相手先名（送信のみ）
(2) ワンタッチダイヤルなどに登録されている電話番号、またはダイヤルボタンで指定した電話番号（送信のみ）
(3) 相手の自局名
(4) 相手の自局 ID
(5) 空白（相手で自局名・自局 ID が登録されていない場合など）

3. モード
通信した画質です。

4. 開始日時
通信を開始した時刻です。

5. 時間
通信の開始から終了までの所要時間です。

6. 枚数
受信した枚数です。

7. 部門
部門管理を設定しているときに、部門番号が記録されます。

8. 結果
通信結果です。
・OK …………… 正常終了しました。
・＊ …………… ECMモードで通信しました。
・＃ …………… スーパー G3 で通信しました。
・エラーコード… 異常終了です。もう一度送信してください。（エラーコードについては（→ 6-16 ページ））

9. 備考
・親　　展…… 親展受信です。
・ポーリング…… ポーリング受信です。
・手　　動…… 手動受信です。
・検索ポー…… 検索ポーリング受信です。
・F ポー……… F コードポーリングです。
・F 親展……… F コード親展受信です。
・F 中継……… F コード中継受信です。
・F 掲示板…… F コード掲示板受信です。

故障かなと思ったら

故障かなと思ったときにお読みください。万一ここで書かれた処置を行っても異常が直らない場合には当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

こんなときは	原因／チェック項目	処　　置	参照ページ
動作しない ・ディスプレイに何も示されない ・パネルキーを押しても受け付けない ・原稿が自動的に引き込まれない	1. 電源コードはしっかりと差し込んでありますか。	▶ 電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。	1-13
	2. 電源スイッチは ON になっていますか。	▶ 電源スイッチを ON にしてください。 [	]･･･ON　[○]･･･OFF	1-7
ダイヤルできない	1. 電話機ヒモが本商品（LINE）と電話回線に正しく接続されていますか。	▶ 正しく接続してください。	1-12
	2. ダイヤルタイプは正しく設定されていますか。	▶ 正しく設定してください。	1-19
ダイヤルしても送信できない	1. ダイヤルタイプは正しく設定されていますか。	▶ 正しく設定してください。	1-19
	2. 原稿は正しくセットされていますか。	▶ 正しくセットしてください。	2-4
	3. 相手機に記録紙がセットされていますか。	▶ 相手に記録紙をセットするよう連絡をしてください。	―
	4. 電話番号が間違っていませんか。またワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録してある電話番号が間違っていませんか。	▶ 正しい電話番号をダイヤル、もしくは登録し直してください。	5-9、5-13
	5. 本商品が自動リダイヤルをしたにも関わらず、相手が応答しなかったのではないのですか。	▶ もう一度はじめからやり直してください。 ▶ 次のページにある「3. 相手のファクスに ...」の処置を行ってください。	―
電源は入るが送信できない	1. 送信の手順を間違えていませんか。	▶ もう一度、送信の手順を確認してからやり直してください。	―
	2. ダイヤルタイプは正しく設定されていますか。	▶ 正しく設定してください。	1-19

こんなときは	原因／チェック項目	処　　　置	参照ページ
電源は入るが送信できない	3. 相手のファクスにトラブルが発生したかもしれません。以下のことを確認してください。		
	① 相手のファクス切り替えが正常に行われていますか？	▶ 手動で相手のファクス番号にかけ、ファクスに切り替わるかどうかを確認してください。相手のファクスが作動しなかった場合、相手に以下の②〜④の項目を確認してください。	2-12
	② 相手のファクスの電源は入っていますか？	▶ 電源を入れてもらってください。	
	③ 相手のファクスが自動受信になっていますか？	▶ 自動受信にしてもらってください。	
	④ 相手のファクスの記録紙がなくなっていませんか？	▶ 記録紙を補給してもらってください。	
原稿が連続して送信されない	1. 原稿の先端を階段状にセットしていますか。	▶ 正しくセットしてください。	2-4
	2. セットした原稿の中に最小幅（120mm）より狭い幅の原稿がセットされていませんか。	▶ 最小幅より狭い原稿はキャリアシートに入れ、残りの原稿とは別に送信してください。	2-5
	3. キャリアシートが原稿に混ざっていませんか。	▶ キャリアシートを使うと原稿が分離しにくいので、1 枚ずつ送信してください。	2-5
手動送信できない	ハンドセットを置いた後で〈スタート〉を押したのではないですか。	▶ ハンドセットを置く前に〈スタート〉を押してください。もう一度はじめからやり直してください。	2-12
メモリー送信のとき原稿が読み込まれない	1. 原稿は正しくセットされていますか。	▶ 正しく原稿をセットしてください。	2-4
	2. メモリーがいっぱいではありませんか。	▶ メモリー容量が数%の場合、原稿を蓄積できない場合があります。	2-15
親展送信できない	1. 相手機に親展受信機能はありますか。	▶ 相手機が親展受信機能をもっていなければ、親展送信はできません。	4-23
	2. 相手機にも親展セットされていますか。	▶ 相手機で親展セットしていただいてください。	4-23

こんなときは	原因／チェック項目	処　　　置	参照ページ
自動受信しない	1. 液晶表示にカレンダーが表示されていますか。	▶ 表示されていないときは、電源スイッチを入れてください。	1-7
	2. 自動受信モードになっていますか。	▶ 自動受信ランプが点灯していないときは〈自動受信〉を押して点灯させてください。	1-8
	3. メモリーがいっぱいではありませんか。	▶ メモリー容量が数%の場合、原稿を蓄積できない場合があります。	—
手動受信できない	ハンドセットを置いた後で〈スタート〉を押したのではないですか。	▶ ハンドセットを置く前に〈スタート〉を押してください。	2-33
ポーリング受信ができずにチェックメッセージがプリントされる	1. パスコードが相手機と一致していますか。	▶ パスコードを一致させて、交信し直してください。	3-34
	2. 相手がポーリング原稿を登録していますか。	▶ 相手にポーリング原稿の登録を依頼してください。	—
受信画像が薄い	1. 原稿の画像が薄い。(鉛筆書きの原稿など)	▶ 相手に原稿を濃くしてもらうか、濃度調整を依頼してください。	—
	2. 原稿の色が黄色や緑色などである。	▶ 相手に原稿の色を黒系統に変えていただくように依頼してください。(コピーをとられることをおすすめします。)	—
	3. 当社指定以外の記録紙を使っていませんか。	▶ 当社指定の記録紙をご使用ください。	7-23
受信画像が濃い	1. 原稿の地色が濃い。	▶ 相手の原稿を確認して、原稿の地色部と画像にコントラスト（明暗）をつけてもらうか、濃度調整を依頼してください。	—
	2. 当社指定以外の記録紙を使っていませんか。	▶ 当社指定の記録紙をご使用ください。	7-23
受信画像が何も写らない	1. 送信側で原稿を表裏逆に送っていませんか。	▶ 相手に表裏を確認して、もう一度送信を依頼してください。	—
	2. 記録紙の裏表を間違えていませんか。	▶ 裏表を確認して正しくセットしてください。	1-14
受信画像が真っ黒である		▶ 当社のサービス取扱所にお問い合わせください。	—
画像にムラ（乱れ）がある	相手の送信のしかたに問題があるのではないですか。	▶ 本商品でコピーをしてみてきれいにとれるようであれば、相手に電話をかけて正しく送信するように指示してください。	—
記録紙が出てこない	記録紙がつまっていませんか。(「キロクシ ヲ トリノゾイテクダサイ」が表示されていますか)	▶ エラーメッセージを確認の上、つまっていれば取り除いてください。	6-10
原稿が出てこない	原稿がつまっていませんか。	▶ つまった原稿を取り出し、再セットしてください。	6-12

こんなときは	原因／チェック項目	処　　置	参照ページ
コピーをしても記録紙が何も印字されない	1. 原稿を裏表逆にセットしているのではないですか。	▶ 正しく原稿をセットしてください。	2-4
	2. 記録紙の裏表を間違えていませんか。	▶ 裏表を確認して正しくセットしてください。	1-14
時計データやワンタッチダイヤル等の登録内容が消えてしまう	電源を切ったままにしたり、日常電源を切って使用することをしていませんでしたか。	▶ 登録内容を保持しているバッテリの寿命が尽きたことが考えられます。当社のサービス取扱所にお問い合わせください。	―
電話が通じない（電話機を上げても発信音「ツー」が聞こえない）	1. 通信中ではありませんか。（ディスプレイの表示を確認してください。）	▶ 通信終了までお待ちください。	―
	2. ダイヤルタイプは正しく接続されていますか。	▶ 正しく接続してください。	1-17
トップカバーが閉まらない	カバーの片方を押していませんか。	▶ 両端を押して閉めてください。	―

上記の処置をしてもなおエラーを解除できない場合には

いったん電源スイッチを OFF にして、約 5 秒たってから ON にし、この取扱説明書をよくお読みになってもう一度操作してみてください。それでも正常に動作しない場合は、電源スイッチを OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いて当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

第 7 章

付録

文字一覧表

発信元名やメッセージ送信の登録で漢字コード入力する場合や、相手先名などでコード入力する場合、登録する文字の文字コードが必要となります。

ここでは、漢字コードの入力、コード入力、またローマ字の入力のしかた等を表にして記載しています。コード入力やローマ字の入力のしかたがわからないときは、この文字対応表を参照してください。

文字コードの探しかた

ここでは、例として宛先の「宛」の文字の文字コードを探すときについて説明します。

	②/①	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
あ	302		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥
	303	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
	304	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏						

「宛」の左にある①欄の数字/記号に、上にある②欄の数字を組み合わせたものが、「宛」の文字コード番号になります。

3 0 3 8
（303：①　8：②）

半角文字・記号コード一覧

	②/①	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
記	2	SP	!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	−	.	/
号	3	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
・	4	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
英	5	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]	^	_
／	6	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
数	7	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	→	←
字	8																
・	9																
カ	A		｡	｢	｣	､	･	ｦ	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ	ｬ	ｭ	ｮ	ｯ
タ	B	ｰ	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ
カ	C	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	ﾏ
ナ	D	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	ﾔ	ﾕ	ﾖ	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	ﾜ	ﾝ	ﾞ	ﾟ

補足：「SP」はスペース（空白）を示しています。

全角文字・記号コード一覧

■ 記号 / 英 / 数字 / 特殊文字

	①＼②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
記号	212		SP	、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨
	213	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
	214	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］
	215	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
	216	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
	217	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇	
	222		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓	
英／数字	233	０	１	２	３	４	５	６	７	８	９						
	234		Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ
	235	Ｐ	Ｑ	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ					
	236		ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
	237	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ	ｚ					

補足：「SP」はスペース（空白）を示しています。

■ ひらがな / カタカナ / ギリシャ文字 / ロシア文字

	①＼②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
ひらがな	242		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く
	243	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
	244	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は
	245	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
	246	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
	247	ゐ	ゑ	を	ん												
カタカナ	252		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク
	253	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
	254	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ
	255	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
	256	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
	257	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ									
ギリシャ文字	262		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο
	263	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
	264		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο
	265	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
ロシア文字	272		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н
	273	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
	274	Ю	Я														
	275		а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
	276	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
	277	ю	я														

■ 第一水準漢字コード一覧

ひらかなやカタカナを入力するときは、「ひらがな / カタカナ / ギリシャ文字 / ロシア文字」（→ 7-3 ページ）を参照してください。

	② ①	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
あ	302		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥
	303	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
	304	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏						
い	304											以	伊	位	依	偉	囲
	305	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
	306	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
	307	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭	
	312		院	陰	隠	韻	吋										
う	312							右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑
	313	碓	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運
	314	雲															
え	314		荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎
	315	頴	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円
	316	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
	317	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩									
お	317								於	汚	甥	凹	央	奥	往	応	
	322		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億
	323	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音				
か	323													下	化	仮	何
	324	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河
	325	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
	326	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
	327	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改	
	332		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾
	333	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙
	334	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫
	335	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫
	336	橿	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
	337	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱	
	342		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦
	343	完	官	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓
	344	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦
	345	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸
	346	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願					

	②＼①	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
き	346												企	伎	危	喜	器
	347	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄	
	352		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起
	353	軌	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑
	354	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵
	355	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
	356	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
	357	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京	
	362		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強
	363	彊	怯	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷
	364	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅
	365	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟
	366	謹	近	金	吟	銀											
く	366						九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
	367	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈	
	372		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君
	373	薫	訓	群	軍	郡											
け	373						卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
	374	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系
	375	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	鶏	芸	迎	鯨
	376	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
	377	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲	
	382		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣
	383	鍵	険	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷
	384	言	諺	限													
こ	384				乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯
	385	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互
	386	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
	387	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向	
	392		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康
	393	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
	394	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱
	395	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	砿	鋼	閤	降
	396	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
	397	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込	
	3A2		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕
	3A3	紺	艮	魂													

7

付録

	② ①	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
さ	3A3				些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖
	3A4	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽
	3A5	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在
	3A6	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
	3A7	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷	
	3B2		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒
	3B3	三	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛
	3B4	酸	餐	斬	暫	残											
し	3B4						仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始
	3B5	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止
	3B6	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
	3B7	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時	
	3C2		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿
	3C3	式	識	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆
	3C4	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦
	3C5	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
	3C6	酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
	3C7	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周	
	3D2		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐
	3D3	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎
	3D4	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟
	3D5	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
	3D6	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
	3D7	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償	
	3E2		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少
	3E3	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
	3E4	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章
	3E5	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤
	3E6	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
	3E7	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾	
	3F2		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵
	3F3	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
	3F4	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃
	3F5	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭						
す	3F5											笥	諏	須	酢	図	厨
	3F6	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
	3F7	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾	
	402		澄	摺	寸												

	①＼②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
せ	402					世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政
	403	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
	404	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析
	405	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設
	406	窃	節	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
	407	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線	
	412		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮
	413	前	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎							
そ	413										噌	塑	岨	措	曾	曽	楚
	414	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創
	415	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻
	416	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
	417	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎	
	422		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗
	423	属	賊	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜		
た	423															他	多
	424	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆
	425	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸
	426	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
	427	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只	
	432		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰
	433	丹	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽
	434	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談			
ち	434														値	知	地
	435	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄
	436	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
	437	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵	
	442		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺
	443	聴	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕
	444	沈	珍	賃	鎮	陳											
つ	444						津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴
	445	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷	嬬	紬	爪	吊
	446	釣	鶴														
て	446			亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
	447	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓	
	452		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲
	453	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛
	454	点	伝	殿	澱	田	電										
と	454							兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡
	455	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
	456	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
	457	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到	
	462		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働
	463	動	同	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿
	464	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届
	465	鳶	苫	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍

	② ①	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
な	466	奈	那	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
	467	軟	難	汝													
に	467				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入	
	472		如	尿	韮	任	妊	忍	認								
ぬ	472									濡							
ね	472										禰	祢	寧	葱	猫	熱	年
	473	念	捻	撚	燃	粘											
の	473						乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿
	474	農	覗	蚤													
は	474				巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬
	475	俳	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
	476	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
	477	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦	
	482		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発
	483	醗	髪	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反
	484	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範
	485	釆	煩	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮					
ひ	485												匪	卑	否	妃	庇
	486	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
	487	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美	
	492		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼
	493	桧	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹
	494	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧
	495	賓	頻	敏	瓶												
ふ	495					不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷
	496	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	497	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服	
	4A2		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳
	4A3	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞						
へ	4A3											丙	併	兵	塀	幣	平
	4A4	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆
	4A5	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭			
ほ	4A5														保	舗	鋪
	4A6	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
	4A7	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋	
	4B2		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒
	4B3	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
	4B4	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨
	4B5	撲	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆

	①＼②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
ま	4B6	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
	4B7	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭	繭	麿	万	慢	満	
	4C2		漫	蔓													
み	4C2				味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙
	4C3	粍	民	眠													
む	4C3				務	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘			
め	4C3														冥	名	命
	4C4	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺		
も	4C4															摸	模
	4C5	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅
	4C6	尤	戻	籾	貰	問	悶	紋	門	匁							
や	4C6										也	冶	夜	爺	耶	野	弥
	4C7	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮	鑓					
ゆ	4C7												愉	愈	油	癒	
	4D2		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧
	4D3	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕			
よ	4D3														予	余	与
	4D4	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶
	4D5	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽	養	慾	抑	欲
	4D6	沃	浴	翌	翼	淀											
ら	4D6						羅	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
	4D7	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧								
り	4D7									利	吏	履	李	梨	理	璃	
	4E2		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜
	4E3	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌
	4E4	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力
	4E5	緑	倫	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟				
る	4E5													瑠	塁	涙	累
	4E6	類															
れ	4E6		令	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
	4E7	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯	
	4F2		蓮	連	錬												
ろ	4F2					呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗
	4F3	楼	榔	浪	漏	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄	肋	録
	4F4	論															
わ	4F4		倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨
	4F5	椀	湾	碗	腕												

■ 第二水準対応漢字一覧

コード	漢字
5047	佛
5464	壺
565E	巖
5722	廣
5B58	檜
5B6A	條
5F37	澤
6326	礒
6446	籠
6471	糀
6549	緝
6646	翔
666A	肛
685F	萬
687A	蓼
6B7A	證
6D52	輛
6E67	鈑
6F2A	鍼
6F45	鐵
7057	靭
7073	頌
723F	鮨
734F	麩
7A7C	燁
2D6A	㈱
2D6B	㈲

ローマ字変換表

あ行	あ	A	い	I	う	U	え	E	お	O
か行	か	KA CA	き	KI	く	KU CU	け	KE	こ	KO CO
さ行	さ	SA	し	SI CI SHI	す	SU	せ	SE CE	そ	SO
た行	た	TA	ち	TI CHI	つ	TU TSU	て	TE	と	TO
な行	な	NA	に	NI	ぬ	NU	ね	NE	の	NO
は行	は	HA	ひ	HI	ふ	HU FU	へ	HE	ほ	HO
ま行	ま	MA	み	MI	む	MU	め	ME	も	MO
や行	や	YA	い	YI	ゆ	YU			よ	YO
ら行	ら	RA	り	RI	る	RU	れ	RE	ろ	RO
わ行	わ	WA			う	WU			を	WO
ん	ん	NN								
が行	が	GA	ぎ	GI	ぐ	GU	げ	GE	ご	GO
ざ行	ざ	ZA	じ	ZI JI	ず	ZU	ぜ	ZE	ぞ	ZO
だ行	だ	DA	ぢ	DI	づ	DU	で	DE	ど	DO
ば行	ば	BA	び	BI	ぶ	BU VU	べ	BE	ぼ	BO
ぱ行	ぱ	PA	ぴ	PI	ぷ	PU	ぺ	PE	ぽ	PO

文字コード入力例

467C 4B5C	4B4C 3324 463B	4B5C 3D23	3B4D 3971	3665 3D23	3458 456C	3458 403E
日本	北海道	本州	四国	九州	関東	関西

3661 3526	4366 3971	4044 3F39	3464 3C6A	355C 3E6B	3D29 4544	3B33 3741	4A21 4567
近畿	中国	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島

3071 3E6B	464A 4C5A	3732 474F	3A6B 364C	4069 4D55	456C 357E	3F40 4660 406E
茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川

3B33 4D7C	3F37 3363	4439 4C6E	4959 3B33	4050 406E	4A21 3066	3474 496C	4045 322C
山梨	新潟	長野	富山	石川	福井	岐阜	静岡

3026 434E	3B30 3D45	3C22 326C	4267 3A65	357E 4554	4A3C 384B	4F42 324E 3B33
愛知	三重	滋賀	大阪	京都	兵庫	和歌山

4660 4E49	443B 3C68	4567 3A2C	322C 3B33	392D 4567	3B33 387D	4641 4567	3961 406E
奈良	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川

3026 4932	3962 434E	4A21 322C	3A34 326C	4439 3A6A	3727 4B5C	4267 4A2C	355C 3A6A
愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎

3C2F 3B79 4567	322D 466C	3B25 4B5A	4067 4266	3223 494D	4C3E 3845 3230	3F40 384D
鹿児島	沖縄	札幌	仙台	横浜	名古屋	神戸

4554	495C	3829	3B54	442E	423C	3668	456C	403E	466E	4B4C
都	府	県	市	町	村	区	東	西	南	北

4A3F 402E	472F	376E	467C	3861 4130	3861 3865	3B7E	4A2C	4943
平成	年	月	日	午前	午後	時	分	秒

3374 3C30 3271 3C52	4B5C 3C52	3B59 4539	3144 3648 3D6A	3D50 4425 3D6A	3E26 3B76
株式会社	本社	支店	営業所	出張所	商事

4974	325D	3738	3E4A	3649	3C3C	4B5C 4974	3B76 3648 4974	3C52 4439	3E6F 4C33
部	課	係	省	局	室	本部	事業部	社長	常務

3C21 4439	4542	4D4D	486B 3D71	416D 4C33	3750 4D7D	3449 4D7D	332B 482F
次長	殿	様	秘書	総務	経理	管理	開発

482F 3F2E	3C75 3F2E	3971 3A5D	3324 3330	323C 352D
発信	受信	国際	海外	下記

機能番号一覧

機能番号について

機能番号は、目的の機能を呼び出すときに使用する機能番号の一覧です。大項目の番号・小項目の番号の組み合わせになります。

【例】ポーズ時間変更の機能番号

〈機能〉→ワンタッチキー〈J〉→〈セット〉→〈▶〉→〈▶〉

↓

機能番号 J03

〈機能〉→ワンタッチキー〈J〉→〈0〉→〈3〉

```
J03 ホ゜ース゛シ゛カン セット
              キノウ／セット
```

機能一覧と参照ページ

大項目	小項目	参照ページ
A ワンタッチダイヤル	1 ワンタッチダイヤルセット よく使用する宛先を 24件までワンタッチキーに登録できます。	(→5-9ページ)
	2 ワンタッチダイヤルクリア ワンタッチダイヤルを消去します。	(→5-11ページ)
	3 ワンタッチダイヤルリスト ワンタッチダイヤルの一覧をプリントします。	(→5-12ページ)
B タンシュクダイヤル	1 タンシュクダイヤルセット よく使用する宛先を 196件まで短縮ダイヤルに登録できます。	(→5-13ページ)
	2 タンシュクダイヤルクリア 短縮ダイヤルを消去します。	(→5-15ページ)
	3 タンシュクダイヤルリスト 短縮ダイヤルの一覧をプリントします。	(→5-15ページ)
C プログラムワンタッチ	1 プログラムワンタッチセット 応用通信などをプログラムワンタッチに登録しておくと、登録したワンタッチキーを押すだけで登録した操作を行うことができます。	(→5-17ページ)
	2 プログラムワンタッチクリア プログラムワンタッチダイヤルを消去します。	(→5-27ページ)
	3 プログラムワンタッチリスト プログラムワンタッチダイヤルの一覧をプリントします。	(→5-28ページ)

大項目	小項目	説明
D ポーリング	1 ポーリングゲンコウチクセキ （→3-35ページ）	ポーリング原稿を蓄積します。
	2 ポーリングゲンコウクリア （→3-37ページ）	蓄積したポーリング原稿を消去します。
	3 ポーリングゲンコウプリント （→3-36ページ）	蓄積したポーリング原稿をプリントします。
E シンテン	1 シンテンセット （→4-17ページ）	親展通信を利用するために親展ボックスを10個まで登録できます。
	2 シンテンシャリスト （→4-21ページ）	登録した親展者名の一覧をプリントします。
	3 シンテンジュシンプリント （→4-24ページ）	蓄積受信した原稿をプリントします。
	4 シンテンジュシンメモリーキカン （→4-22ページ）	親展ボックスに受信した親展文書を記憶しておく期間（1〜31日）を設定します。
F ツウシンヨヤク	1 ツウシンヨヤクリスト （→2-24ページ）	通信予約されている原稿のリストをプリントします。
	2 ヨヤクゲンンコウプリント （→2-25ページ）	通信予約されている原稿をプリントします。
G ツウシンカンリ	1 ツウシンキロクジドウセット （→3-74ページ）	ONに設定すると、送信、受信が合わせて125通信になると通信記録をプリントします。
	2 ツウシンカンリプリント （→3-73ページ）	通信枚数、通信モードなどの結果をプリントします。
	3 ツウシンニッポウプリント （→3-76ページ）	ONに設定すると、最新の通信状況をプリントします。
	4 ツウシンショウセット （→3-78ページ）	ONに設定すると、送信するたびに通信証をプリントします。
	5 ナンバーディスプレイリレキ （→3-64ページ）	ナンバー・ディスプレイの着信履歴を20件までプリントします。
	6 ツウシンニッポウジコクシテイ （→3-77ページ）	ONに設定すると、毎日設定した時刻に通信日報をプリントします。
H グループリスト		グループに登録されている宛先のリストをプリントします。（→5-16ページ）
I セッチモード		使用するために必要な登録を行います。（→1-17ページ）

大項目　小項目

J キキセッテイ

- 01 スキャナーパラメーター　(→5-32ページ)
  読み取り時の画質、濃度、読み取りサイズの初期値を設定します。
- 02 コピーキンシ　(→5-32ページ)
  ONに設定すると、コピー操作を禁止します。
- 03 ポーズジカンセット　(→5-32ページ)
  ポーズ信号を入力したときのダイヤル間隔（0〜10秒）の初期値を設定します。
- 04 ヨビダシベルカイスウセット　(→5-32ページ)
  受信モードが自動受信（ファクス、電話/ファクス待機）のとき、受信動作が開始されるまでの呼び出しベル回数（0〜10回）を設定します。
- 05 リダイヤルセッテイ　(→5-32ページ)
  相手が話し中などのとき、あらかじめ設定した回数（0〜15回）や、間隔（0〜5分）で再度ダイヤルします。
- 06 ECMモードセット　(→5-33ページ)
  電話回線の影響で正しく送信できなかったときに、その部分を自動的に送信し直します。
- 07 ダイレクトメールボウシ　(→4-13ページ)
  3種類の方法によって、設定した相手からの受信を拒否できます。
- 08 サービスモードセット
  設定しないでください。
- 09 メモリーソウシンセット　(→5-33ページ)
  送信するときにメモリー送信を優先するか、リアルタイム送信を優先するかを設定します。
- 10 スミスタンプセット　(→5-33ページ)
  済スタンプの初期値を設定します。
- 11 ダイヤルインセット　(→3-24ページ)
  ダイヤルイン契約した電話番号（3番号分まで）を登録し、その登録に基づいてダイヤルイン着信したときの4桁の番号でファクス受信および電話を区別することができます。
- 12 プロテクトコードセット　(→5-29ページ)
  セキュリティ機能を利用するためのプロテクトコードを登録します。
- 13 オペレーションプロテクト　(→4-26ページ)
  プロテクトコードを知らない人に対し、操作や各種設定を禁止します。
- 14 ホリュウメロディーセット　(→5-34ページ)
  ON に設定すると、保留にしたときに保留メロディーが流れます。
- 15 トクテイツウシンセット　(→5-34ページ)
  通信モードの初期値を設定します。
- 16 セキュリティキーセット　(→4-7ページ)
  閉域送信機能とIDチェック送信機能をパネルキーに割り当てることができます。
- 17 キキセッテイリスト　(→5-35ページ)
  設定した機能の状態をプリントします。

K メッセージ

- 1 メッセージソウシン　(→3-22ページ)
  送信原稿といっしょに、簡単な文章（メッセージ）の入った送信案内証を自動的につけて送信できます。
- 2 メッセージセット　(→3-20ページ)
  送信案内証のメッセージを登録します。
- 3 メッセージリスト　(→3-21ページ)
  送信案内証をプリントします。

L ゲンコウマイスウセット — 原稿の読み取り枚数をチェックします。（→3-71ページ）

大項目　　小項目

- M ブモンカンリ
  - 1 ブモンカンリプロテクトセット　(→3-67ページ)
    部門コードの登録や、部門管理リストの消去を保護します。
  - 2 ブモンカンリコードセット　(→3-65ページ)
    部門管理コードを登録します。
  - 3 ブモンカンリセット　(→3-68ページ)
    ONに設定すると、部門ごとの使用を管理します。
  - 4 ブモンカンリリストプリント　(→3-70ページ)
    部門ごとの通信時間と通信枚数をプリントします。
  - 5 ブモンカンリリストショウキョ　(→3-70ページ)
    通信時間と通信枚数の総数を0にします。
- N イッカツソウシン
  - 1 ボックスセット　(→3-9ページ)
    一括送信を利用するために一括送信ボックスを5個まで登録できます。
  - 2 ボックスリスト　(→3-12ページ)
    一括送信ボックスの一覧をプリントします。
  - 3 ゲンコウリスト　(→3-16ページ)
    一括送信ボックスに蓄積した原稿の一覧をプリントします。
  - 4 ゲンコウプリント　(→3-15ページ)
    一括送信ボックスに蓄積した原稿をプリントします。
  - 5 ボックスクリア　(→3-11ページ)
    一括送信ボックスを消去します。
  - 6 ゲンコウクリア　(→3-17ページ)
    一括送信ボックスに蓄積した原稿を消去します。
- O セキュリティジュシン
  - 1 セキュリティジュシンセット　(→4-11ページ)
    セキュリティ受信開始時刻以降に受信した原稿をメモリーに蓄積し、プリントアウトしないようにします。
  - 2 ジュシンゲンコウプリント　(→4-12ページ)
    セキュリティ受信した原稿をプリントします。
- P Fコードボックス
  - 1 ボックスセット　(→3-39ページ)
    F コード通信を利用するためにF コードボックスを50 個まで登録できます。
  - 2 ボックスリスト　(→3-45ページ)
    F コードボックスの一覧をプリントします。
  - 3 チクセキゲンコウリスト　(→3-55ページ)
    F コードボックスに蓄積した原稿の一覧をプリントします。
  - 4 チクセキゲンコウプリント　(→3-52ページ)
    F コードボックスに蓄積した原稿をプリントします。
  - 5 ボックスクリア　(→3-43ページ)
    F コードボックスを消去します。
  - 6 チクセキゲンコウクリア　(→3-54ページ)
    F コードボックスに蓄積した原稿を消去します。
  - 7 ゲンコウチクセキ　(→3-50ページ)
    F コード掲示板用に原稿を蓄積します。

大項目　　小項目

Q FAXワープ

1 FAXワープセット　(→3-28ページ)
設定時間内に受信した原稿を指定された宛先に転送します。

2 FAXワープリスト　(→3-32ページ)
FAXワープの一覧をプリントします。

3 FAXワープセッテイ　(→3-33ページ)
FAXワープのON、OFFを設定します。

R ナンバーディスプレイ

1 ナンバーディスプレイセット　(→3-58ページ)
セットすると、名前を登録した相手から電話がかかってきたときに、登録した名前を表示します。

2 ナンバーディスプレイリスト　(→3-61ページ)
ナンバー・ディスプレイに登録した相手の一覧をプリントします。

3 ナンバーディスプレイセッテイ　(→3-62ページ)
ONにするとナンバー・ディスプレイを利用できます。

S セキュリティキノウ

1 ヘイイキソウシン　(→4-2ページ)
ONに設定すると、同じパスコードを設定した相手機にのみ、ファクスを送信できます。

2 ヘイイキジュシン　(→4-3ページ)
ONに設定すると、同じパスコードを設定した相手機からのみ、ファクスを受信できます。

3 パスコードセット　(→4-4ページ)
閉域送信および閉域受信、パスコードポーリングの利用に必要なパスコードを登録できます。

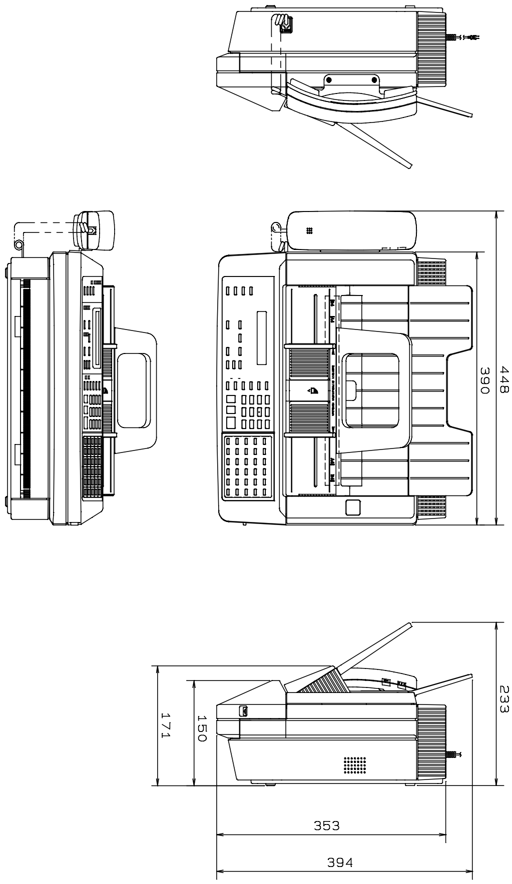
4 IDチェックソウシン　(→4-6ページ)
ONに設定すると、ダイヤルしたファクス番号の下4桁と相手機に登録されているファクス番号の下4桁を照合し、一致した場合にみファクスを送信します。

5 ダイヤル２ドオシ　(→4-9ページ)
ONに設定すると、送信を始める前に、ダイヤルキーで入力したファクス番号を再度入力する画面がでてきます。

主な仕様

製品の仕様、外観は改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

外観寸法



● このモデルは日本仕様の認可機です。日本国内でのみ設置できます。（日本から海外のファクシミリとの国際電話による交信もできます。）

This facsimile machine is designed for use only in Japan and can not be used in any other country.

●JIS C 61000-3-2 電源高調波規格に適合しています。

● 外観、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。

　この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
　取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本体

項目	T-350
形式	卓上型、送受信兼用
原稿	サイズ　幅　：120 ～ 280mm　長さ：100 ～ 900mm 最大セット枚数30 枚
記録紙	B4/A4（257mm/216mm 幅）×100m ロール 1 インチ紙管
走査線密度	超高画質モード：主走査 8 画素 /mm× 副走査 15.4 本 /mm ＊1 高画質モード　：主走査 8 画素 /mm× 副走査 7.7 本 /mm ＊1 標準モード　　：主走査 8 画素 /mm× 副走査 3.85 本 /mm
通信速度	33 600, 31 200, 28 800, 26 400, 24 000, 21 600, 19 200, 16 800, 14 400, 12 000, 9 600, 7 200, 4 800, 2 400 bit/s（自動切替）
走査方式	送信部：CCD イメージセンサーによる固体電子平面走査 受信部：サーマルヘッドによる固体走査
記録方式	感熱記録方式
適用回線	加入電話回線（ファクシミリ通信網を含む）NCC 回線
電送速度＊2	2 秒台（33 600 bps）/3 秒台（28 800 bps）
符号化方式	MH/MR/MMR/JBIG
画像メモリー容量	3.2MB（バッテリーにより、約 50 時間のメモリーバックアップ可）
電源	AC100 ±10 V、50 Hz/60 Hz 共用
消費電力	待機時　：6.0 W 送信時　：32 W 受信時　：37 W コピー時　：47 W 最大消費電力　：260 W
最大電流値	3.5A
直流抵抗値	291.3 Ω
質量	本体：8.5kg（付属品を除く）、ハンドセット：0.2kg
外形寸法	幅 390× 奥行き 353× 高さ 150mm （突起部分は含みません）
環境条件	動作温度：5 ～ 35℃ 動作湿度：10 ～ 80%

＊1 該当モードを持たない装置とは交信できません。

＊2 A4 判 700 字程度の原稿を、標準的画質（8×3.85 本 /mm）、スーパー G3 モード（ITU-T V.34 準拠、33 600bit/s：2 秒台 /28 800bit/s：3 秒台）で送ったときの時間です。画像情報のみの電送速度で通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線の状態により異なります。G3 機との通信（同じ原稿を 14 4000bit/s で送ったとき）では 6 秒台になります。一般の電話回線での通信速度は、回線の条件、状況によって 33 600bit/s の速度以下になる場合もあります。

デュアルアクセスについて

デュアルアクセスとは、１つの作業をしているときに別の作業を同時にさせることのできる機能のことです。この機能により、送信やプリントをしているときに別の送信やコピーの指示をすることができます。並行させることのできる動作は下表を参照してください。

操作 作業中の動作 ＼ 同時に行う	コピー	原稿蓄積	蓄積原稿プリント	リストプリント	ダイレクト送信	メモリー送信	受信
コピー	×	×	×	×	×	○	○
原稿蓄積	×	×	○	○	×	○	○
蓄積原稿プリント	×	○	×	×	○	○	○
リストプリント	×	○	×	×	○	○	○
ダイレクト送信	×	×	○	○	×	×	×
メモリー送信	○	○	○	○	×	×	×
受信	○	○	○	○	×	×	×

アフターサービスについて

- ご使用中に異常が発生したときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜いて当社のサービス取扱所にお問い合わせください。
- お客様または第三者が本商品の使用誤りによって生じた故障ならびにその不都合によって受けられた損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本商品は厳重な品質管理と製品検査をへて出荷されますが、万一故障または不具合がありましたら、至急当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

保証について

本商品には保証書がついています。保証書は販売店にて所定の事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

（1）保証期間内

保証期間中（お買上げの日から 1 年間）、万一故障が生じたときは保証書に記載されている当社保証規定に基づき無償で修理いたします。当社保証規定以外の責はご容赦いただきます。ただし保証期間内であっても消耗品は有償となります。

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に、「故障かなと思ったら（→ 6-27 ページ）」の項目で、故障かどうかをお確かめください。故障の場合はお名前、住所、電話番号、機種名、購入年月日、故障の状態、道順と目標物、駐車可能な場所などを当社のサービス取扱所にお問い合わせください。お申し出により出張修理いたします。

【ご注意】

（1）使用上の誤りや不当な修理・改造や当社指定以外の消耗品のご使用による故障および破損で修理サービスを依頼されますと、保証期間内であっても有償となります。

（2）修理の内容によっては、登録内容が消去される可能性があります。あらかじめ登録内容をメモしておいてください。

この場合再登録はお客様ご自身でお願いいたします。

その他の場合

下記のような変更がある場合は、事前に当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

（1）移設の場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 当社への手続きや機器の再調整が必要な場合があります。

事前にお買い上げの販売店にご連絡ください。

（2）ファクシミリ通信網に加入する場合＊・・・・・機器はそのままご使用いただけます。

（3）新電電系回線サービスに加入する場合＊・・・・機器はそのままご使用いただけます。

（4）ﾏｲﾗｲﾝまたはﾏｲﾗｲﾝﾌﾟﾗｽに加入する場合＊・・・・機器はそのままご使用いただけます。

（5）海外との通信の場合・・・・・・・・・・・・・ そのまま通信できます。うまく通信できないときは、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

＊お客さまご自身でのお申し込みが必要です。

消耗品と別売品について

本商品には、以下の消耗品が用意されています。これらは、機器に適した規格で作られているため、必ず以下のものを使用してください。※指定された消耗品以外のご使用による故障・損傷は有料修理となる場合があります。

消耗品について

消耗品	梱包形態
感熱記録紙（6 本セットで販売しています。）	100m 1 インチ：A4×6 本
	100m 1 インチ：B4×6 本

同梱内容・形態は予告なく変更することがあります。

補 足

・上記以外の消耗品を使用して発生したトラブルについて、修理を依頼されますと保証期間内であっても有償になることがあります。
・消耗品は以下のような場所を避けて保管してください。
  ・高温多湿の場所
  ・火気のある場所
  ・直射日光の当たる場所
  ・ほこりの多い場所
・消耗品はご使用になるまで包装された状態で保管してください。
・消耗品は常に予備があるようにしてください。

別売品について

品　名	備　考
済スタンプ 梱包箱には右記の内容が同梱されています。	済スタンプ　2 個 ピン　　　　1 個
キャリアシート　B4 用　A4 用	紙厚が薄い原稿やカールした原稿を送信するときに使用します。
ドキュメントトラック（B4 対応）	排出される原稿をためることができます。

さくいん

7 付録

環境基準ラベル
「ダイナミックエコマーク」について

弊社は、循環型社会構築に向けた環境にやさしい通信機器の提供を推進するために、環境ガイドライン「<追補版>通信機器グリーン調達のためのガイドライン」を設定しております。さらに、より厳しい環境基準を満足した製品をダイナミックエコマーク認定製品と位置づけます。

ダイナミックエコマークは下記条件を満足した製品に適用します。

ダイナミックエコマーク認定基準

<環境に配慮した素材の採用>

●弊社が指定する含有禁止物質について製品には使用しません。
●弊社が指定する含有抑制物質については、使用を抑制すると共に物質名・量を管理します。
●酸性雨で地中に溶け出して人体に影響がある鉛を、製品へ使用することを抑制しています。
●焼却時にダイオキシン発生の恐れがあるPVC（ポリ塩化ビニル）、非デカプロ系難燃剤以外のハロゲン系の難燃剤の製品への使用を抑制します。
●廃棄やリサイクルのために、製品には推奨プラスチック材料（ポリスチレン等）、推奨金属材料を使用します。
●取扱説明書等に使用する紙は再生紙を使用し、使用する印刷インキは、オゾン層破壊物質などの含有禁止物質を含まないものを使用します。

<リサイクルしやすい設計>

●製品のリサイクル可能率を70%以上とします。
●リサイクルを容易にするために、全てのプラスチック製部品に材料名を表示し、リサイクルに支障のない方法で製品名を表示します。

<環境に配慮した梱包材>

●発泡スチロールの使用量を削減します。

<省エネルギー>

●省エネルギーを考慮した設計を行います。
●国際エネルギースタープログラム対象製品は、これに準じた設計を行います。

本商品はダイナミックエコマーク認定商品です。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。
本商品を最適にご利用いただくために、定期的にごらんいただくことをお勧めします。

当社ホームページ： http://web116.jp/ced/
http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：フリーアクセス 0120-970413

※PHS・携帯電話・050IP電話からのご利用は：03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間：9：00～21：00
※年末年始：12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：フリーアクセス 0120-248995

※PHS・携帯電話からも利用可能です。

受付時間：9：00～17：00
※年末年始：12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

故障に関するお問い合わせ

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。（24時間 年中無休）

※ 携帯電話・PHSからは「0120-444-113」にてお受けしています。
※ 故障修理等の対応時間は9:00～17:00となります。
（17:00～翌日9:00までは録音にて受付しており順次ご対応いたします。）

電話番号はお間違えにならないように、ご注意願います。

© 2008NTTEAST・NTTWEST

NTT

PRINTED WITH SOY INK

この取扱説明書は、再生紙及び大豆油インクを使用しています。

本2969-5 (2010.08)
G3-<T350>-FAXﾄﾘｾﾂ
D86-90260-65